

# H27-Br-1

## 柱状図(0.00m~35.00m)

H27-Br-1

孔 口 標 高	T.P.	94.37m	掘 削 長	130.00m
---------	------	--------	-------	---------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事		
										最 大 コ ア 長 (cm)	R (%)	Q (%)		D (%)	
		0.00	①	ア プ ラ イ ト	混 じ り 有 機 質 シ ルト	②	100	3	0	0	0	0	0.00~0.16m ・礫混じり有機質シルトである。 0.16~106.11m ・アプライトである。 0.16~2.80m ・割れ目に木根が多く混入している。 3.58~4.81m ・変質により、石英粒(径2~8mm)を残して粘土化している。 ・割れ目が不明瞭である。 4.47~9.63m ・割れ目に灰白~褐色粘土を挟む。  1.42~11.58m ・割れ目が多く、砂~岩片状を呈する。 ・幅1~2mmの一部に褐色粘土を挟む。  5.51~15.74m ・高角度の割れ目が密に発達する。 5.53~15.69m ・割れ目が多く、砂状~礫状を呈する。  9.69~20.30m ・網目状に割れ目が発達し、礫状を呈する。 ・割れ目に沿って褐色を呈する粘土を挟む。 20.44~21.81m ・幅0.5~2mmの灰白色を呈する粘土を挟む。 21.93~22.34m ・高~低角度の割れ目が斜交し、角礫状を呈する。 23.07~24.22m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。 ・割れ目沿いに、幅0~2.5mm以下の褐色を呈する粘土を挟む。  27.72~28.76m ・高角度の割れ目が発達する。 28.97~29.74m ・不規則な割れ目が発達する。  30.57~31.25m ・高角度の割れ目が発達する。 31.36~31.80m ・中角度の割れ目が発達する。  ●33.27~35.90m(D-3破砕帯) ・破砕部である。 ・正断層センスがある。 ・主に橙色の固結礫状部からなる。 ・明黄褐色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm ・走向・傾斜はN16° E81° Wである。 ・上端境界の傾斜は80°、下端境界の傾斜は80°である。		
		0.16					100	3	0	0	0	0		0	0
		0.32					100	5	0	0	0	0		0	0
		0.48					100	3	0	0	0	0		0	0
		0.64					100	3	0	0	0	0		0	0
		0.80					100	14	14	0	0	0		0	0
		0.96					100	13	13	0	0	0		0	0
		1.12					100	4	0	0	0	0		0	0
		1.28					100	5	0	0	0	0		0	0
		1.44					100	12	12	0	0	0		0	0
		1.60					100	11	11	0	0	0		0	0
		1.76					100	24	24	0	0	0		0	0
		1.92					100	15	27	0	0	0		0	0
		2.08					100	30	30	0	0	0		0	0
		2.24					100	27	47	0	0	0		0	0
		2.40					100	5	0	0	0	0		0	0
		2.56					100	27	27	0	0	0		0	0
		2.72					100	4	0	0	0	0		0	0
		2.88					100	5	0	0	0	0		0	0
		3.04					100	13	13	0	0	0		0	0
		3.20					100	13	26	0	0	0		0	0
		3.36					100	7	0	0	0	0		0	0
		3.52					100	4	0	0	0	0		0	0
		3.68					100	5	0	0	0	0		0	0
		3.84					100	13	43	0	0	0		0	0
		4.00					100	20	79	0	0	0		0	0
		4.16					100	20	26	0	0	0		0	0
		4.32					100	4	0	0	0	0		0	0
		4.48					100	4	0	0	0	0		0	0
		4.64					100	3	0	0	0	0		0	0
		4.80					100	13	13	0	0	0		0	0
		4.96					100	4	0	0	0	0		0	0
		5.12					100	4	0	0	0	0		0	0
		5.28	100	0	0	0	0	0	0	0					
		5.44	100	0	0	0	0	0	0	0					
		5.60	100	0	0	0	0	0	0	0					

1-145(分類c)①  
 審査資料作成の際に模様を見直したため。  
 1-146(分類b)②  
 報告書の記載漏れを修正したため。

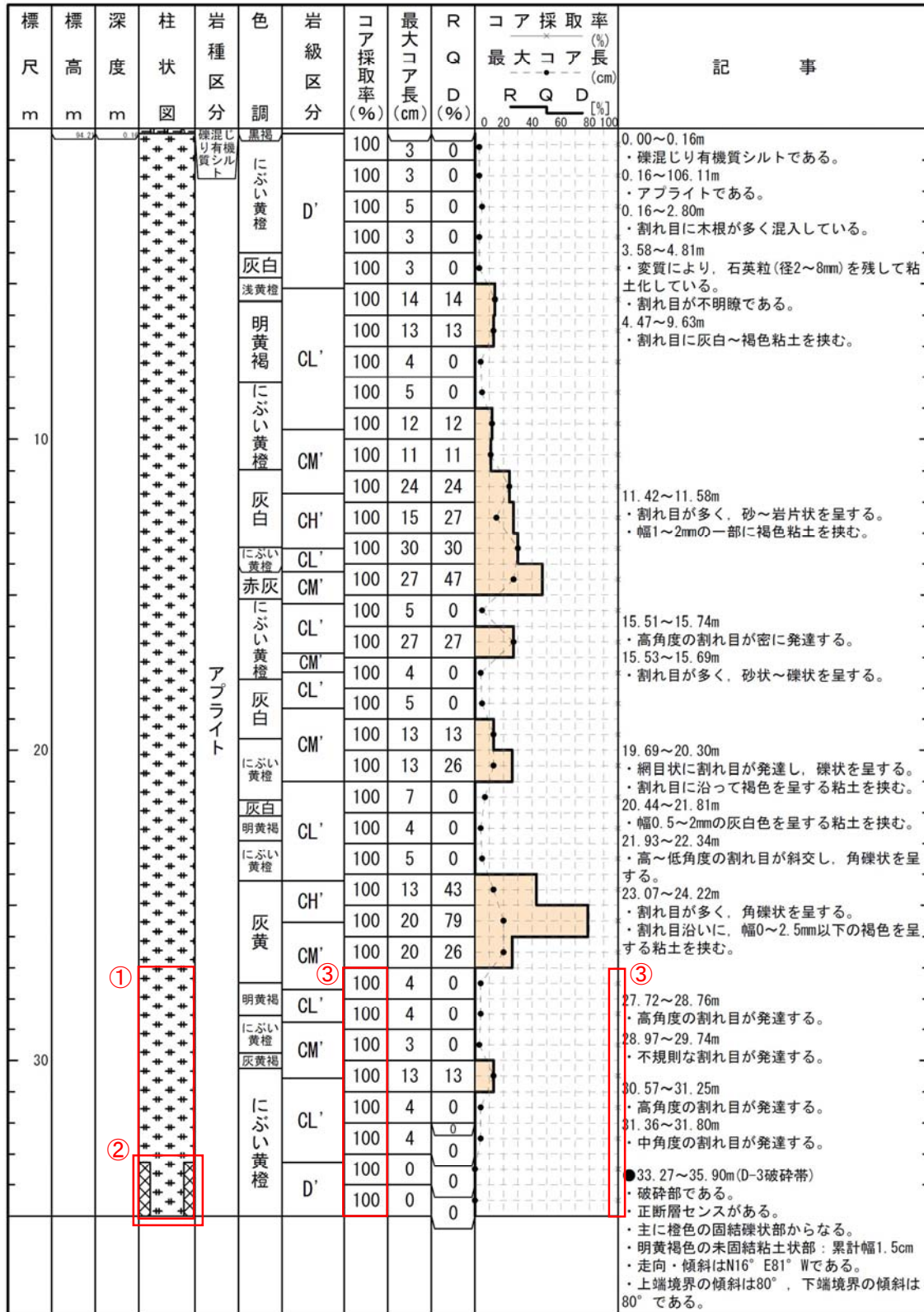


# H27-Br-1

## 柱状図(0.00m~35.00m)

H27-Br-1

孔 口 標 高	T.P.	94.37m	掘 削 長	130.00m
---------	------	--------	-------	---------



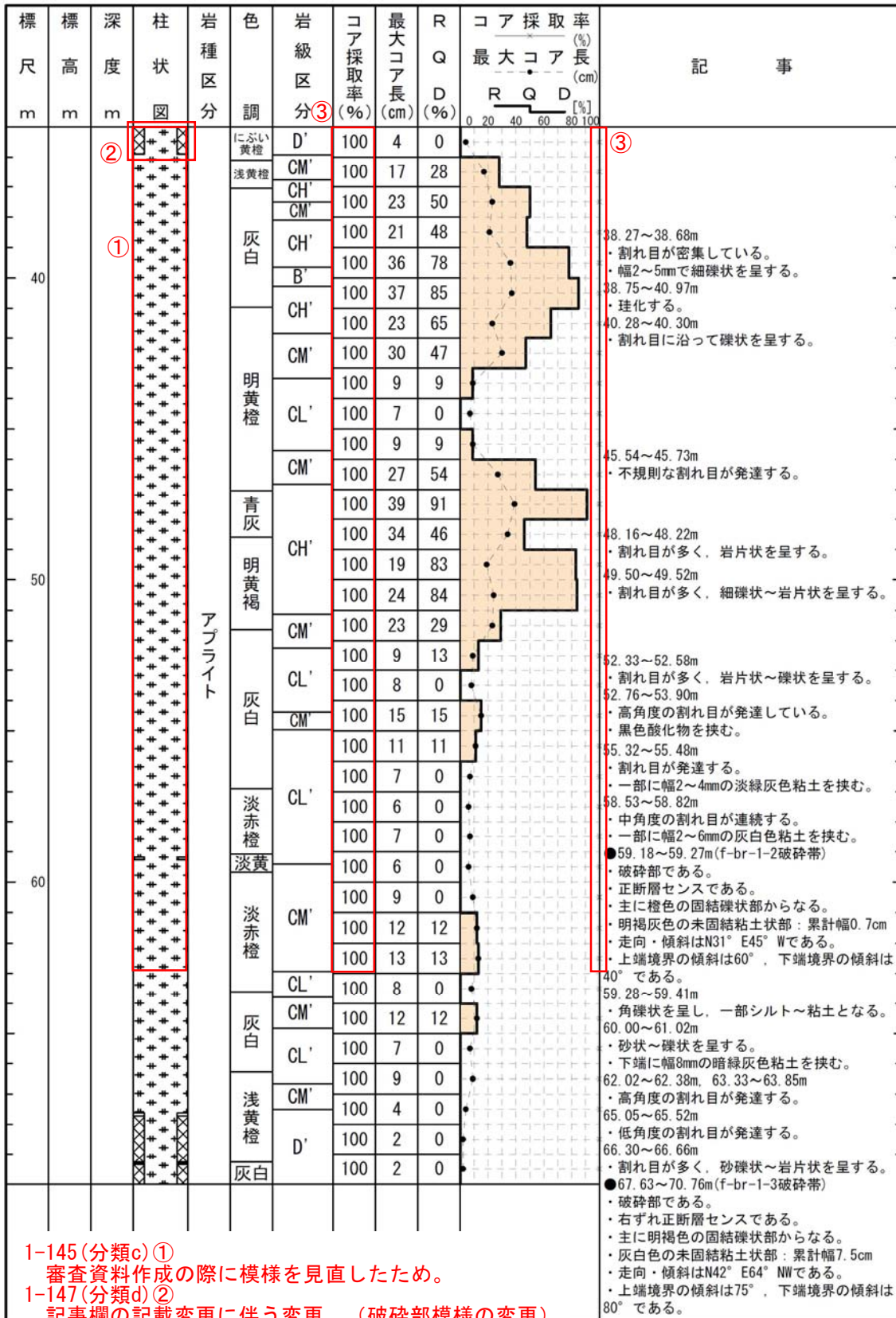
- 1-145(分類c)① 審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-147(分類d)② 記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-146(分類b)③ 報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記 事	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 cm R Q D ↳ [ % ]	岩 級 区 分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 ( ) 試験		原位置試験 (孔内水平載重)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給 送 水 量 (L/分)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L/分)	排 水 量 (L/分)			
															( N 値 )	( 図 )														
30				明黄褐色	Bg IVg	γ	cg	β	2	27.56m: 幅1mmの褐色粘土を挟在する。 27.72~28.76m: 高角度の割れ目が顕著になる。 27.79~28.05m: フィルム状の灰白色粘土を複数挟在する。 28.97~29.74m: 不規則な割れ目が発達する。	4 [6]	CM'								4/25	119	101 / ケーシング				1.0	清水	0		
				にぶい黄褐色	Bg IVg	γ	cg	β	3	30.57~31.25m: 高角度の割れ目が卓越する。	10 [130]	CL'																		
				にぶい黄褐色	Dg IVg	γ	cg	β	2	31.36~31.80m: 傾斜30~50°の平行的な割れ目が発達する。 31.68~31.96m: フィルム状の褐色粘土を複数挟在する。	4 [6]	CL'																		
				にぶい黄褐色	Vg IVg	γ	cg	β	4	●33.27~35.90m: 破砕帯。 33.27~33.62m: 細粒混じり粘土状破砕部(Hb)。基質は粘土~砂からなる。上端の傾斜80°。 33.62~34.65m: 角礫状破砕部(Hj)。不規則な割れ目によってシルト~砂を挟む。 34.65~34.66m: 粘土状破砕部(Hc-1)。幅10~15mmの明黄褐色粘土からなる。	4 [6]	D'																		
				浅黄褐色	IIg IVg	β	cg	β	2	34.66~35.90m: 角礫状破砕部(Hj)。角礫状~砂状を呈する。34.80~34.87mには石英粒が密集する。下端に幅2~10mmの緑褐~灰色粘土を挟在し。傾斜は80°。	7 [28]	CM'																		
				灰白	IIg IVg	β	cg	β	3	38.27~38.68m: 割れ目が密集し。幅2~5mmで細粒状を呈する。 38.75~40.97m: 珪化する。	23 [40]	CH'																		
				灰白	IIg IVg	β	cg	β	2	40.28~40.30m: 割れ目によって礫状を呈する。	23 [48]	CH'																		
				明黄褐色	IIg IVg	β	cg	β	3	43.32~43.34m: 幅2~3mmの優白色鉱物脈を挟在する。	37 [78]	B'																		
				明黄褐色	IIg IVg	β	cg	β	2	44.35~46.82m: 優白色鉱物脈を挟在する割れ目が発達する。	23 [95]	CH'																		
				明黄褐色	IIg IVg	β	cg	β	3	45.54~45.73m: 不規則な割れ目が集中する。	30 [54]	CM'																		
				明黄褐色	IIg IVg	β	cg	β	2	46.30~46.44m: 割れ目によって幅10~30mmで細粒状を呈する。 46.64m, 46.82m: 幅4mmの白色鉱物脈を挟在する。 47.56~47.57m: 角礫状を呈する。	27 [54]	CM'																		
				黄灰	IIg IVg	β	cg	β	3	48.16~48.22m: 岩片状を呈する。 48.73m, 48.78m: 割れ目によって幅4~7mmで砂状~細粒状を呈する。 49.50~49.52m: 細粒状~岩片状を呈する。	34 [44]	CH'																		
				明黄褐色	IIg IVg	β	cg	β	3	51.32~51.53m: 割れ目が集中し。一部礫状を呈する。	24 [85]	CH'																		
				明黄褐色	IIg IVg	β	cg	β	3	52.33~52.58m: 割れ目が集中し。岩片状~礫状を呈する。 52.76~53.90m: 高角度の割れ目を主体とし。黒色酸化物の挟在が顕著である。	23 [29]	CM'																		
				灰白	IIg IVg	β	cg	β	3	54.12m, 54.83m: それぞれ幅2mmの褐色、灰白色の粘土を挟在する。	15 [15]	CM'																		
				灰白	IIg IVg	β	cg	β	3	55.13m: 幅3mmの赤褐色粘土を挟在する。 55.32~55.48m: 割れ目が集中し。一部に幅2~4mmの淡緑灰色粘土を挟在する。 55.63~56.36m: 幅3~4mmの緑灰色粘土を挟在する割れ目が発達する。 56.55~58.82m: 傾斜50°の割れ目が連続し。一部に幅2~6mmの灰白色粘土を挟在する。	11 [11]	CL'																		
				淡赤褐色	IIg IVg	β	cg	β	4	●59.18~59.27m: 破砕帯。 59.18~59.26m: 角礫状破砕部(Hj)。上端の傾斜は60°で、幅5mmの細粒砂~シルトを挟む。砂の基質中に径10~20mmの石英が密集する。 59.26~59.27m: 粘土状破砕部(Hc-1)。幅4~5mmの明褐色粘土。幅5~14mmの淡緑灰色粘土からなる。傾斜は40°。 59.28~59.41m: 角礫状を呈し。シルト~粘土にやや富む。	6 [6]	CL'																		
				淡赤褐色	IIg IVg	β	cg	β	3	60.00~61.02m: 砂状~礫状を呈し。下端に幅8mmの暗緑褐色粘土を挟在する。 62.02~62.387m: 傾斜60~70°の平行的な割れ目が発達する。	12 [12]	CM'																		
				淡赤褐色	IIg IVg	β	cg	β	3		10 [13]	CM'																		



# H27-Br-1

## 柱状図(35.00m~70.00m)

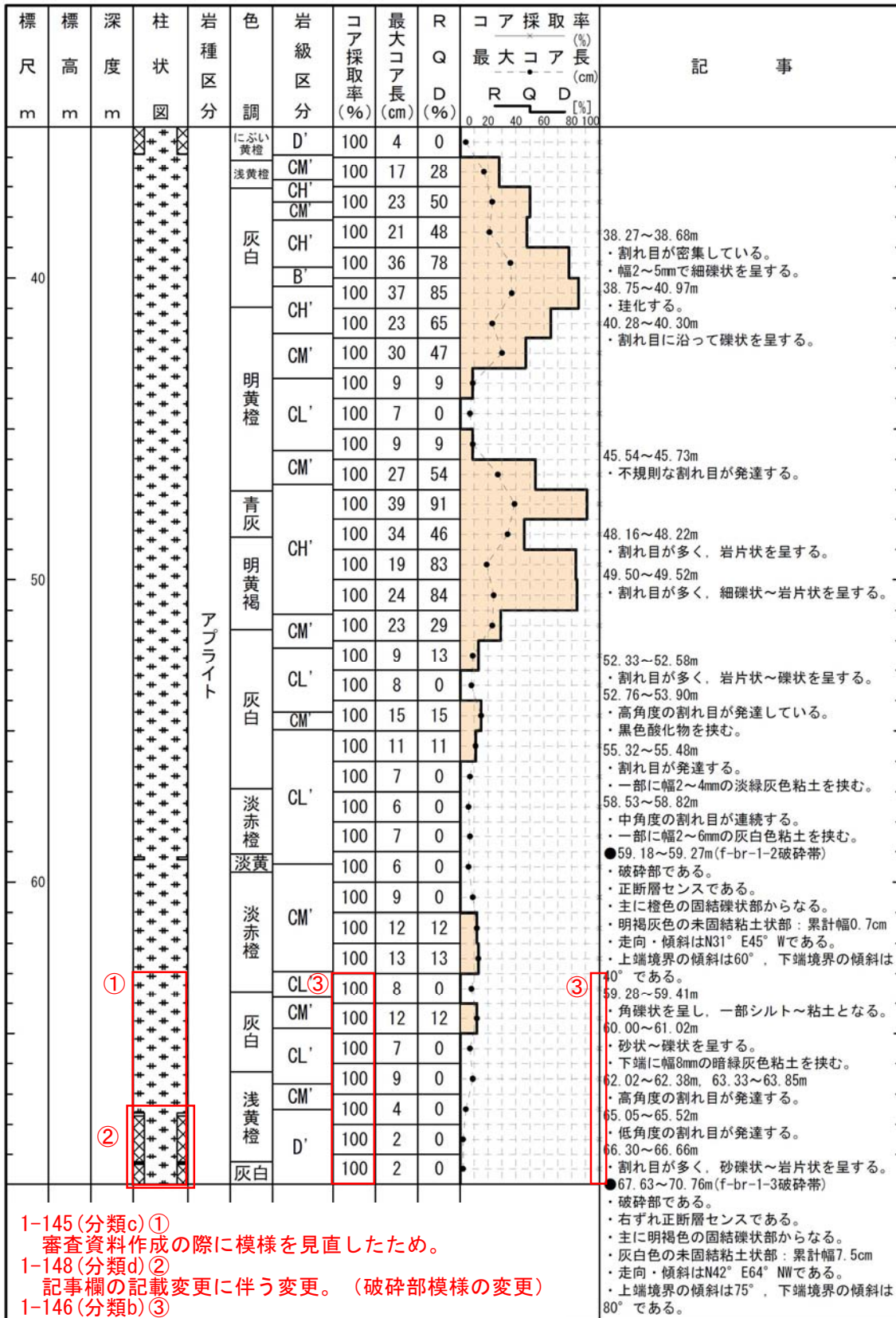


- 1-145(分類c)①  
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-147(分類d)②  
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
- 1-146(分類b)③  
報告書の記載漏れを修正したため。



# H27-Br-1

## 柱状図(35.00m~70.00m)



- 1-145(分類c)① 審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-148(分類d)② 記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-146(分類b)③ 報告書の記載漏れを修正したため。





# H27-Br-1

## 柱状図(70.00m~105.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア長 (cm)	R D (%)	コア採取率 最大コア長 (%)	R Q D [%]	記事
		70.00	②		灰白	D③	100	3	0			③ 75.03~76.30m ・高角度の割れ目が発達する。 76.40~76.70m ・割れ目が多く、岩片状を呈する。  82.08~82.46m ・高~低角度の割れ目が斜交し、岩片状を呈する。 ●85.90~87.85m(f-br-1-4破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれセンスである。 ・主に浅黄橙色の固結礫状部からなる。 ・灰黄~灰白色の未固結粘土状部：累計幅4.6cm ・走向・傾斜はN34° E65° Wである。 ・上端境界の傾斜は80°、下端境界の傾斜は65°である。 87.85~89.44m, 90.57~90.70m ・高角度の割れ目が発達する。 92.00~92.20m ・岩片状を呈する。 92.15~93.97m ・高角度の割れ目が発達する。 ●93.36~93.45m(f-br-1-5破碎帯) ・破碎部である。 ・右ずれセンスである。 ・主に明褐色の固結礫状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：0.8cm ・走向・傾斜はN46° E73° Wである。 ・上端境界の傾斜は60°、下端境界の傾斜は70°である。 93.45~94.09m ・高角度の割れ目が発達する。 93.45~93.62m ・角礫状~岩片状を呈する。 96.71~97.46m ・高~低角度の割れ目が斜交し、岩片状を呈する。 101.11~104.34m ・低角度の割れ目が発達する。 102.53~102.63m ・割れ目が多く、礫状を呈する。 ・一部に幅1mmの灰白色粘土を挟む。 102.80~103.92m ・低角度の割れ目が発達し、一部岩片状を呈す。 104.57m ・幅4mmの石英脈を挟む。
			①		浅黄橙	CL'	100	10	10			
					浅黄橙	CM'	100	9	0			
					浅黄橙	CL'	100	6	0			
					灰白	CM'	100	22	41			
					浅黄橙	CM'	100	16	26			
					灰白	CM'	100	8	0			
					浅黄橙	CL'	100	5	0			
					浅黄橙	CL'	100	9	0			
					浅黄橙	CL'	100	9	0			
					淡黄	CM'	100	8	0			
					淡黄	CM'	100	9	0			
					淡黄	CL'	100	6	0			
					淡黄	CL'	100	4	0			
					淡黄	CL'	100	4	0			
					淡黄	D'	100	3	0			
					淡黄	D'	100	2	0			
					淡黄	D'	100	2	0			
					淡黄	D'	100	7	0			
					淡黄	D'	100	9	0			
					淡赤橙	CL'	100	7	0			
					淡赤橙	CL'	100	2	0			
					淡赤橙	CL'	100	6	0			
					浅黄橙	CL'	100	12	32			
					浅黄橙	CL'	100	9	0			
					浅黄橙	CL'	100	4	0			
					淡赤橙	CL'	100	3	0			
					淡赤橙	CL'	100	7	0			
					黄橙	CL'	100	9	0			
					黄橙	CM'	100	8	0			
					淡赤橙	CL'	100	9	0			
					黄橙	CM'	100	8	0			
					淡赤橙	CM'	100	8	0			
					黄橙	CH'	100	14	52			

- 1-145(分類c)①  
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-148, 1-149(分類d)②  
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-146(分類b)③  
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 cm R Q D ↳ [ % ]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 ( N値~深度 ) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)		
															N	値													
100	-11.74	106.11		淡赤橙	Cg	IVg	cg				101.11~104.34m: 低角度の割れ目が主体となる。	CL'		5/13	111										1.0	清水	3		
				黄橙	Cg	IVg	cg					102.53~102.63m: 礫状を呈し、一部に幅1mmの灰白色粘土を挟在する。102.80~103.92m: 低角度の割れ目が卓越し、一部岩片状を呈す。	CM'		5/18	110											1.0	清水	5
				淡赤橙	Dg	IVg	cg					104.57m: 幅4mmの石英脈を挟む。	CL'																
				黄橙	Dg	IVg	cg																						
				淡赤橙	Bg	IVg	cg																						
				黄橙	Bg	IVg	cg																						
				淡赤橙	Bg	IVg	cg																						
				黄橙	Bg	IVg	cg																						
				淡赤橙	Bg	IVg	cg																						
				黄橙	Bg	IVg	cg																						
				淡赤橙	Bg	IVg	cg																						
				黄橙	Bg	IVg	cg																						
				淡赤橙	Bg	IVg	cg																						
				黄橙	Bg	IVg	cg																						
110					灰白	Dg	IVg	cg				106.11~130.00m: 花崗斑岩。106.30~107.66m: 高角度の割れ目が主体となる。107.17~107.66mは割れ目が密集し、岩片状~礫状に崩れる。	CL'																
					明褐色	Dg	IVg	cg				107.66~108.34m: 幅4mm程度までの白色粘土を挟在する割れ目が発達する。	CL'																
					灰白	Dg	IVg	cg				108.34~108.80m: 高~低角度が交差し、岩片状を呈する。下端には幅2mmの緑灰色粘土を挟在する。	CL'																
					淡赤橙	Dg	IVg	cg				109.02~110.90m: 高角度の割れ目が優勢となる。	CL'																
				淡黄橙	Dg	IVg	cg																						
				灰白	Dg	IVg	cg				111.53~113.18m: 珪化し、硬質になる。	CH'																	
				黄橙	Dg	IVg	cg				113.18~114.80m: 高~低角度の割れ目がともに発達する。	CH'																	
				淡赤橙	Dg	IVg	cg																						
				黄橙	Dg	IVg	cg				115.48~115.91m: 傾斜60~70°の割れ目が平行に発達する。	CL'																	
				淡赤橙	Dg	IVg	cg				116.36~116.44m: 傾斜60~70°の割れ目が密集する。	CL'																	
				黄橙	Dg	IVg	cg				116.65~117.54m: 微細な割れ目が不規則に発達する。	CL'																	
				淡赤橙	Dg	IVg	cg				117.70~118.00m: 傾斜80°程度の割れ目が集中する。	CL'																	
				黄橙	Dg	IVg	cg				118.00~118.65m: 不規則な割れ目が交差し、岩片状を呈する。	CL'																	
				淡赤橙	Dg	IVg	cg				118.98~119.91m: 高角度の割れ目が卓越する。	CM'																	
				黄橙	Dg	IVg	cg																						
				淡赤橙	Dg	IVg	cg				120.86~120.97m: 岩片状を呈する。	CH'																	
				黄橙	Dg	IVg	cg				121.27~121.51m: 斑状あるいは脈状の石英を挟在する。	CL'																	
				淡赤橙	Dg	IVg	cg				121.83~123.98m: 低角度の割れ目が顕著になる。	CM'																	
				黄橙	Dg	IVg	cg																						
				淡赤橙	Dg	IVg	cg				123.98~125.32m: 高角度の割れ目が優勢となる。	CL'																	
				黄橙	Dg	IVg	cg				124.80~125.06m: 割れ目が集中し、礫状を呈する。	CL'																	
				淡赤橙	Dg	IVg	cg				125.06~125.50m: 岩片状を呈する。	CL'																	
				黄橙	Dg	IVg	cg				125.50~125.68m: 角礫状を呈する。下端に幅2mmの暗褐色粘土を挟在する。傾斜は74°。	CM'																	
				淡赤橙	Dg	IVg	cg				125.68~128.08m: 高角度の割れ目が卓越する。	CL'																	
				黄橙	Dg	IVg	cg																						
				淡赤橙	Dg	IVg	cg				129.00~129.60m: 高・低角度の割れ目がともに発達する。	CL'																	
				黄橙	Dg	IVg	cg				129.60~130.00m: 高角度の割れ目が優勢となる。	CL'																	

# H27-Br-1

## 柱状図(70.00m~105.00m)



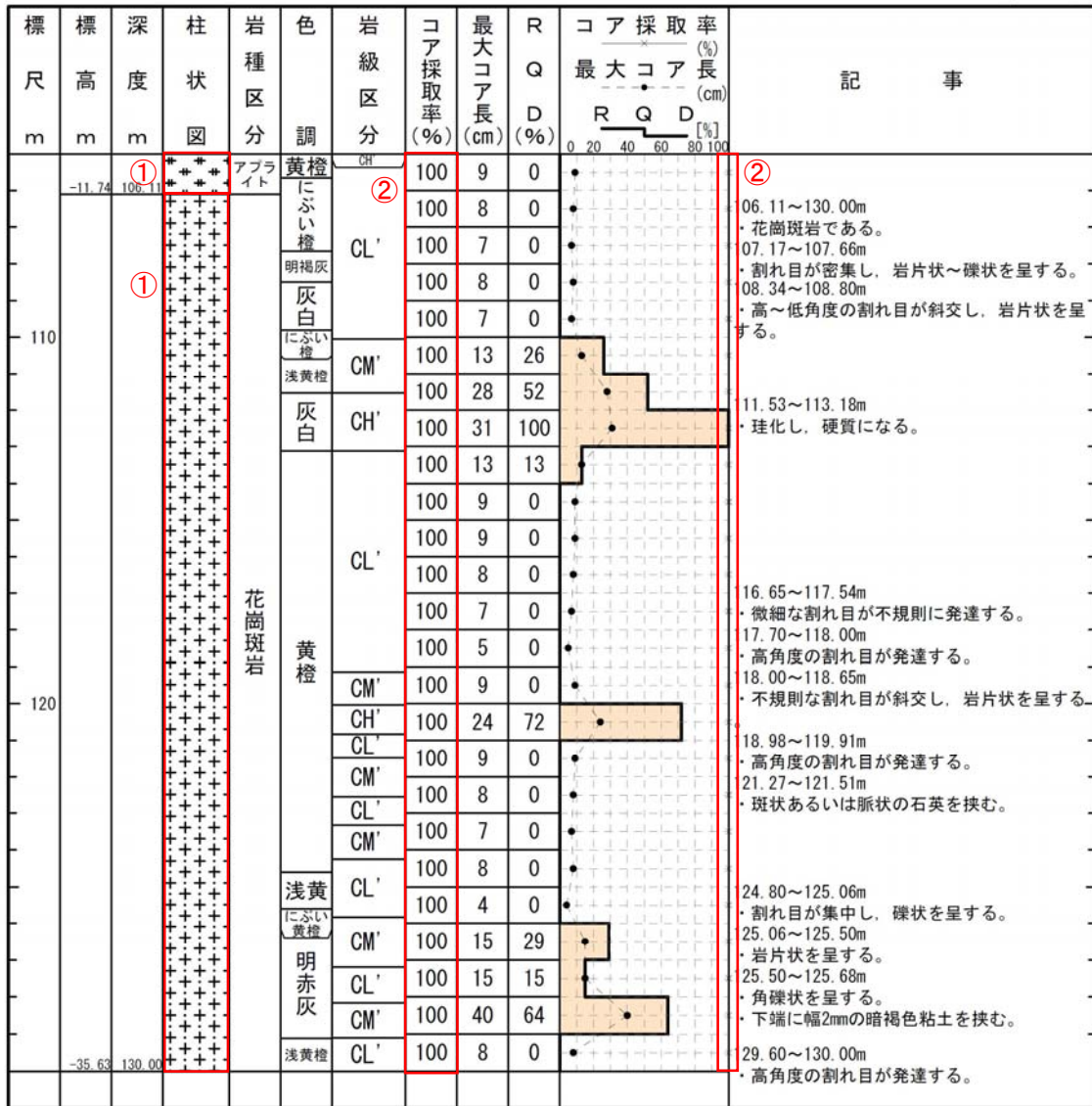
1-145(分類c)①  
 審査資料作成の際に模様を見直したため。  
 1-146(分類b)②  
 報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色硬	コアカ	割れ目の状態	風変質	記	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 cm R Q D ↳ [ % ]	岩級区分	標準貫入 ( ) 試験 ( N値~深度 ) 図		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)	
												N	値												
100	-11.74	106.11	アフリット	淡赤橙	Cg	IVg	cg		101.11~104.34m: 低角度の割れ目が主体となる。	9	CL'				5/13	111						1.0	清水	3	
				黄橙	Cg	IVg	cg		102.53~102.63m: 礫状を呈し、一部に幅1mmの灰白色粘土を挟在する。102.80~103.92m: 低角度の割れ目が卓越し、一部岩片状を呈す。	9	CM'					5/18	110						1.0	清水	5
				淡赤橙	Dg	IVg	cg		104.57m: 幅4mmの石英脈を挟む。	14	CH'														
				黄橙	Cg	IVg	cg			9	CL'														
				淡赤橙	Bg	IVg	cg			9	CL'														
				黄橙	Cg	IVg	cg			9	CL'														
				淡赤橙	Bg	IVg	cg			9	CL'														
				黄橙	Cg	IVg	cg			9	CL'														
				淡赤橙	Bg	IVg	cg			9	CL'														
				黄橙	Cg	IVg	cg			9	CL'														
110			花崗斑岩	にぶい橙	Bg	IVg	cg		106.11~130.00m: 花崗斑岩。106.30~107.66m: 高角度の割れ目が主体となる。107.17~107.66mは割れ目が密集し、岩片状~礫状に崩れる。	9	CL'														
				明褐色	Dg	IVg	cg		107.66~108.34m: 幅4mm程度までの白色粘土を挟在する割れ目が発達する。	9	CL'														
				灰白	Dg	IVg	cg		108.34~108.80m: 高~低角度が交差し、岩片状を呈する。下端には幅2mmの緑灰色粘土を挟在する。	9	CL'														
				にぶい橙	Bg	IVg	cg		109.02~110.90m: 高角度の割れ目が優勢となる。	9	CL'														
				浅黄橙	Cg	IVg	cg		111.53~113.18m: 珪化し、硬質になる。	26	CM'														
				灰白	Bg	IVg	cg		113.18~114.80m: 高~低角度の割れ目がともに発達する。	28	CH'														
				黄橙	Cg	IVg	cg		115.48~115.91m: 傾斜60~70°の割れ目が平行に発達する。	31	CH'														
				黄橙	Cg	IVg	cg		116.36~116.44m: 傾斜60~70°の割れ目が密集する。	30	CL'														
				黄橙	Cg	IVg	cg		116.65~117.54m: 微細な割れ目が不規則に発達する。	9	CL'														
				黄橙	Cg	IVg	cg		117.70~118.00m: 傾斜80°程度の割れ目が集中する。	9	CL'														
			黄橙	Cg	IVg	cg		118.00~118.65m: 不規則な割れ目が交差し、岩片状を呈する。	9	CL'															
			黄橙	Cg	IVg	cg		118.98~119.91m: 高角度の割れ目が卓越する。	9	CL'															
120			花崗斑岩	黄橙	Cg	IVg	cg		120.86~120.97m: 岩片状を呈する。	24	CH'														
				黄橙	Cg	IVg	cg		121.27~121.51m: 斑状あるいは脈状の石英を挟在する。	9	CL'														
				黄橙	Cg	IVg	cg		121.83~123.98m: 低角度の割れ目が顕著になる。	9	CL'														
				黄橙	Cg	IVg	cg		123.98~125.32m: 高角度の割れ目が優勢となる。	9	CL'														
				浅黄	Cg	IVg	cg		124.80~125.06m: 割れ目が集中し、礫状を呈する。	9	CL'														
				にぶい黄橙	Dg	IVg	cg		125.06~125.50m: 岩片状を呈する。	9	CL'														
				黄橙	Cg	IVg	cg		125.50~125.68m: 角礫状を呈する。下端に幅2mmの暗褐色粘土を挟在する。傾斜は74°。	15	CM'														
				明赤灰	Bg	IVg	cg		125.68~128.08m: 高角度の割れ目が卓越する。	15	CL'														
				明赤灰	Cg	IVg	cg		129.00~129.60m: 高・低角度の割れ目がともに発達する。	46	CM'														
				浅黄橙	Cg	IVg	cg		129.60~130.00m: 高角度の割れ目が優勢となる。	9	CL'														



# H27-Br-1

## 柱状図(105.00m~130.00m)



- 1-145, 1-150 (分類c) ①  
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-146 (分類b) ②  
報告書の記載漏れを修正したため。



# H20-①-8

## 柱状図(0.00m~35.00m)

H20-①-8

孔口標高	T.P.	29.37m	掘削長	35.00m
------	------	--------	-----	--------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記事	
										最大 コア長 (cm)	R	Q		D
	29.27	0.00	① ③ 有機質 礫混じり 砂 玉石	花崗斑岩	黒褐色 にぶい 黄橙	④	100	0	0	0	0	0	④ 0.00~0.16m ・有機質土である。 0.16~1.00m ・礫混じり砂である。 1.00~1.70m ・玉石である。 ・硬質の花崗斑岩である。 1.70~16.04m ・花崗斑岩である。 16.04~8.71m ・変質している。 ・風化を受け軟質化する。 8.71~6.5m ・幅1.5mmの石英脈を挟む。 6.50~4.00m ・割れ目沿いにマンガンが濃集する。 4.00~4.44m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。 4.44~8.71m ・割れ目が多く、角礫状~短柱状を呈する。 8.71~10.46m ・割れ目沿いにマンガンが濃集する。 10.46~3.66m ・変質している。 ・緑灰色粘土からなる。 3.66~14.92m ・割れ目沿いにマンガンが濃集する。 14.92~4.53m ・変質している。 ・明黄褐色を呈し、軟質化している。 4.53~6.04m ・アプライトが主体である。 6.04~6.64m ・幅2~5mm程度の石英脈を挟む。 6.64~22.30m ・花崗斑岩である。 22.30~24.00m ・全体にマンガンが沈着する。 24.00~24.96m ・破碎部である。 24.96~26.15m ・主に浅黄色の固結礫状部及び黄白色の固結粘土状部からなる。 26.15~10.0cm ・暗褐色の未固結粘土状部：累計幅10.0cm ・走向・傾斜はN5° E79° Wである。 ・上端境界の傾斜は80°、下端境界の傾斜は76°である。 10.0~26.15m ・花崗斑岩である。 26.15~34.38m ・割れ目沿いにマンガンが濃集する。	
	28.37	1.00					100	0	0	0	0	0		0
	27.51	1.86					100	0	0	100	0	0		0
							100	0	0	100	0	0		0
							100	0	0	100	0	0		0
							100	6	0	100	4	0		0
							100	0	0	100	4	0		0
							100	35	67	100	18	41		0
							100	9	0	100	9	0		0
							100	20	33	100	11	22		0
			100	7	0	100	7	0	0					
			100	11	11	100	11	11	0					
	13.33	16.04	②	アプライト	淡橙 浅黄橙	CM'	100	17	29	0	0	22.30~24.00m ・花崗斑岩である。 24.00~23.78m ・全体にマンガンが沈着する。 23.78~25.52m ・破碎部である。 25.52~24.96m ・主に浅黄色の固結礫状部及び黄白色の固結粘土状部からなる。 24.96~10.0cm ・暗褐色の未固結粘土状部：累計幅10.0cm ・走向・傾斜はN5° E79° Wである。 ・上端境界の傾斜は80°、下端境界の傾斜は76°である。 10.0~26.15m ・花崗斑岩である。 26.15~34.38m ・割れ目沿いにマンガンが濃集する。		
							100	8	0	100	8		0	0
							100	17	56	100	17		31	0
							100	17	31	100	17		31	0
							100	5	0	100	5		0	0
							100	17	30	100	17		30	0
	7.07	22.30	②	花崗斑岩 アプライト	淡橙	CM'	100	9	0	0	22.30~24.00m ・花崗斑岩である。 24.00~23.78m ・全体にマンガンが沈着する。 23.78~25.52m ・破碎部である。 25.52~24.96m ・主に浅黄色の固結礫状部及び黄白色の固結粘土状部からなる。 24.96~10.0cm ・暗褐色の未固結粘土状部：累計幅10.0cm ・走向・傾斜はN5° E79° Wである。 ・上端境界の傾斜は80°、下端境界の傾斜は76°である。 10.0~26.15m ・花崗斑岩である。 26.15~34.38m ・割れ目沿いにマンガンが濃集する。			
							100	9	0	100		9	0	0
	5.37	24.00	②	アプライト	浅黄	D'	100	8	0	0	22.30~24.00m ・花崗斑岩である。 24.00~23.78m ・全体にマンガンが沈着する。 23.78~25.52m ・破碎部である。 25.52~24.96m ・主に浅黄色の固結礫状部及び黄白色の固結粘土状部からなる。 24.96~10.0cm ・暗褐色の未固結粘土状部：累計幅10.0cm ・走向・傾斜はN5° E79° Wである。 ・上端境界の傾斜は80°、下端境界の傾斜は76°である。 10.0~26.15m ・花崗斑岩である。 26.15~34.38m ・割れ目沿いにマンガンが濃集する。			
							100	5	0	100		5	0	0
	3.22	26.15	②	花崗斑岩	淡橙 淡赤橙	CM'	100	26	60	0	0	22.30~24.00m ・花崗斑岩である。 24.00~23.78m ・全体にマンガンが沈着する。 23.78~25.52m ・破碎部である。 25.52~24.96m ・主に浅黄色の固結礫状部及び黄白色の固結粘土状部からなる。 24.96~10.0cm ・暗褐色の未固結粘土状部：累計幅10.0cm ・走向・傾斜はN5° E79° Wである。 ・上端境界の傾斜は80°、下端境界の傾斜は76°である。 10.0~26.15m ・花崗斑岩である。 26.15~34.38m ・割れ目沿いにマンガンが濃集する。		
							100	10	10	100	10		10	0
							100	13	35	100	13		35	0
							100	10	10	100	10		10	0
							100	16	37	100	16		37	0
							100	12	32	100	12		32	0
							100	16	39	100	16		39	0
							100	13	13	100	13		13	0
							100	13	13	100	13		13	0
							100	14	34	100	14		34	0
	-5.63	35.00												

- 1-151, 1-152(分類c)①  
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-153(分類d)②  
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-154(分類c)③  
表現を統一したため。
- 1-155(分類b)④  
報告書の記載漏れを修正したため。





# H20-①-8

## 柱状図(0.00m~35.00m)

H20-①-8

孔口標高	T.P.	29.37m	掘削長	35.00m
------	------	--------	-----	--------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記事	
										最大 コア 長 (cm)	R	Q		D
	29.27	0.00		有機質土	黒褐色		100	0	0				0.00~0.16m ・有機質土である。	
	28.37	1.00		礫混じり砂	褐色		100	0	0				0.16~1.00m ・礫混じり砂である。	
	27.51	1.86		玉石	にぶい 黄橙		100	0	0				1.00~1.70m ・玉石である。	
10			+	花崗斑岩	浅黄橙	D'	100	0	0					1.86~16.04m ・硬質の花崗斑岩である。 ・花崗斑岩である。
							100	0	0					1.86~8.71m ・変質している。 ・風化を受け軟質化する。
							100	0	0					2.65m ・幅1.5mmの石英脈を挟む。
							100	4	0					3.60~4.00m ・割れ目沿いにマンガンが濃集する。
							100	35	67					4.06~4.44m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。
							100	18	41					8.71~16.06m ・割れ目が多く、角礫状~短柱状を呈する。
							100	9	0					10.00~10.46m ・割れ目沿いにマンガンが濃集する。
							100	20	33					
							100	11	22					13.66~13.68m ・変質している。
							100	7	0					・緑灰色粘土からなる。
20			+	アプライト	淡黄橙	CM'	100	11	11					13.66~14.92m ・割れ目沿いにマンガンが濃集する。
							100	17	29					14.53~14.69m ・変質している。
							100	8	0					・明黄褐色を呈し、軟質化している。
							100	17	56					16.04~26.15m ・アプライトが主体である。
							100	17	31					16.64m ・幅2~5mm程度の石英脈を挟む。
							100	5	0					
30			+	花崗斑岩	淡黄橙	CM'	100	17	30					22.30~24.00m ・花崗斑岩である。
							100	17	30					23.78~25.52m ・全体にマンガンが沈着する。
							100	9	0					●24.96~26.15m(D-4破砕帯) ・破砕部である。
							100	9	0					① 主に浅黄色の固結礫状部及び黄白色の固結粘土状部からなる。
							100	8	0					・暗褐色の未固結粘土状部：累計幅10.0cm
							100	5	0					・走向・傾斜はN5° E79° Wである。
							100	26	60					② 上端境界の傾斜は80°、下端境界の傾斜は76°である。
							100	13	35					26.15~35.00m ・花崗斑岩である。
							100	10	10					
							100	16	37					
35			+	花崗斑岩	明黄褐	CM'	100	12	32					
							100	16	39					
							100	13	13					
							100	14	34					34.38~34.52m ・割れ目沿いにマンガンが濃集する。

- 1-153(分類d)①  
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
- 1-155(分類b)②  
報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo. 2

事業・工事名

ボーリング名	Br-2		調査位置		北緯				
発注機関					調査期間		東経		
調査業者名	主任技師				現代場人		ボーリング責任者		
孔口標高	58.29 m	角	180° 上	方	北 0° 東 90° 南 0° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	ハンマー落下用具
総掘削長	80.00 m	度	下 0°	向	0, 0°			試験機	ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [ % ]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	標準貫入 (N値~深度) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ピット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	排水量 (L/分)	排水量 (L/分)	
													(N値)	(深度)												
58.07	0.22	0.22	有機質シルト	黄橙	IVg	δ			0.00~0.22m: 有機質砂。黒色の腐植土や炭化した木片を含む。	0	D'	4/21	100	29.4			4/21	100	29.4	0	0	0	0	0	0	0
57.37	0.92	0.92	シルト	黄橙	IVg	ε			0.22~0.92m: シルト混じり砂。	50	D'															
				灰白	IVg	cg	2		0.92~80.00m: 花崗斑岩。	100	CL'															
				黄橙	IVg	cg	3		2.39~2.44m: 傾斜55~60°の割れ目が密集し、にぶい橙色粘土を挟在する。	150	CL'															
				黄橙	IVg	cg	2		2.44~2.58m: 幅2~4mmのにぶい橙色粘土を挟在する。	200	CM'															
				黄橙	IVg	cg	3		3.32~3.55m: 高・低角度の割れ目が交差し、低角度の割れ目に沿ってにぶい橙色粘土を挟在する。	250	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ		4.85~4.94m: 幅3~7mmのにぶい橙色粘土を挟む割れ目が発達する。	300	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			350	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			400	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			450	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			500	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			550	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			600	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			650	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			700	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			750	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			800	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			850	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			900	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			950	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			1000	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			1050	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			1100	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			1150	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			1200	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			1250	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			1300	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			1350	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			1400	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			1450	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			1500	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			1550	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			1600	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			1650	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			1700	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			1750	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			1800	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			1850	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			1900	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			1950	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			2000	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			2050	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			2100	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			2150	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			2200	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			2250	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			2300	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			2350	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			2400	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			2450	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			2500	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			2550	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			2600	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			2650	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			2700	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			2750	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			2800	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			2850	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			2900	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			2950	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			3000	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			3050	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			3100	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			3150	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			3200	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			3250	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			3300	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			3350	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			3400	CH'															
				黄橙	IVg	cg	γ			3450	CH'															

# H27-Br-2

## 柱状図(0.00m~30.00m)

H27-Br-2

孔口標高	T.P.	58.29m	掘削長	80.00m
------	------	--------	-----	--------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取 率 (%) 最大コア 長 (cm)	R Q D [%]	記事
	57.37	0.92	①	有機質 シルト 混じり 砂	明黄褐 黄橙	D'	100	3 9	0 0	③	0.00~0.22m 有機質砂である。 腐植や木片を含む。	
					灰白	CL'	100	15	40		0.22~0.92m シルト混じり砂である。 炭化木片を含む。	
					黄橙	CM'	100	19	43		0.92~80.00m 花崗斑岩である。	
					にぶい 黄橙	CH'	100	18	46		2.39~2.44m 中~高角度の割れ目が発達する。 にぶい橙色粘土を挟む。	
					浅黄 黄橙	CM'	100	40	71			
					灰白 明黄橙	CH'	100	39	61			
					灰白	CL'	100	9	0		8.82m 褐色の細礫混じりの粘土を挟む。	
					黄橙	CM'	100	26	53			
					黄橙	CL'	100	30	66			
					黄橙	CM'	100	17	56			
					黄橙	CL'	100	19	62			
					灰白	CM'	100	15	25			
					灰白	CL'	100	9	0			
				花崗斑岩	黄橙	D'	100	9	0		14.70~15.00m 高、低角度の割れ目が斜交する。 幅1~3mmの白~にぶい橙色を呈する粘土を挟む。	
					黄	D'	100	2	0		15.48~15.90m 不規則な割れ目が発達する。	
					灰白 黄橙	CL'	100	7	0		●15.94~16.99m(D-7破碎帯) 破碎部である。	
					灰白 黄橙	CL'	100	6	0		正断層センスである。 明黄褐~黄橙色の固結礫状部からなる。	
					灰白 黄橙	CM'	100	14	27		走向・傾斜はNS74° Wである。 フィルム状の粘土を挟在する。	
					灰白	CL'	100	19	31		上端境界の傾斜は60°、下端境界の傾斜は50°である。	
					灰白	CL'	100	16	27			
					黄橙	CL'	100	15	30		25.71~25.77m 粗粒砂状を呈する。 上端に幅10mmの淡褐~にぶい橙色粘土を挟む。	
					灰白	CL'	100	10	10			
					灰白	CL'	100	9	0			
					淡黄 黄橙	CL'	100	19	33			
					淡黄 黄橙	CL'	100	9	0		28.74m 幅20mmの淡褐色の細礫~砂混じり粘土を挟む。	
					淡黄 黄橙	CL'	100	8	0			
					淡黄 黄橙	CL'	100	9	0			

- 1-156(分類c)①  
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-157(分類d)②  
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-158(分類b)③  
報告書の記載漏れを修正したため。





# H27-Br-2

## 柱状図(0.00m~30.00m)

H27-Br-2

孔口標高	T.P.	58.29m	掘削長	80.00m
------	------	--------	-----	--------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取 率 (%)	最大コア 長 (cm)	R Q D [%]	記 事
	57.37	0.92		有機質 シルト 混じり 砂	明褐 黄	D'	100	3	0		0		0.00~0.22m ・有機質砂である。 ・腐植や木片を含む。
					黄橙	CL'	100	15	40				0.22~0.92m ・シルト混じり砂である。 ・炭化木片を含む。
					灰白	CM'	100	19	43				0.92~80.00m ・花崗斑岩である。
					黄橙 に ぶ い 黄 橙 混 じ り 粘 土	CH'	100	18	46				2.39~2.44m ・中~高角度の割れ目が発達する。 ・にぶい橙色粘土を挟む。
					灰白	CM'	100	40	71				
					黄橙 混 じ り 粘 土	CL'	100	39	61				
					灰白 明 黄 橙	CM'	100	9	0				8.82m ・褐色の細礫混じりの粘土を挟む。
					灰白	CH'	100	26	53				
					灰白	CL'	100	30	66				
					黄橙	CM'	100	17	56				
					黄橙	CL'	100	19	62				
					灰白	CM'	100	15	25				
					灰白	CL'	100	9	0				14.70~15.00m ・高、低角度の割れ目が斜交する。 ・幅1~3mmの白~にぶい橙色を呈する粘土を挟む。
					黄橙	D'	100	9	0				
					黄	D'	100	2	0				
					灰白 黄橙	CL'	100	5	0				15.48~15.90m ・不規則な割れ目が発達する。 ●15.94~16.99m(D-7破碎帯) ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・明黄褐~黄橙色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はNS74° Wである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。 ・上端境界の傾斜は60°、下端境界の傾斜は50°である。
					灰白 黄橙	CL'	100	7	0				
					灰白 黄橙	CL'	100	6	0				
					灰白	CM'	100	14	27				
					黄橙		100	19	31				
					灰白		100	16	27				
					黄橙		100	15	30				
					灰白	CL'	100	10	10				25.71~25.77m ・粗粒砂状を呈する。 ・上端に幅10mmの淡褐~にぶい橙色粘土を挟む。
					灰白		100	9	0				
					灰白		100	19	33				
					淡黄 黄橙		100	9	0				28.74m ・幅20mmの淡褐色の細礫~砂混じり粘土を挟む。
					淡黄 黄橙		100	8	0				
					黄橙		100	9	0				

- 1-156(分類c)①  
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-158(分類b)②  
報告書の記載漏れを修正したため。



# H27-Br-2

## 柱状図(30.00m~60.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	R Q D [%]	記 事	
													0
			①	花崗斑岩	灰白	CL'	100	18	35			②	
					黄橙	CM'	100	19	43				
					灰白	CL	100	9	0				32.32~32.87m 中角度の割れ目が発達する。
					灰白	CM'	100	23	50				33.95~34.05m 網目状の割れ目が発達する。 上端に幅15mmの淡褐色を呈する粘土及び幅 ~3mmの白色を呈する粘土を挟む。
					黄橙	CM'	100	18	46				35.82~35.93m 淡褐~灰白色を呈するシルト~粘土を挟む
					灰白	CH'	100	49	91				40.00~40.20m 高、低角度の割れ目が斜交する。 高角度の割れ目に沿って、淡褐色を呈する 粘土を挟む。
					黄橙		100	27	69				
					明赤灰		100	48	82				
					黄橙		100	25	61				
					黄橙	CM'	100	7	0				42.07~42.21m 中角度の割れ目が発達する。
					明赤灰	CH'	100	19	72				44.24m 高角度の割れ目が発達する。
					黄橙	CM'	100	19	72				
					にぶい 黄橙	CH'	100	25	54				44.58~44.64m 径20~40mmの石英及び長石が密集する。
					橙		100	9	0				
					黄橙		100	38	92				
					明赤灰	B'	100	40	91				55.95~56.27m 変質しており、黒褐色を呈する。
					明 黄 褐	CH'	100	45	85				
					黄 橙	CL'	100	50	100				
					黄 橙	CH'	100	18	52				
					明赤灰	CL'	100	25	75				59.20m 高角度の割れ目に沿って幅2~3mmの石英脈 及び幅2mmの白色粘土を挟む。
			黄 橙	B'	100	5	0						
			明 黄 橙	B'	100	64	64						
			黄 橙	CM'	100	18	66						
			灰 白	CH'	100	19	66						
			黄 橙	CH'	100	46	81						

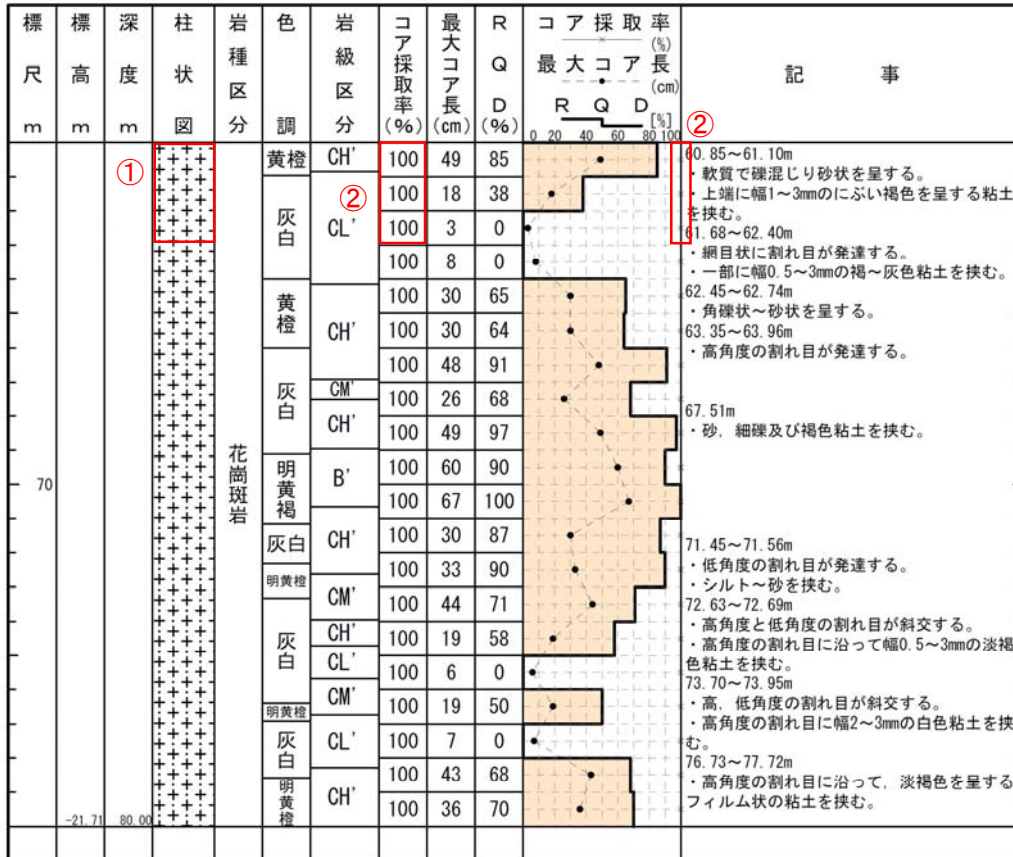
- 1-156(分類c)①  
 審査資料作成の際に模様を見直したため。  
 1-158(分類b)②  
 報告書の記載漏れを修正したため。





# H27-Br-2

## 柱状図(60.00m~80.00m)

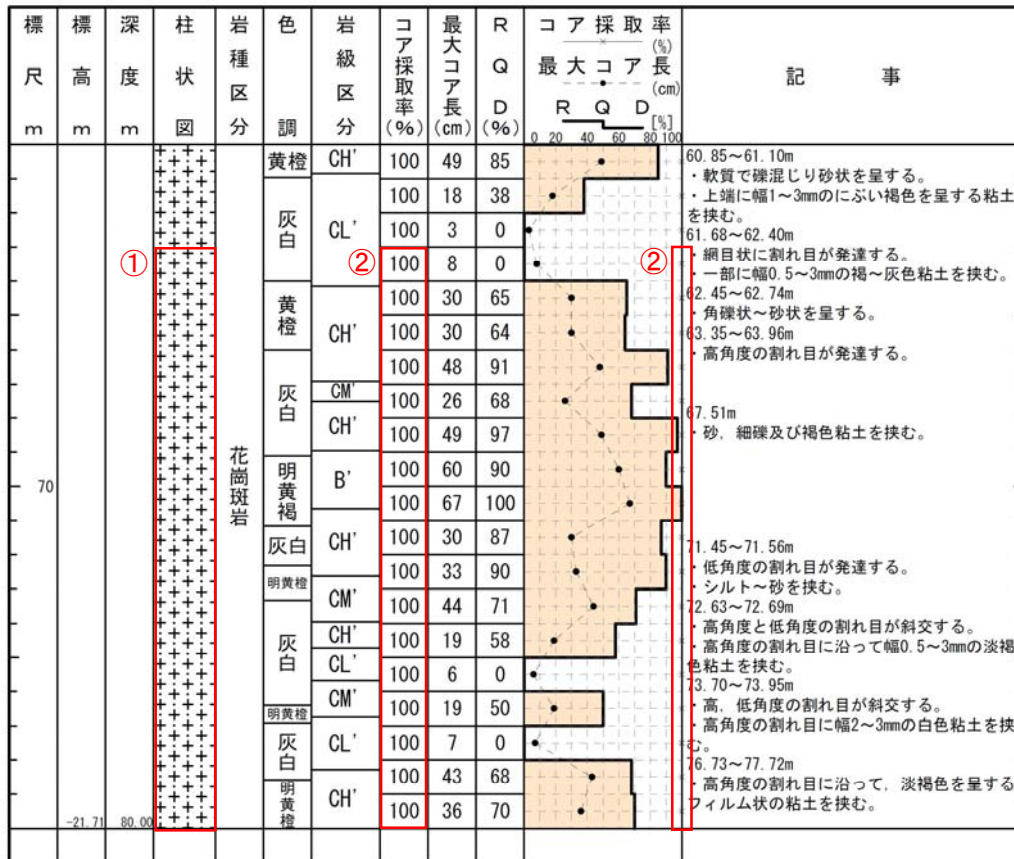


- 1-156(分類c) ①  
 審査資料作成の際に模様を見直したため。  
 1-158(分類b) ②  
 報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	記 事	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 cm R Q D ↳ [ % ]	岩級区分	標準貫入 ( 試験 ) ( N 値 ~ 深度 ) 図		原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給 回 送 送 排 圧 転 水 水 水 ( kN・MPa ) ( rpm ) ( MPa ) ( L/分 )													
													N	値																				
70	-21.71	80.00	[Diagram]	花崗斑岩	灰白	IVg	cg	2	3	2	63.35~63.96m: 高角度の割れ目が優勢で、幅0.5~1mmの灰白色粘土を挟在するものが多い。	CL'	0	50	5/8	80	ダフルコアチューブ / ダイアモンドビット	19.6	150	29.4	180	19.6	150											
													黄橙											IIIg	bg	2	64.98m: 幅1mmの褐色粘土を挟在する。	CH'	30	65	29.4	180	19.6	150
																													黄橙	IIg				
					灰白	IVg	cg	1	67.51m: 幅4mmで砂、細礫及び褐色粘土を挟在する。	CM'	48	91	29.4	180				19.6	150															
											灰白	IIg								cg	1	67.51m: 幅4mmで砂、細礫及び褐色粘土を挟在する。	CM'	48	91	29.4	180	19.6	150					
					明黄橙	I g	bg	1	71.45~71.56m: 低角度の割れ目が集中する。幅1~5mmのシルト~砂を挟在する。	CH'			49	97				29.4	180					19.6	150									
											明黄橙	IIg	bg	1						71.45~71.56m: 低角度の割れ目が集中する。幅1~5mmのシルト~砂を挟在する。	CH'	49	97			29.4	180	19.6	150					
					明黄橙	IIg	cg	1	72.63~72.69m: 傾斜80°と低角度の割れ目が交差する。高角度の割れ目に沿って幅0.5~3mmの淡褐色粘土を挟在する。	CM'								60	97			29.4	180	19.6	150									
											明黄橙	IIg	cg	1				72.63~72.69m: 傾斜80°と低角度の割れ目が交差する。高角度の割れ目に沿って幅0.5~3mmの淡褐色粘土を挟在する。	CM'	60	97					29.4	180	19.6	150					
					灰白	IVg	bg	1	73.70~73.95m: 高・低角度の割れ目が交差する。高角度の割れ目に幅2~3mmの白色粘土を挟在する。	CH'										67	108	29.4	180	19.6	150									
											灰白	IIIg	bg	1				73.70~73.95m: 高・低角度の割れ目が交差する。高角度の割れ目に幅2~3mmの白色粘土を挟在する。	CH'	67	108					29.4	180	19.6	150					
					灰白	IVg	cg	1	75.15~75.68m: 低角度の割れ目が目立ち、幅0.5~2mmの白色粘土、砂、鉱物脈を挟むものが多い。	CL'										8	58	29.4	180	19.6	150									
灰白	IIIg	bg	1	75.15~75.68m: 低角度の割れ目が目立ち、幅0.5~2mmの白色粘土、砂、鉱物脈を挟むものが多い。							CM'	8	58	29.4	180	19.6	150																	
					明黄橙	IIIg	bg	1	76.73~77.72m: フィルム状の淡褐色粘土を挟在する高角度の割れ目が多い。	CL'		15	50					29.4	180	19.6	150													
明黄橙	IIIg	bg	1	76.73~77.72m: フィルム状の淡褐色粘土を挟在する高角度の割れ目が多い。							CL'	15	50	29.4	180	19.6	150																	
					明黄橙	IVg	cg	1	76.73~77.72m: フィルム状の淡褐色粘土を挟在する高角度の割れ目が多い。	CL'		15	50					29.4	180	19.6	150													
明黄橙	IVg	cg	1	76.73~77.72m: フィルム状の淡褐色粘土を挟在する高角度の割れ目が多い。							CL'	15	50	29.4	180	19.6	150																	
					明黄橙	IIg	bg	1	76.73~77.72m: フィルム状の淡褐色粘土を挟在する高角度の割れ目が多い。	CH'		43	62					29.4	180	19.6	150													
明黄橙	IIg	bg	1	76.73~77.72m: フィルム状の淡褐色粘土を挟在する高角度の割れ目が多い。							CH'	43	62	29.4	180	19.6	150																	
					明黄橙	IIIg	bg	1	76.73~77.72m: フィルム状の淡褐色粘土を挟在する高角度の割れ目が多い。	CH'		43	62					29.4	180	19.6	150													
明黄橙	IIIg	bg	1	76.73~77.72m: フィルム状の淡褐色粘土を挟在する高角度の割れ目が多い。							CH'	43	62	29.4	180	19.6	150																	

# H27-Br-2

## 柱状図(60.00m~80.00m)



- 1-156(分類c)①  
 審査資料作成の際に模様を見直したため。  
 1-158(分類b)②  
 報告書の記載漏れを修正したため。



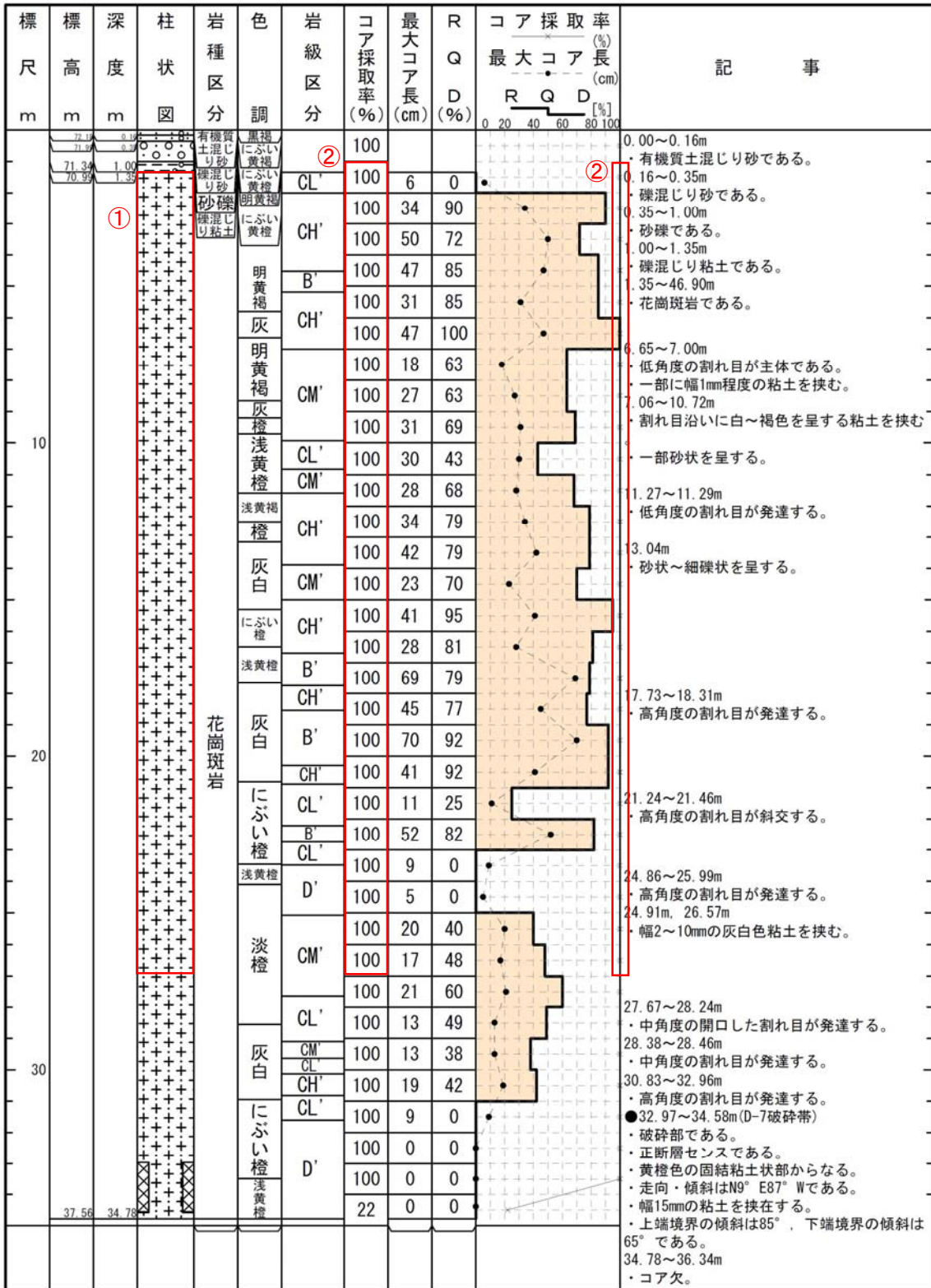


# H27-Br-8

## 柱状図(0.00m~35.00m)

H27-Br-8

孔 口 標 高	T. P.	72.34m	掘 削 長	100.00m
---------	-------	--------	-------	---------



- 1-159(分類c)①  
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-160(分類b)②  
報告書の記載漏れを修正したため。

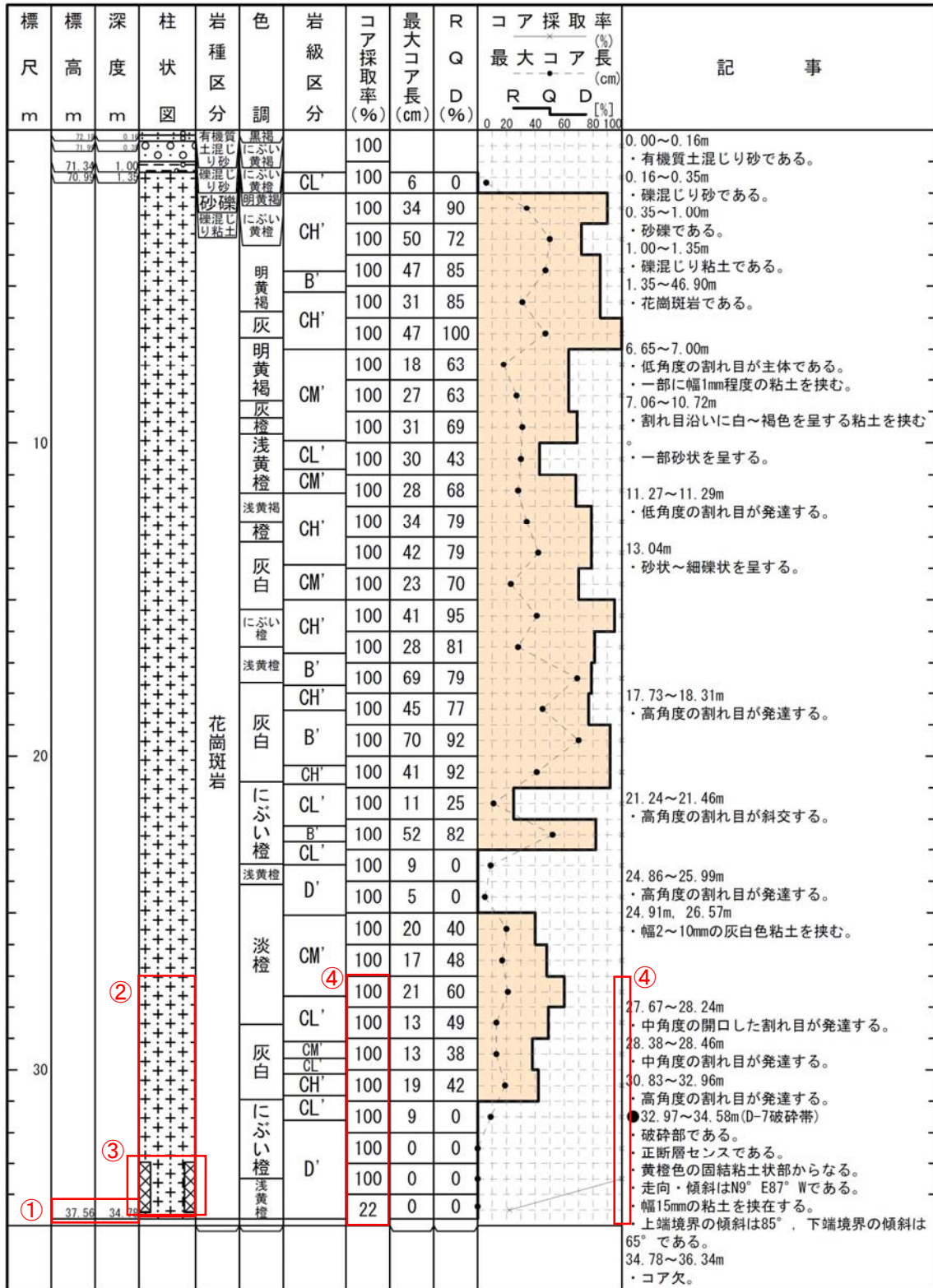


# H27-Br-8

## 柱状図(0.00m~35.00m)

H27-Br-8

孔口標高	T.P.	72.34m	掘削長	100.00m
------	------	--------	-----	---------



- 1-161, 1-162 (分類c) ①  
コア欠を反映させたため。
- 1-159 (分類c) ②  
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-163 (分類d) ③  
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-160 (分類b) ④  
報告書の記載漏れを修正したため。

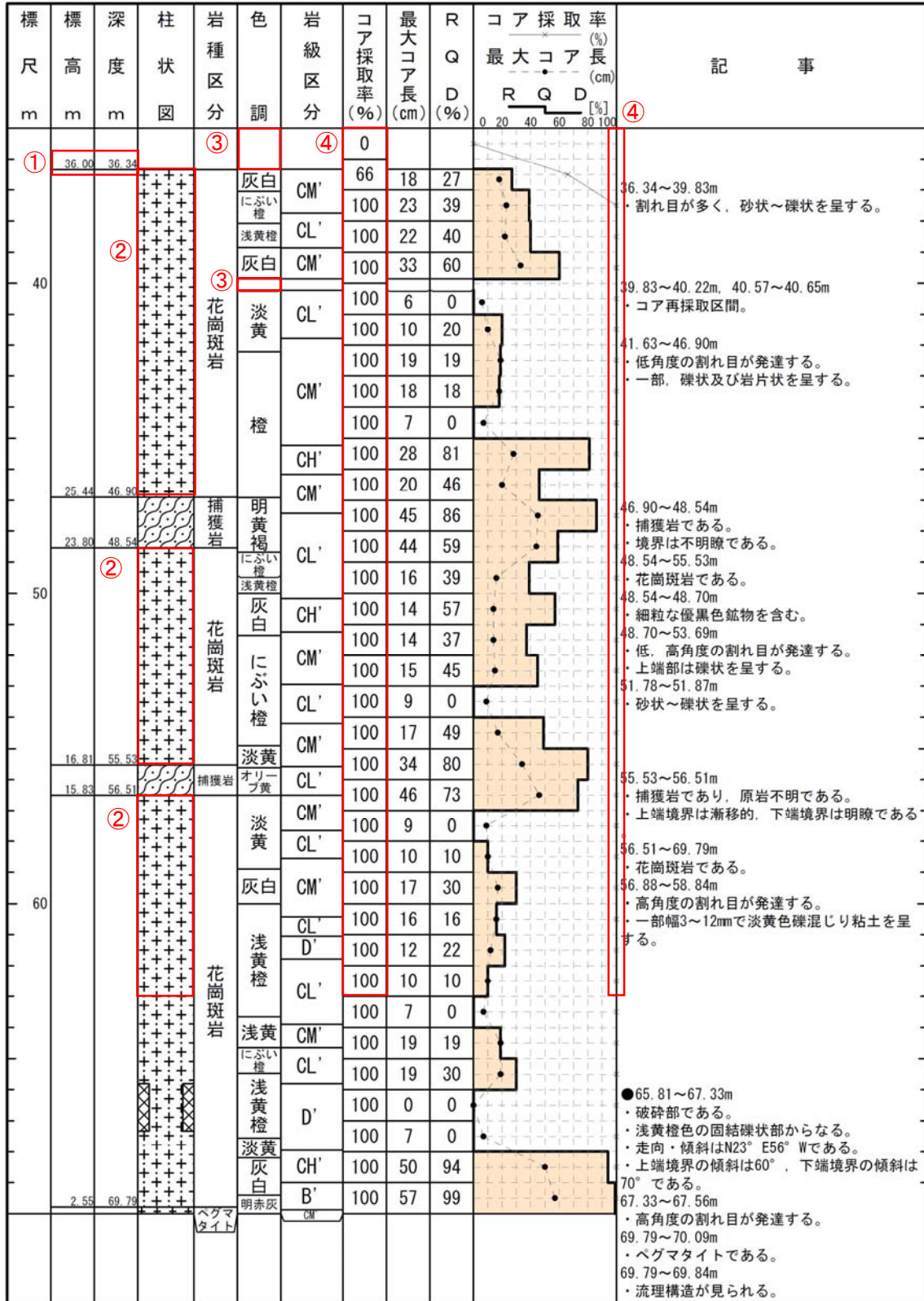






# H27-Br-8

## 柱状図(35.00m~70.00m)



1-164, 1-165 (分類c) ①

コア欠を反映させたため。

1-166~1-168 (分類c) ②

審査資料作成の際に模様を見直したため。

1-169, 1-170 (分類c) ③

表現を統一したため。

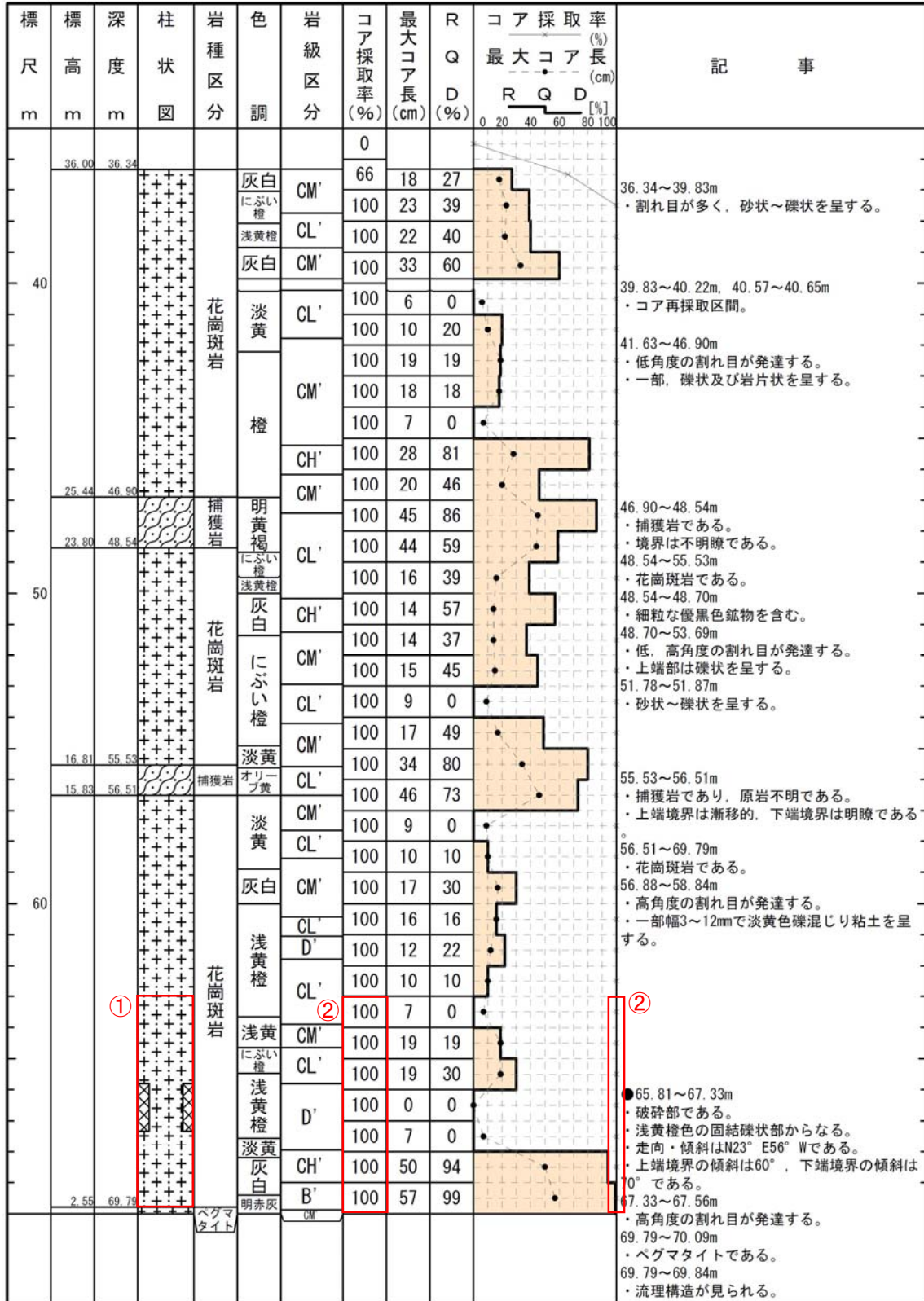
1-160 (分類b) ④

報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → ( % ) 最大コア長 cm R Q D ↳ [ % ]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 ( N 値 ~ 深度 ) 試験		原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進月日	掘進速度 ( cm / 時 )	孔径 ( mm ) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 ( kN · MPa )	回転数 ( rpm )	送水圧 ( MPa )	送水量 ( L / 分 )	排水量 ( L / 分 )				
															N	値															
70	2.55	69.79		花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	3		64.36~84.96m: 最大幅2mmの灰白色粘土を多数挟在する。	CL'																			
	2.25	70.09		花崗斑岩	淡黄	IV g	bg	γ	2		●65.81~67.33m: 破碎帯。角礫状破砕部(H <sub>1</sub> )。上部に幅5~10mmの石英脈及び幅5~15mmの赤色粘土を挟在する。傾斜は60°。淡灰~灰白~黄灰色の粘土~シルトの基質中に、最大径50mm程度の岩片を挟む。下端の傾斜は70°。	CM'																			
				花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		67.33~67.56m: 傾斜70~80°の割れ目が密集する。	CL'									5/28	131									
				花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		69.79~70.09m: ベグマタイト。69.79~69.84mには流理構造が見られる。	D'																			
				花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		70.09~100.00m: 花崗斑岩。70.09~70.75m: ベグマタイトとの交代作用が見られる。70.64mまでは高角度の開口した割れ目が卓越し、岩片状を呈する。71.35~77.19m: 比較強い酸化を受けているが、コアは柱状を呈す。	CH'																			
				花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		77.19~78.56m: 高角度の割れ目が卓越し、最大幅1mmの灰白色粘土を多数挟在する。77.65~77.71m: 砂状を呈する。	B'																			
				花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		78.84~79.16m: 高角度の割れ目が密集し、一部に幅1mm程度の灰白色粘土を挟在する。79.65~80.09m: 高角度の割れ目が発達し、79.92mに幅5mmの石英脈を挟在する。80.65~80.69m: 高・低角度の割れ目が交差する。	CM'																			
				花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		77.19~78.56m: 高角度の割れ目が卓越し、最大幅1mmの灰白色粘土を多数挟在する。77.65~77.71m: 砂状を呈する。	B'																			
				花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		78.84~79.16m: 高角度の割れ目が密集し、一部に幅1mm程度の灰白色粘土を挟在する。79.65~80.09m: 高角度の割れ目が発達し、79.92mに幅5mmの石英脈を挟在する。80.65~80.69m: 高・低角度の割れ目が交差する。	CH'																			
				花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		77.19~78.56m: 高角度の割れ目が卓越し、最大幅1mmの灰白色粘土を多数挟在する。77.65~77.71m: 砂状を呈する。	B'																			
				花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		78.84~79.16m: 高角度の割れ目が密集し、一部に幅1mm程度の灰白色粘土を挟在する。79.65~80.09m: 高角度の割れ目が発達し、79.92mに幅5mmの石英脈を挟在する。80.65~80.69m: 高・低角度の割れ目が交差する。	CH'																			
				花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		77.19~78.56m: 高角度の割れ目が卓越し、最大幅1mmの灰白色粘土を多数挟在する。77.65~77.71m: 砂状を呈する。	B'																			
				花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		78.84~79.16m: 高角度の割れ目が密集し、一部に幅1mm程度の灰白色粘土を挟在する。79.65~80.09m: 高角度の割れ目が発達し、79.92mに幅5mmの石英脈を挟在する。80.65~80.69m: 高・低角度の割れ目が交差する。	CH'																			
				花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		77.19~78.56m: 高角度の割れ目が卓越し、最大幅1mmの灰白色粘土を多数挟在する。77.65~77.71m: 砂状を呈する。	B'																			
				花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		78.84~79.16m: 高角度の割れ目が密集し、一部に幅1mm程度の灰白色粘土を挟在する。79.65~80.09m: 高角度の割れ目が発達し、79.92mに幅5mmの石英脈を挟在する。80.65~80.69m: 高・低角度の割れ目が交差する。	CH'																			
				花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		77.19~78.56m: 高角度の割れ目が卓越し、最大幅1mmの灰白色粘土を多数挟在する。77.65~77.71m: 砂状を呈する。	B'																			
				花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		78.84~79.16m: 高角度の割れ目が密集し、一部に幅1mm程度の灰白色粘土を挟在する。79.65~80.09m: 高角度の割れ目が発達し、79.92mに幅5mmの石英脈を挟在する。80.65~80.69m: 高・低角度の割れ目が交差する。	CH'																			
				花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		77.19~78.56m: 高角度の割れ目が卓越し、最大幅1mmの灰白色粘土を多数挟在する。77.65~77.71m: 砂状を呈する。	B'																			
				花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		78.84~79.16m: 高角度の割れ目が密集し、一部に幅1mm程度の灰白色粘土を挟在する。79.65~80.09m: 高角度の割れ目が発達し、79.92mに幅5mmの石英脈を挟在する。80.65~80.69m: 高・低角度の割れ目が交差する。	CH'																			
				花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		77.19~78.56m: 高角度の割れ目が卓越し、最大幅1mmの灰白色粘土を多数挟在する。77.65~77.71m: 砂状を呈する。	B'																			
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		78.84~79.16m: 高角度の割れ目が密集し、一部に幅1mm程度の灰白色粘土を挟在する。79.65~80.09m: 高角度の割れ目が発達し、79.92mに幅5mmの石英脈を挟在する。80.65~80.69m: 高・低角度の割れ目が交差する。	CH'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		77.19~78.56m: 高角度の割れ目が卓越し、最大幅1mmの灰白色粘土を多数挟在する。77.65~77.71m: 砂状を呈する。	B'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		78.84~79.16m: 高角度の割れ目が密集し、一部に幅1mm程度の灰白色粘土を挟在する。79.65~80.09m: 高角度の割れ目が発達し、79.92mに幅5mmの石英脈を挟在する。80.65~80.69m: 高・低角度の割れ目が交差する。	CH'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		77.19~78.56m: 高角度の割れ目が卓越し、最大幅1mmの灰白色粘土を多数挟在する。77.65~77.71m: 砂状を呈する。	B'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		78.84~79.16m: 高角度の割れ目が密集し、一部に幅1mm程度の灰白色粘土を挟在する。79.65~80.09m: 高角度の割れ目が発達し、79.92mに幅5mmの石英脈を挟在する。80.65~80.69m: 高・低角度の割れ目が交差する。	CH'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		77.19~78.56m: 高角度の割れ目が卓越し、最大幅1mmの灰白色粘土を多数挟在する。77.65~77.71m: 砂状を呈する。	B'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		78.84~79.16m: 高角度の割れ目が密集し、一部に幅1mm程度の灰白色粘土を挟在する。79.65~80.09m: 高角度の割れ目が発達し、79.92mに幅5mmの石英脈を挟在する。80.65~80.69m: 高・低角度の割れ目が交差する。	CH'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		77.19~78.56m: 高角度の割れ目が卓越し、最大幅1mmの灰白色粘土を多数挟在する。77.65~77.71m: 砂状を呈する。	B'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		78.84~79.16m: 高角度の割れ目が密集し、一部に幅1mm程度の灰白色粘土を挟在する。79.65~80.09m: 高角度の割れ目が発達し、79.92mに幅5mmの石英脈を挟在する。80.65~80.69m: 高・低角度の割れ目が交差する。	CH'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		77.19~78.56m: 高角度の割れ目が卓越し、最大幅1mmの灰白色粘土を多数挟在する。77.65~77.71m: 砂状を呈する。	B'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		78.84~79.16m: 高角度の割れ目が密集し、一部に幅1mm程度の灰白色粘土を挟在する。79.65~80.09m: 高角度の割れ目が発達し、79.92mに幅5mmの石英脈を挟在する。80.65~80.69m: 高・低角度の割れ目が交差する。	CH'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		77.19~78.56m: 高角度の割れ目が卓越し、最大幅1mmの灰白色粘土を多数挟在する。77.65~77.71m: 砂状を呈する。	B'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		78.84~79.16m: 高角度の割れ目が密集し、一部に幅1mm程度の灰白色粘土を挟在する。79.65~80.09m: 高角度の割れ目が発達し、79.92mに幅5mmの石英脈を挟在する。80.65~80.69m: 高・低角度の割れ目が交差する。	CH'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		77.19~78.56m: 高角度の割れ目が卓越し、最大幅1mmの灰白色粘土を多数挟在する。77.65~77.71m: 砂状を呈する。	B'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		78.84~79.16m: 高角度の割れ目が密集し、一部に幅1mm程度の灰白色粘土を挟在する。79.65~80.09m: 高角度の割れ目が発達し、79.92mに幅5mmの石英脈を挟在する。80.65~80.69m: 高・低角度の割れ目が交差する。	CH'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		77.19~78.56m: 高角度の割れ目が卓越し、最大幅1mmの灰白色粘土を多数挟在する。77.65~77.71m: 砂状を呈する。	B'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		78.84~79.16m: 高角度の割れ目が密集し、一部に幅1mm程度の灰白色粘土を挟在する。79.65~80.09m: 高角度の割れ目が発達し、79.92mに幅5mmの石英脈を挟在する。80.65~80.69m: 高・低角度の割れ目が交差する。	CH'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		77.19~78.56m: 高角度の割れ目が卓越し、最大幅1mmの灰白色粘土を多数挟在する。77.65~77.71m: 砂状を呈する。	B'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		78.84~79.16m: 高角度の割れ目が密集し、一部に幅1mm程度の灰白色粘土を挟在する。79.65~80.09m: 高角度の割れ目が発達し、79.92mに幅5mmの石英脈を挟在する。80.65~80.69m: 高・低角度の割れ目が交差する。	CH'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		77.19~78.56m: 高角度の割れ目が卓越し、最大幅1mmの灰白色粘土を多数挟在する。77.65~77.71m: 砂状を呈する。	B'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		78.84~79.16m: 高角度の割れ目が密集し、一部に幅1mm程度の灰白色粘土を挟在する。79.65~80.09m: 高角度の割れ目が発達し、79.92mに幅5mmの石英脈を挟在する。80.65~80.69m: 高・低角度の割れ目が交差する。	CH'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		77.19~78.56m: 高角度の割れ目が卓越し、最大幅1mmの灰白色粘土を多数挟在する。77.65~77.71m: 砂状を呈する。	B'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		78.84~79.16m: 高角度の割れ目が密集し、一部に幅1mm程度の灰白色粘土を挟在する。79.65~80.09m: 高角度の割れ目が発達し、79.92mに幅5mmの石英脈を挟在する。80.65~80.69m: 高・低角度の割れ目が交差する。	CH'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		77.19~78.56m: 高角度の割れ目が卓越し、最大幅1mmの灰白色粘土を多数挟在する。77.65~77.71m: 砂状を呈する。	B'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		78.84~79.16m: 高角度の割れ目が密集し、一部に幅1mm程度の灰白色粘土を挟在する。79.65~80.09m: 高角度の割れ目が発達し、79.92mに幅5mmの石英脈を挟在する。80.65~80.69m: 高・低角度の割れ目が交差する。	CH'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4		77.19~78.56m: 高角度の割れ目が卓越し、最大幅1mmの灰白色粘土を多数挟在する。77.65~77.71m: 砂状を呈する。	B'																				
			花崗斑岩	淡黄	IV g	cg	δ	4</																							

# H27-Br-8

## 柱状図(35.00m~70.00m)



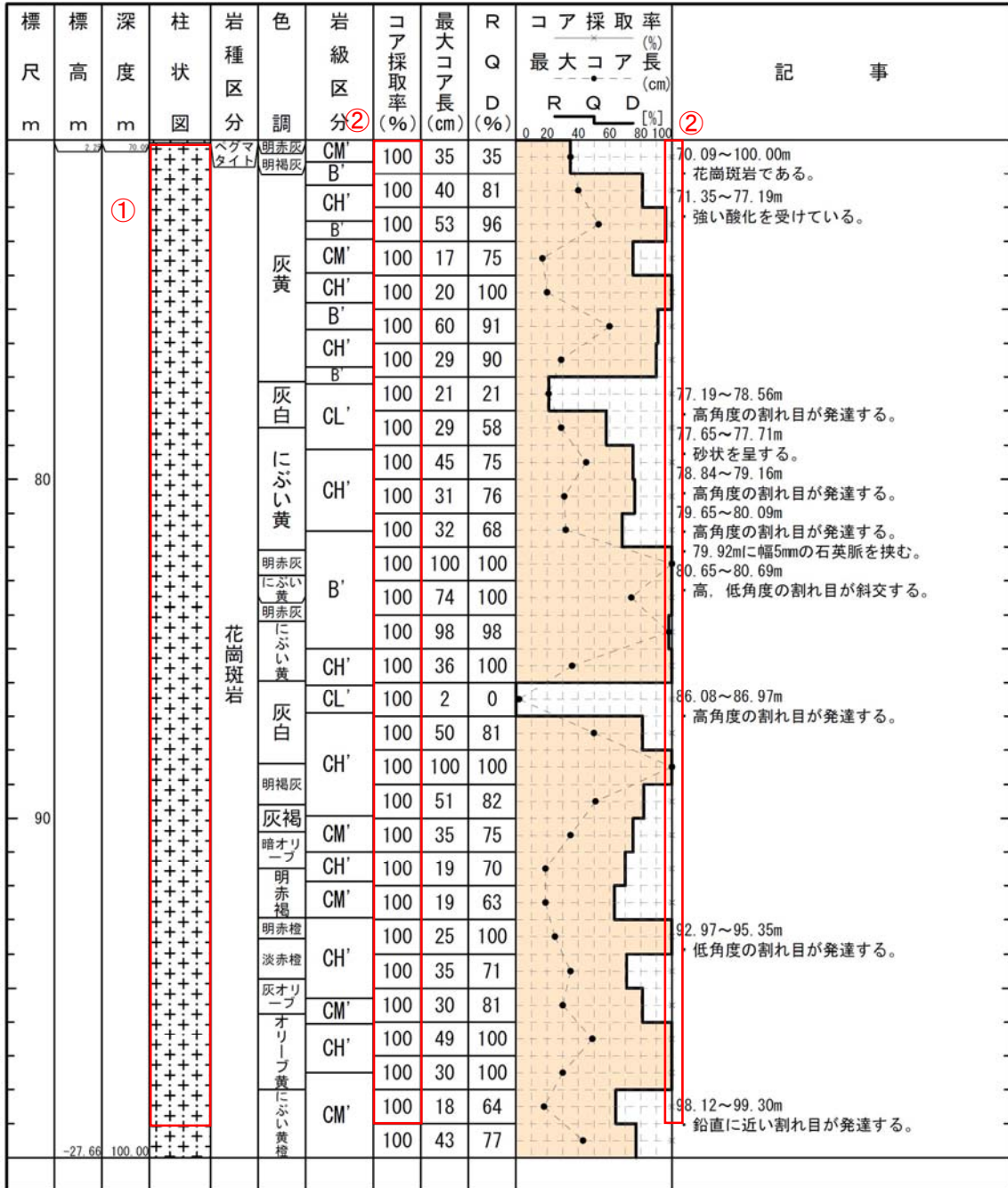
1-168(分類c)①  
 審査資料作成の際に模様を見直したため。  
 1-160(分類b)②  
 報告書の記載漏れを修正したため。





# H27-Br-8

## 柱状図(70.00m~100.00m)

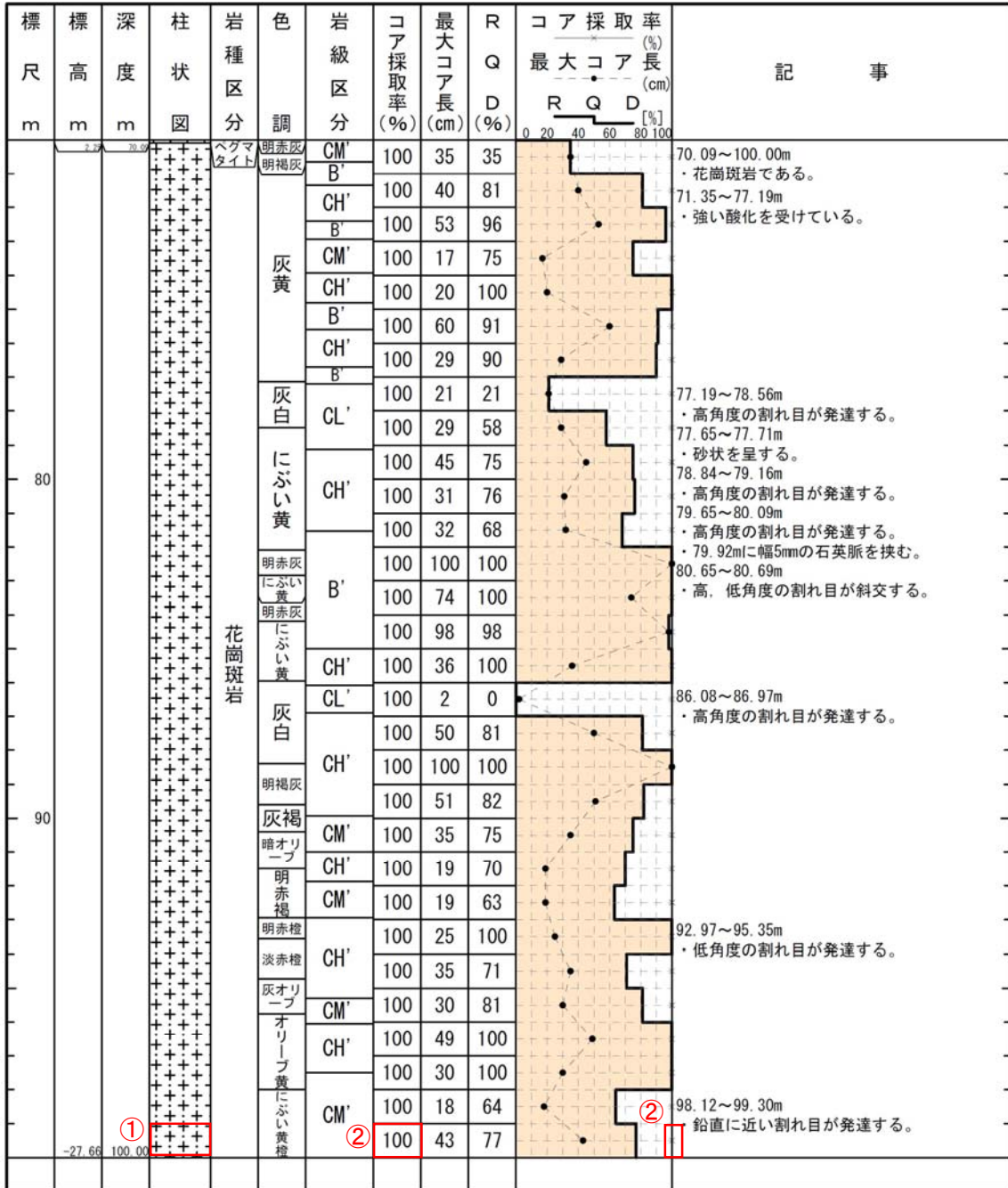


- 1-171(分類c)①  
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-160(分類b)②  
報告書の記載漏れを修正したため。



# H27-Br-8

## 柱状図(70.00m~100.00m)



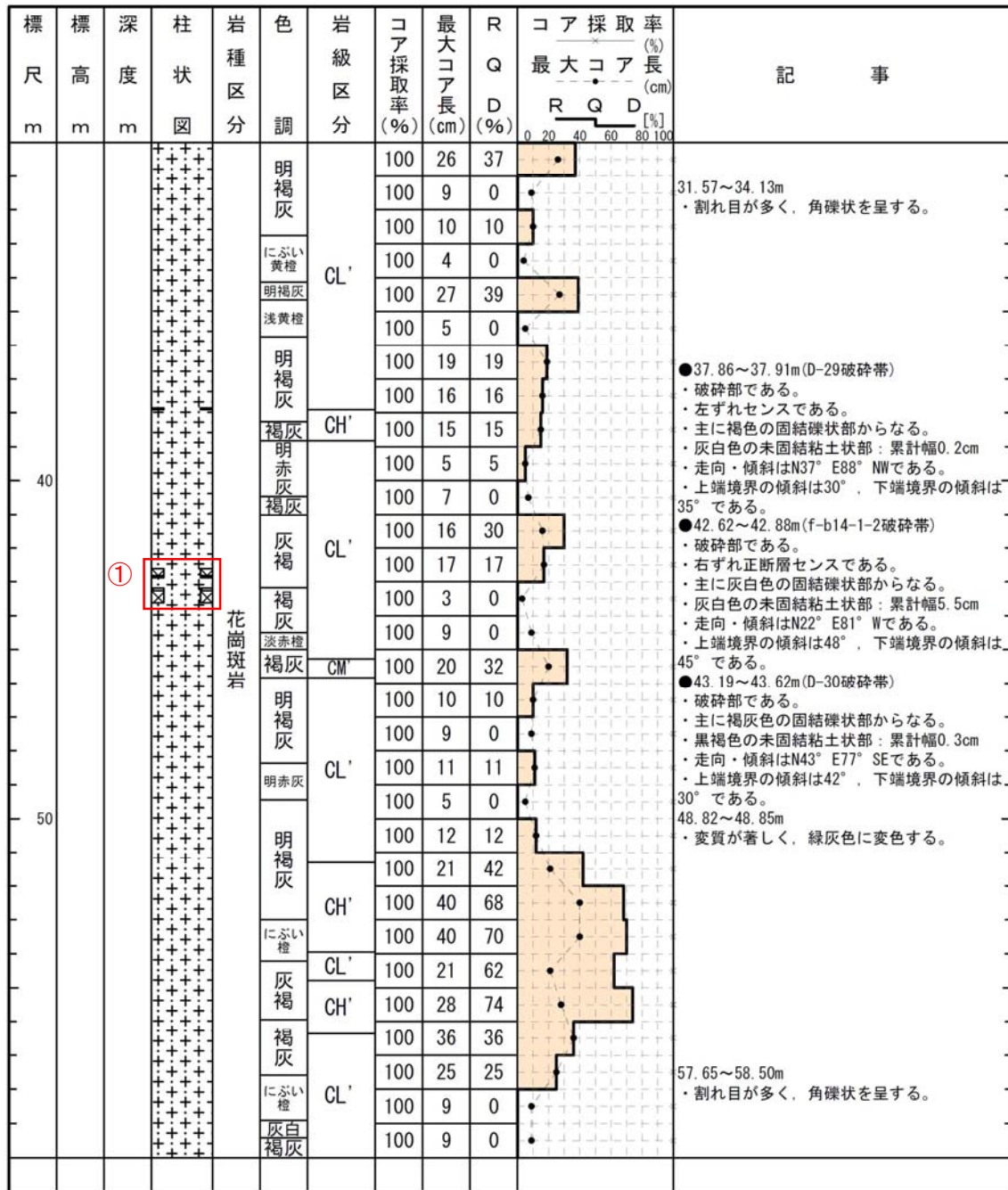
- 1-171(分類c)①  
 審査資料作成の際に模様を見直したため。  
 1-160(分類b)②  
 報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コアカ形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入 ) 試験		原位置試験 (孔内水平距離)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)			
														( N 値 ~ 深度 ) 図	( N 値 )														
		20	花崗斑岩	明褐灰	Dg	Vg	cg	δ	3	18.50~18.61m: 砂状化し、軟質である。	9	CL'						8/2	115 / ケーシング										
				明褐灰	Dg	Vg	cg	δ	3	19.00~22.11m: 傾斜10~30'の割れ目が0.5~3cm間隔で発達し、コアは角礫状~岩片状化している。20.36~20.49m: やや硬質で、割れ目は褐色で密着している。21.00~21.16m: やや硬質で、割れ目が発達する。	9	CL'																	
				明褐灰	Dg	Vg	cg	γ	2	●21.63~22.57m: 破砕帯 (D-15) 破砕幅は57.9cmである。にふい橙色の割れ目の密集部からなる。	9	CL'																	
				明褐灰	Dg	Vg	cg	δ	3	23.35~23.87m: 非常に硬質である。ハンマーの打撃で澄んだ金属音を発する。	13	CM																	
				明褐灰	Dg	Vg	cg	γ	2	24.10~24.70m: 網状に割れ目が発達する。所々に褐色の粘土を挟入する。	26	CM																	
				にふい橙	Dg	Vg	cg	δ	3	25.32~25.75m: 軟質である。割れ目が多く、傾斜70'の割れ目が約1cm間隔で発達する。割れ目面は黒色で、一部砂状化している。	26	CM																	
				にふい橙	Dg	Vg	cg	γ	2	26.00~26.46m: 割れ目は少なく、非常に硬質である。	27	CL'																	
				にふい橙	Dg	Vg	cg	δ	3	27.47~27.70m: 一部、割れ目に沿って軟質化している。	27	CL'																	
				浅赤橙	Dg	Vg	cg	δ	3	28.63~29.22m: 割れ目が多く角礫状化している。	28	CL'																	
		30		淡赤橙	Dg	Vg	cg	γ	2	29.22~29.80m: 割れ目はやや多いが硬質である。	29	CL'																	
				明褐灰	Dg	Vg	cg	δ	3	31.57~32.33m: 割れ目間隔は1~5cmで、岩片状コアが主となる。ハンマー打診で金属音を発する。	30	CL'																	
				明褐灰	Dg	Vg	cg	γ	2	33.41~34.13m: 割れ目が多い、角礫~岩片状を呈する。軟質である。	31	CL'																	
				にふい黄橙	Dg	Vg	cg	δ	3	34.82~35.75m: 割れ目沿いにマサ化している。	32	CL'																	
				明褐灰	Dg	Vg	cg	γ	2	36.14~36.21m: 角礫混じり砂状を呈する。下端に薄く褐色の粘土を伴う。	33	CH																	
			浅黄橙	Dg	Vg	cg	δ	3	36.21~37.70m: 割れ目は傾斜20~30'の低角度が主となる。割れ目沿いは褐色化・細粒化している。	34	CL'																		
			明褐灰	Dg	Vg	cg	γ	2	●37.86~37.91m: 破砕帯 (D-29) 破砕幅は4.0cmである。37.86~37.87m: 灰白色の未固結の粘土状部からなり、幅は0.2cmである。上端境界の傾斜は30'である。37.87~37.91m: 角礫混じり砂状を呈し、褐色の固結した礫状部からなる。下端境界の傾斜は35'である。	35	CH																		
			褐灰	Dg	Vg	cg	δ	3	37.91~42.62m: 部分的に割れ目が多く軟質である。	36	CL'																		
			明赤灰	Dg	Vg	cg	γ	2	●42.62~42.88m: 破砕帯 (f-b14-1-2) 破砕幅は18.4cmである。42.62~42.82m: 粘土混じり角礫状を呈し、灰白色の固結した礫状部からなる。上端、下端境界の傾斜はともに45'である。若組織は消滅する。42.82~42.88m: 灰白色の砂混じり粘土状を呈する。未固結の粘土状部からなり、幅は5.5cmである。下端境界の傾斜は45'である。	37	CL'																		
		40	褐灰	Dg	Vg	cg	δ	3		38	CL'																		
			灰褐	Dg	Vg	cg	γ	2		39	CL'																		
			灰褐	Dg	Vg	cg	δ	3		40	CL'																		
			灰褐	Dg	Vg	cg	γ	2		41	CL'																		
			灰褐	Dg	Vg	cg	δ	3		42	CL'																		
			灰褐	Dg	Vg	cg	γ	2		43	CL'																		
			灰褐	Dg	Vg	cg	δ	3		44	CL'																		
			灰褐	Dg	Vg	cg	γ	2		45	CL'																		
			灰褐	Dg	Vg	cg	δ	3		46	CL'																		
			灰褐	Dg	Vg	cg	γ	2		47	CL'																		
			灰褐	Dg	Vg	cg	δ	3		48	CL'																		
			灰褐	Dg	Vg	cg	γ	2		49	CL'																		
			灰褐	Dg	Vg	cg	δ	3		50	CL'																		



# H24-B14-1

## 柱状図(30.00m~60.00m)

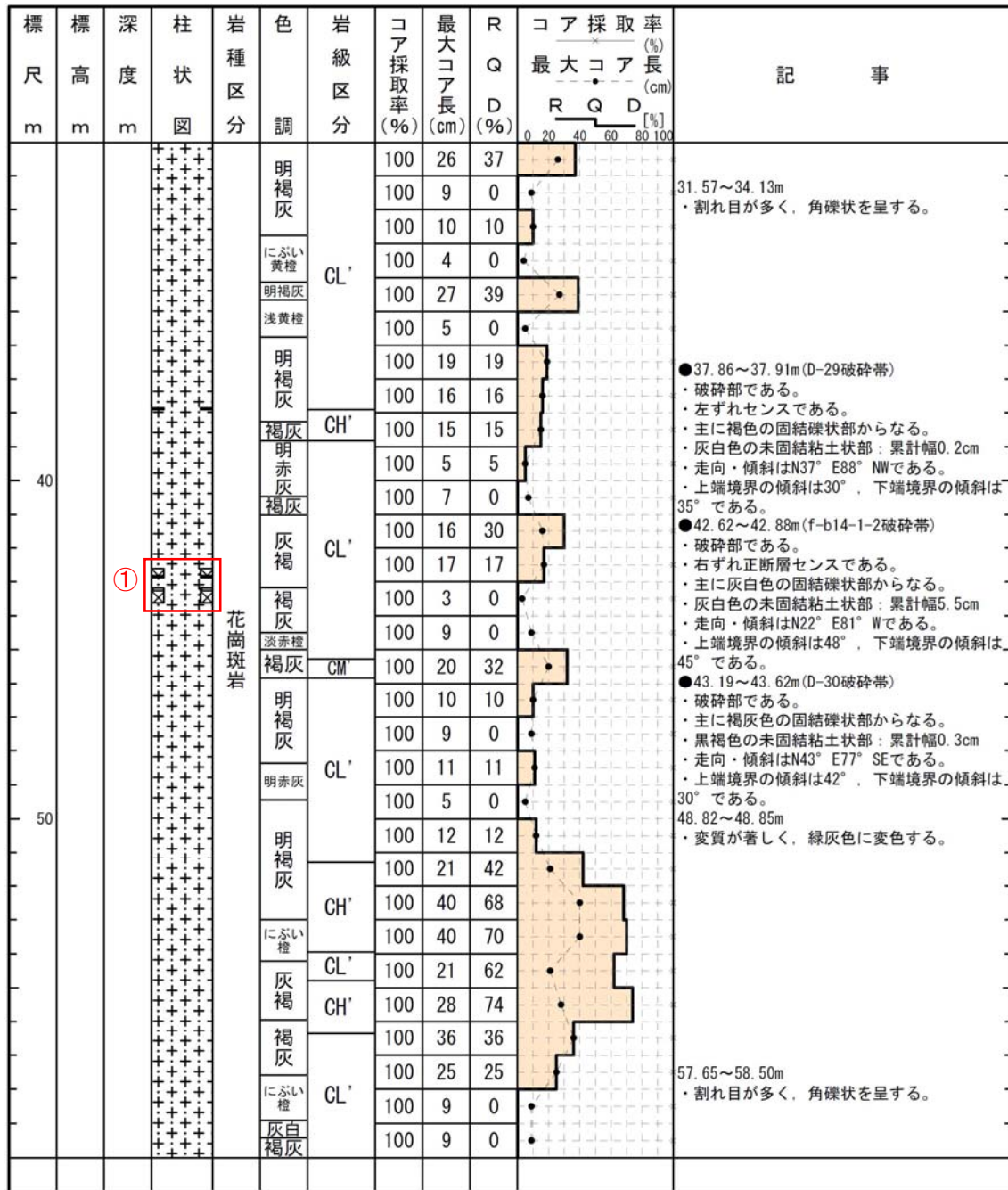


1-172(分類d)①  
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)



# H24-B14-1

## 柱状図(30.00m~60.00m)



1-172(分類d)①  
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)





# H20-④-2

## 柱状図(0.00m~30.00m)

H20-④-2

孔 口 標 高	T.P.	53.10m	掘 削 長	100.00m
---------	------	--------	-------	---------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)		記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	採 取 率 (%)	
	52.31	1.12	①	砂質シルト	灰黄褐	④	100	0	0			0.00~0.06m ・植物根を多く含む。
	51.97	1.60		シルト質砂	明赤褐							0.06~1.12m ・砂質シルトである。 ・灰黄褐色を呈する。
			③	シルト質砂	赤褐							1.12~1.60m ・シルト質砂である。 ・径2cm程度の花崗岩類の礫を含む。
				アブライト	にぶい橙	D'	100	0	0			1.60~12.11m ・アブライトである。
				アブライト	にぶい明褐灰	CL'	100	11	11			6.00~12.11m ・アブライトである。
			②	アブライト	にぶい黄橙	D'	100	10	10			6.00~16.68m ・強風化部である。
	46.65	9.12		アブライト	にぶい黄橙	D'	100	0	0			5.23~5.30m ・変質している。 ・角礫状を呈する。
	46.21	9.74		花崗斑岩	にぶい黄橙	CL'	100	28	57			6.00~6.12m (f-④-2-1破砕帯) ・破砕部である。
	45.72	10.43		アブライト	にぶい黄橙	D'	100	0	0			6.12~6.60m (f-④-2-1破砕帯) ・淡赤褐色の固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はN86° W42° Sである。 ・幅100mmの粘土を挟在する。 ・下端境界の傾斜は11°である。
	44.54	12.11		花崗斑岩	灰白	D'	100	0	0			6.60~8.90m (D-20破砕帯) ・破砕部である。 ・主ににぶい黄橙色の固結礫状部及び固結粘土状部からなる。
	41.38	16.58	②	アブライト	浅黄	CL'	100	13	25			6.90~8.90m (D-20破砕帯) ・破砕部である。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅2.0cm ・上端境界の傾斜は67°である。
	39.66	19.00		アブライト	浅黄	CM'	100	14	39			9.12~9.25m ・花崗斑岩である。
	38.85	20.15		花崗斑岩	浅黄	CM'	100	20	50			9.73~9.84m ・変質している。
	37.61	21.90		アブライト	浅黄	CM'	100	17	53			9.74~10.43m ・花崗斑岩である。
	37.19	22.50		花崗斑岩	浅黄	CM'	100	17	53			・アブライトとの境界は漸移的である。
	36.62	23.30		アブライト	浅黄	CH'	100	17	44			2.11~16.58m ・花崗斑岩である。
	36.24	23.85		花崗斑岩	浅黄	CL'	100	19	19			14.63~14.66m (f-④-1-2破砕帯) ・破砕部である。
	35.85	24.39		アブライト	浅黄	CM'	100	16	16			・灰白色の固結礫状部からなる。 ・幅20mmの粘土を挟在する。
	35.32	25.15		花崗斑岩	浅黄	CM'	100	13	33			6.58~19.00m ・アブライトである。
	34.42	26.42		アブライト	浅黄	CL'	100	11	11			8.72~18.95m ・幅0.5~10mmの石英脈を多数挟む。
	34.11	26.85		花崗斑岩	浅黄	CL'	100	15	40			9.00~31.12m ・花崗斑岩主体である。 ・アブライトとの境界は漸移的である。
	33.56	27.63		アブライト	浅黄	CM'	100	23	67			19.92~20.00m ・幅1~10mm程度の石英脈を多数挟む。
	32.98	28.46		花崗斑岩	浅黄	CM'	100	23	55			20.15~20.42m, 21.90~22.50m, 23.30~23.85m, 24.39~25.15m, 26.42~26.85m, 27.63~28.40m, 30.10~31.12m ・アブライトである。
				花崗斑岩	浅黄	CM'	100	13	13			20.70m ・幅5mmの石英脈を挟む。
												21.05~21.65m ・変質している。 ・微細な割れ目が発達し、灰白色粘土を伴う。
												21.88m ・幅3mmの石英脈を挟む。
												23.10m ・幅5~10mmの石英脈を挟む。
												23.92m ・幅5mm程度の石英脈を挟む。
												25.51~25.56m ・変質している。 ・軟質化している。
												26.00~26.23m ・変質している。
												・褐色を呈し、軟質化している。
												29.72~29.81m ・変質している。
												・土砂状を呈する。

- 1-173, 174 (分類c) ①  
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-175, 1-176 (分類d) ②  
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
- 1-177 (分類c) ③  
表現を統一したため。
- 1-178 (分類b) ④  
報告書の記載漏れを修正したため。



# H20-④-2

## 柱状図(0.00m~30.00m)

H20-④-2

孔 口 標 高	T.P.	53.10m	掘 削 長	100.00m
---------	------	--------	-------	---------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	R	Q	
	52.31	1.12		砂質シルト シルト 質砂	灰黄褐 明赤褐 赤褐	D'	100	0	0				0.00~0.06m ・植物根を多く含む。
	51.97	1.60					100	0	0				0.06~1.12m ・砂質シルトである。 ・灰黄褐色を呈する。
							100	0	0				1.12~1.60m ・シルト質砂である。 ・径2cm程度の花崗岩類の礫を含む。
							100	11	11				1.60~12.11m ・アブライトである。
							100	10	10				1.60~16.68m ・強化部である。
							100	0	0				5.23~5.30m ・変質している。 ・角礫状を呈する。
	46.65	9.12		花崗斑 ア イト 花崗斑 ア イト	に ぶ い 黄 橙	D'	100	0	0				●6.00~6.12m(f-④-2-1破砕帯) ・破砕部である。
	46.21	9.74					100	0	0				・淡赤褐色の固結粘土状部からなる。 ・走向・傾斜はN86° W42° Sである。 ・幅100mmの粘土を挟在する。
	45.72	10.43					100	0	0				・下端境界の傾斜は11°である。
	44.54	12.11					100	0	0				●6.90~8.90m(D-20破砕帯) ・破砕部である。
				花 崗 斑 岩	灰 白	D'	100	0	0				・主ににぶい黄橙色の固結礫状部及び固結粘 土状部からなる。
							100	0	0				・灰白色の未固結粘土状部：累計幅2.0cm ・上端境界の傾斜は67°である。
	41.38	16.58					100	0	0				9.12~9.25m ・花崗斑岩である。
							100	13	25				9.73~9.84m ・変質している。
				花 崗 斑 岩	浅 黄	CM'	100	14	39				9.74~10.43m ・花崗斑岩である。
	39.66	19.00					100	17	53				・アブライトとの境界は漸移的である。
				花 崗 斑 岩	に ぶ い 黄 橙	CH'	100	17	44				12.11~16.58m ・花崗斑岩である。
	38.85	20.15					100	19	19				●14.63~14.66m(f-④-1-2破砕帯) ・破砕部である。
				花 崗 斑 岩	浅 黄	CM'	100	16	16				・灰白色の固結礫状部からなる。 ・幅20mmの粘土を挟在する。
	37.61	21.90					100	13	33				16.58~19.00m ・アブライトである。
				花 崗 斑 岩	浅 黄	CL'	100	11	11				18.72~18.95m ・幅0.5~10mmの石英脈を多数挟む。
	37.19	22.50					100	15	40				19.00~31.12m ・花崗斑岩主体である。
				花 崗 斑 岩	浅 黄	CM'	100	16	16				・アブライトとの境界は漸移的である。
	36.62	23.30					100	23	67				9.92~20.00m ・幅1~10mm程度の石英脈を多数挟む。
				花 崗 斑 岩	浅 黄	CM'	100	23	55				20.15~20.42m, 21.90~22.50m, 23.30~23.85m, 24.39~25.15m, 26.42~26.85m, 27.63~28.40m,
	36.24	23.85					100	13	11				30.10~31.12m ・アブライトである。
				花 崗 斑 岩	浅 黄	CL'	100	15	40				20.70m ・幅5mmの石英脈を挟む。
	35.85	24.39					100	11	11				21.05~21.65m ・変質している。
				花 崗 斑 岩	浅 黄	CM'	100	15	40				・微細な割れ目が発達し、灰白色粘土を伴う。
	35.32	25.15					100	13	13				21.88m ・幅3mmの石英脈を挟む。
				花 崗 斑 岩	浅 黄	CM'	100	16	26				23.10m ・幅5~10mmの石英脈を挟む。
	34.42	26.42					100	13	13				23.92m ・幅5mm程度の石英脈を挟む。
				花 崗 斑 岩	浅 黄	CM'	100	13	13				25.51~25.56m ・変質している。
	34.11	26.85					100	23	67				・軟質化している。
				花 崗 斑 岩	浅 黄	CM'	100	23	55				26.00~26.23m ・変質している。
	33.56	27.63					100	13	13				・褐色を呈し、軟質化している。
				花 崗 斑 岩	浅 黄	CM'	100	13	13				29.72~29.81m ・変質している。
	32.98	28.46					100	13	13				・土砂状を呈する。

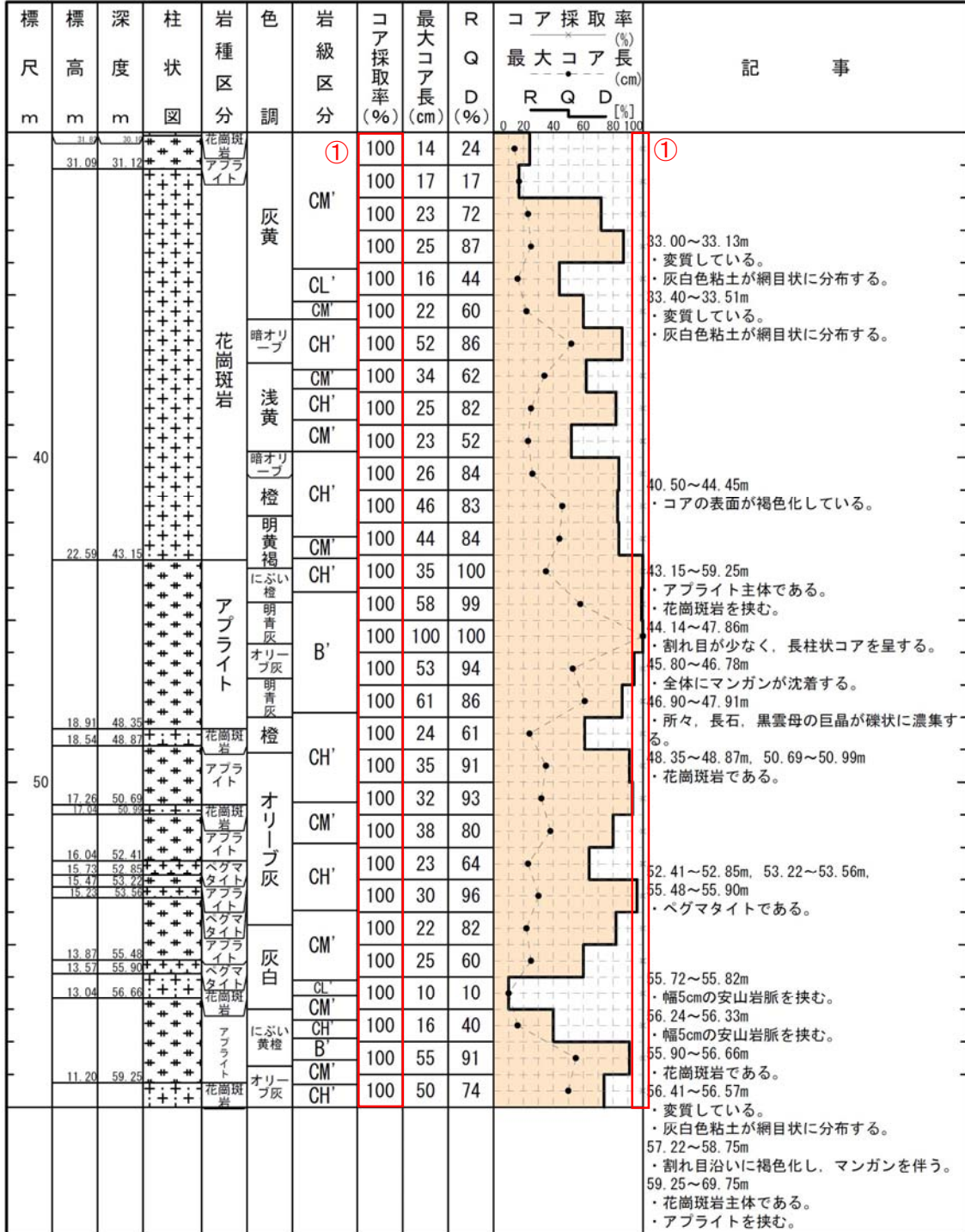
1-178(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。





# H20-④-2

## 柱状図(30.00m~60.00m)

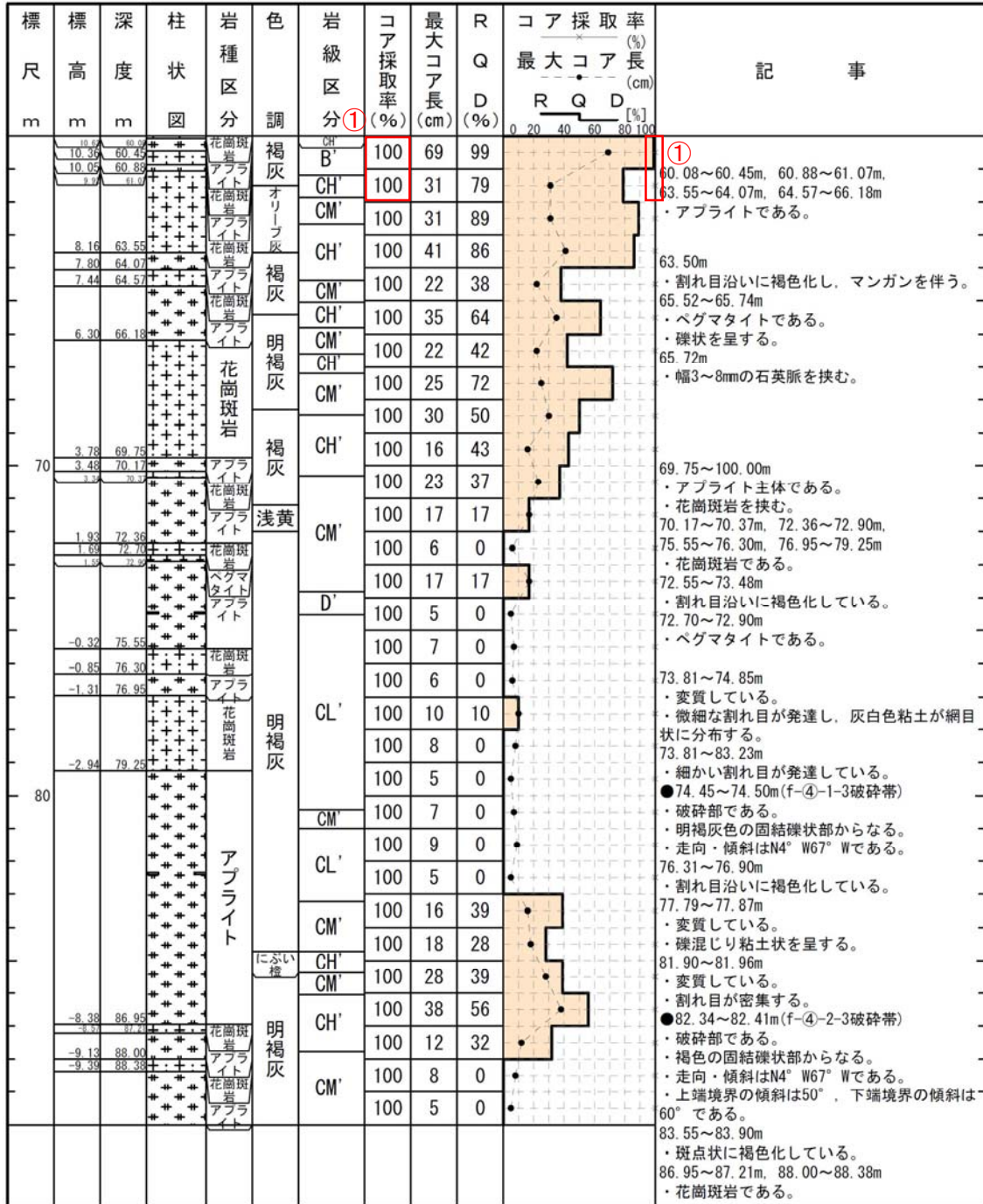


1-178(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。



# H20-④-2

柱状図(60.00m~90.00m)



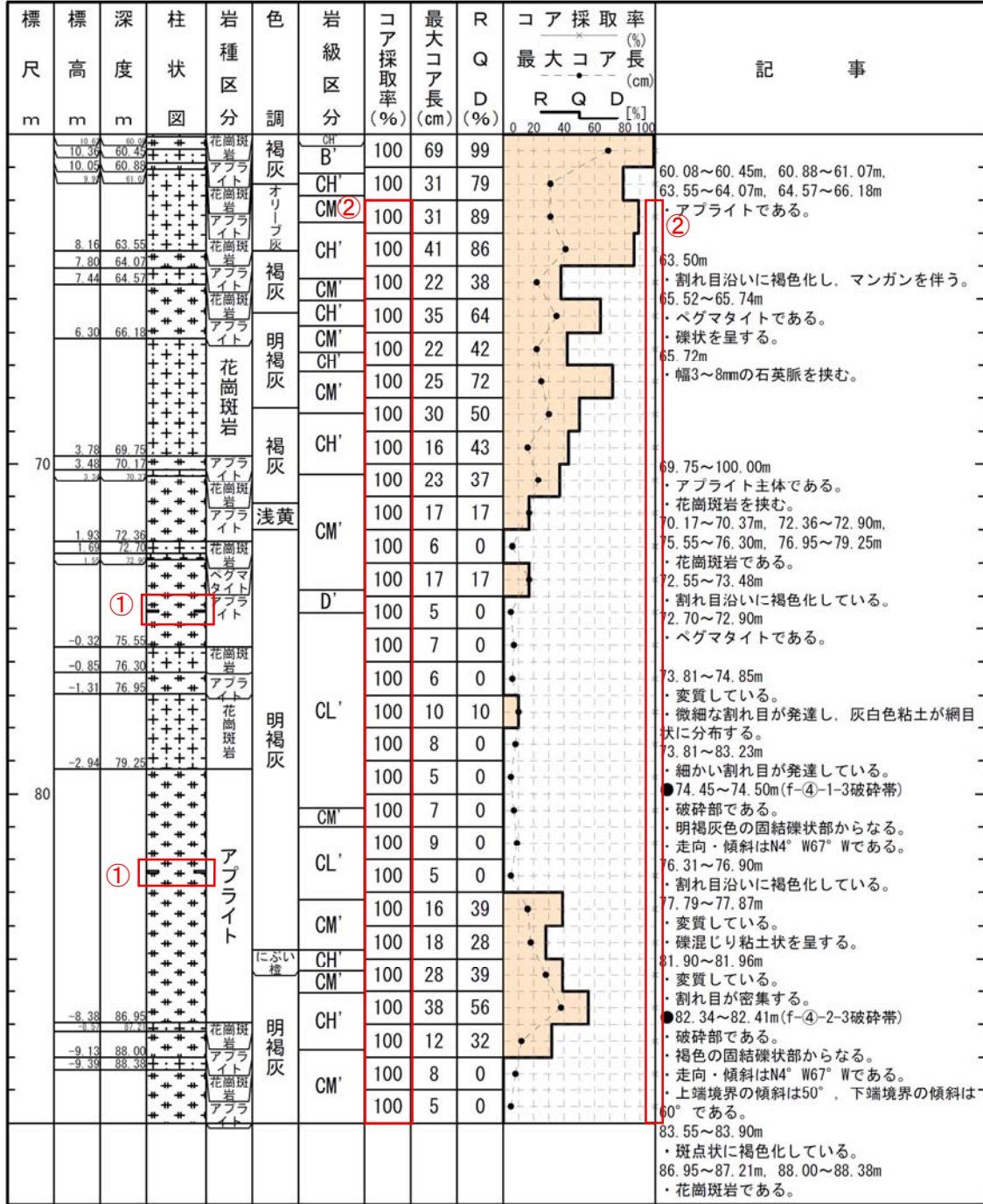
1-178(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。





# H20-④-2

柱状図(60.00m~90.00m)



1-179, 1-180(分類d)①  
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)  
1-178(分類b)②  
報告書の記載漏れを修正したため。



# H20-④-2

## 柱状図(90.00m~100.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事		
										最大 コア 長 (cm)	R	Q		D	
				ア プ ラ イ ト	明 褐 灰	CH <sup>①</sup>	100	14	47	0	20	40	60	① 90.00~90.87m ・斑点状に褐色化している。 91.29~91.40m ・変質している。 ・微細な割れ目が発達している。 92.44~93.07m ・変質している。 ・微細な割れ目が発達している。 95.49~96.20m, 98.65~98.95m, 99.70~100.00m ・花崗斑岩である。 98.35~98.47m ・ペグマタイトである。	
									100	6	0	0	0		0
									100	7	0	0	0		0
									100	6	0	0	0		0
									100	10	10	0	0		0
		-14.42	95.49						100	11	22	0	0		0
		-14.92	96.20				花崗斑 岩 ア プ ラ イ ト		100	12	12	0	0		0
		-16.44	98.35				花崗斑 岩 ア プ ラ イ ト		100	11	21	0	0		0
		-16.54	98.47				ペグマ タイト ア プ ラ イ ト		100	9	0	0	0		0
		-16.81	98.75				ペグマ タイト ア プ ラ イ ト		100	10	10	0	0		0
		-17.40	99.70	花崗斑 岩 ア プ ラ イ ト											
		-17.61	100.00	花崗斑 岩 ア プ ラ イ ト											

1-178(分類b)①  
 報告書の記載漏れを修正したため。





# H20-④-2

## 柱状図(90.00m~100.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事		
										最大 コア 長 (cm)	R Q D [%]				
				ア プ ラ イ ト	明 褐 灰	CH'	100	14	47				90.00~90.87m ・斑点状に褐色化している。 91.29~91.40m ・変質している。 ・微細な割れ目が発達している。 92.44~93.07m ・変質している。 ・微細な割れ目が発達している。 95.49~96.20m, 98.65~98.95m, 99.70~100.00m ・花崗斑岩である。 98.35~98.47m ・ペグマタイトである。		
			100				6	0							
			灰 白				CL'	100	7	0					
								100	6	0					
			花 崗 斑 岩 ア プ ラ イ ト				明 褐 灰	CM'	100	10	10				
									100	11	22				
									100	12	12				
									100	11	21				
			ベ グ マ タ イ ト ア プ ラ イ ト				に ぶ い 黄 橙	CM'	① 100	9	0				
									100	10	10				
			花 崗 斑 岩 ア プ ラ イ ト 花 崗 斑 岩												

1-178(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。



# H20-④-1

柱状図(0.00m~30.00m) 1/2

H20-④-1

孔口標高	T.P.	53.27m	掘削長	80.00m
------	------	--------	-----	--------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記事
										R	Q	D	
	52.97	0.30		有機質シルト	褐灰	④	100	14	14				0.00~0.30m 有機質シルトである。
	52.53	0.74		砂混じりシルト			100	15	39				0.30~0.74m 砂混じりシルトである。
	52.14	1.13		礫混じりシルト			100	17	17				0.74~1.13m 礫混じりシルトである。 径3~6cm程度の花崗斑岩のクサリ礫を含む
	47.67	5.60		アブラ	明褐灰		100	15	25				1.13~5.60m アブライトである。
	47.23	6.04		花崗斑岩			100	9	0				5.60~10.05m 花崗斑岩主体である。 アブライトとの境界は漸移的である。
	44.85	8.42		アブライト			100	12	12				5.66m 幅6mmの石英脈を挟む。
	43.22	10.05		花崗斑岩	にぶい橙	D'	100	9	0				6.04~6.14m, 8.42~8.59m アブライトを挟む。
	42.49	10.78		アブライト			100	7	0				6.06~7.18m 変質している。 灰白色粘土が網目状に分布する。
	42.13	11.12		花崗斑岩	浅黄橙		100	12	12				● 9.33~9.61m(f-④-2-1破碎部) 破碎部である。 にぶい橙色の固結礫状部からなる。 走向・傾斜はN82° W45° Sである。 フィルム状の粘土を挟在する。
	40.69	12.58		アブライト			100	23	46				9.63~9.72m 幅5cmのアブライトを脈状に挟む。
				明褐灰			100	8	0				10.05~12.58m アブライト主体である。 花崗斑岩との境界は漸移的である。
				花崗斑岩	にぶい黄橙	D'	100	9	0				10.16~10.20m 幅2~4mmで石英脈を挟む。
				明褐灰			100	10	10				10.78~11.12m 花崗斑岩である。
	33.82	19.45		アブライト	灰白	D'	100	0	0				11.12~11.25m 幅0.2~2mmの石英脈を多数挟む。
	31.12	22.15		花崗斑岩	淡橙	CL'	100	6	0				12.58~19.45m 花崗斑岩である。 アブライトとの境界は漸移的である。
	30.63	22.64		アブライト	オリブ黄	D'	100	5	0				19.45~22.64m 変質している。
				淡橙			100	6	0				22.64~29.16m 軟質化している。
				黄橙			100	4	0				
				アブライト	灰白	CL'	100	11	11				
				アブライト	浅黄橙		100	7	0				
	24.11	29.16		花崗斑岩			100	8	0				
				アブライト			100	4	0				

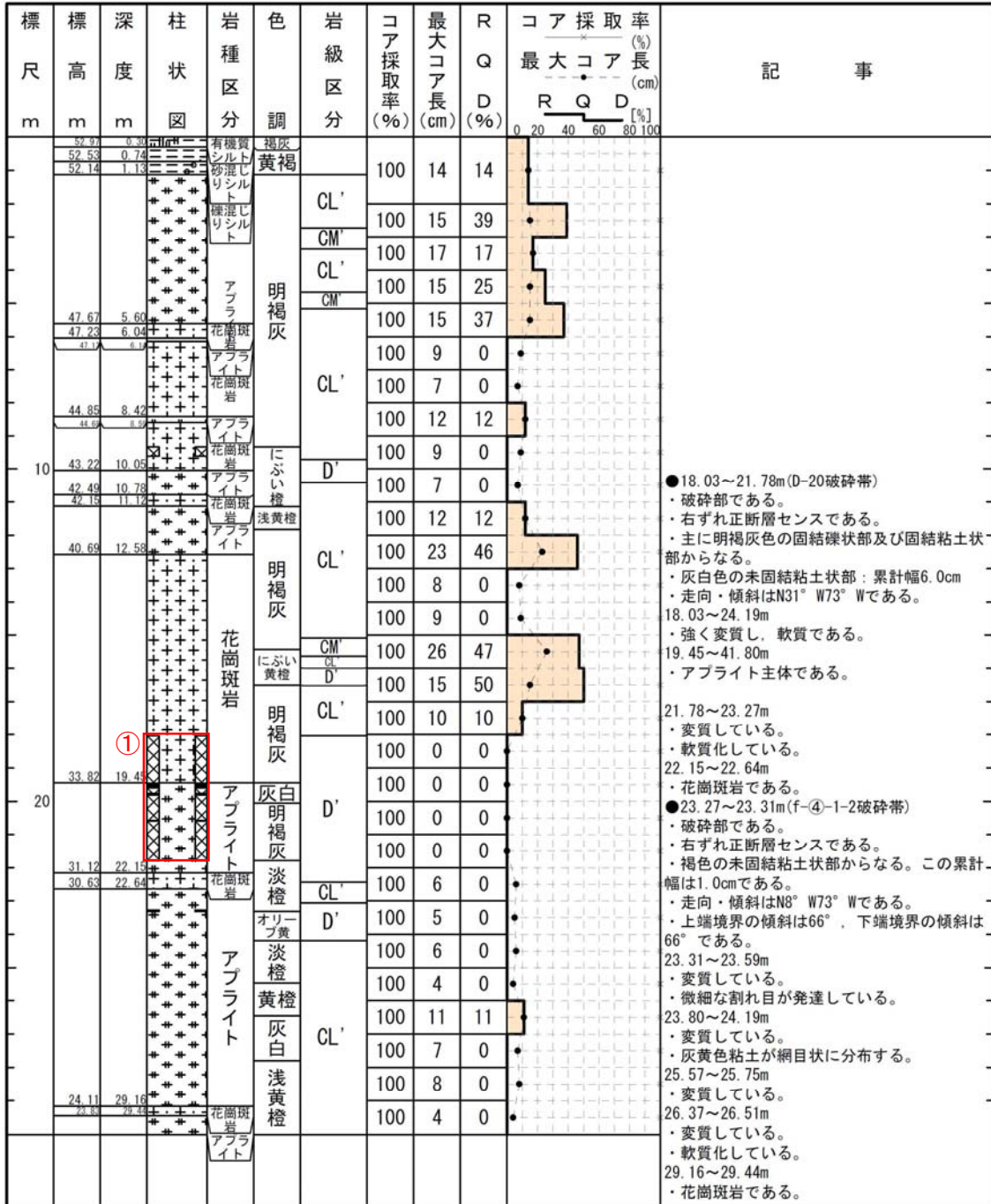
- 1-181(分類c)①  
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-182(分類d)②  
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-183(分類c)③  
表現を統一したため。
- 1-184(分類b)④  
報告書の記載漏れを修正したため。





# H20-④-1

## 柱状図(0.00m~30.00m) 2/2



1-185(分類a)①  
 誤記。記事欄の記載変更の反映漏れ。(破碎部模様の削除)



# H20-④-1

## 柱状図(0.00m~30.00m) 1/2

H20-④-1

孔 口 標 高	T. P.	53.27m	掘 削 長	80.00m
---------	-------	--------	-------	--------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事
										R	Q	D	
	52.91	0.30	有機質シルト	褐灰			100	14	14				0.00~0.30m ・有機質シルトである。
	52.53	0.74	砂混じりシルト	黄褐			100	15	39				0.30~0.74m ・砂混じりシルトである。
	52.14	1.13	礫混じりシルト				100	17	17				0.74~1.13m ・礫混じりシルトである。
	47.67	5.60	アブラ	明褐灰			100	15	25				1.13~5.60m ・径3~6cm程度の花崗斑岩のクサリ礫を含む。
	47.23	6.04	花崗斑岩				100	15	37				5.60~10.05m ・アブライトである。
	47.17	6.17	アブライト				100	9	0				
	44.85	8.42	花崗斑岩				100	7	0				6.04~6.14m, 8.42~8.59m ・アブライトとの境界は漸移的である。
	44.37	8.99	アブライト				100	12	12				5.66m ・幅6mmの石英脈を挟む。
10	43.22	10.05	花崗斑岩	にぶい橙			100	9	0				6.04~6.14m, 8.42~8.59m ・アブライトを挟む。
	42.49	10.78	アブライト				100	7	0				
	42.13	11.12	花崗斑岩	洗黄橙			100	12	12				7.06~7.18m ・変質している。
	40.69	12.58	アブライト				100	23	46				●9.33~9.61m(f-④-2-1破砕帯) ・破砕部である。
			アブライト				100	8	0				・にぶい橙色の固結礫状部からなる。
			花崗斑岩				100	9	0				・走向・傾斜はN82° W45° Sである。
			アブライト				100	0	0				・フィルム状の粘土を挟在する。
			アブライト				100	26	47				9.63~9.72m ・幅5cmのアブライトを脈状に挟む。
			花崗斑岩	にぶい黄橙			100	15	50				10.05~12.58m ・アブライト主体である。
			アブライト				100	10	10				・花崗斑岩との境界は漸移的である。
20	33.82	19.45	アブライト	灰白			100	0	0				10.16~10.20m ・幅2~4mmで石英脈を挟む。
			アブライト	明褐灰			100	0	0				10.78~11.12m ・花崗斑岩である。
			アブライト				100	0	0				11.12~11.25m ・幅0.2~2mmの石英脈を多数挟む。
	31.12	22.15	花崗斑岩	淡橙			100	6	0				12.58~19.45m ・花崗斑岩である。
	30.63	22.64	アブライト	オリブ黄			100	5	0				・アブライトとの境界は漸移的である。
			アブライト	淡橙			100	6	0				15.99~16.51m ・変質している。
			アブライト	黄橙			100	4	0				・軟質化している。
			アブライト	灰白			100	11	11				
			アブライト	浅黄橙			100	7	0				
	24.11	29.16	花崗斑岩				100	8	0				
	23.81	29.46	アブライト				100	4	0				

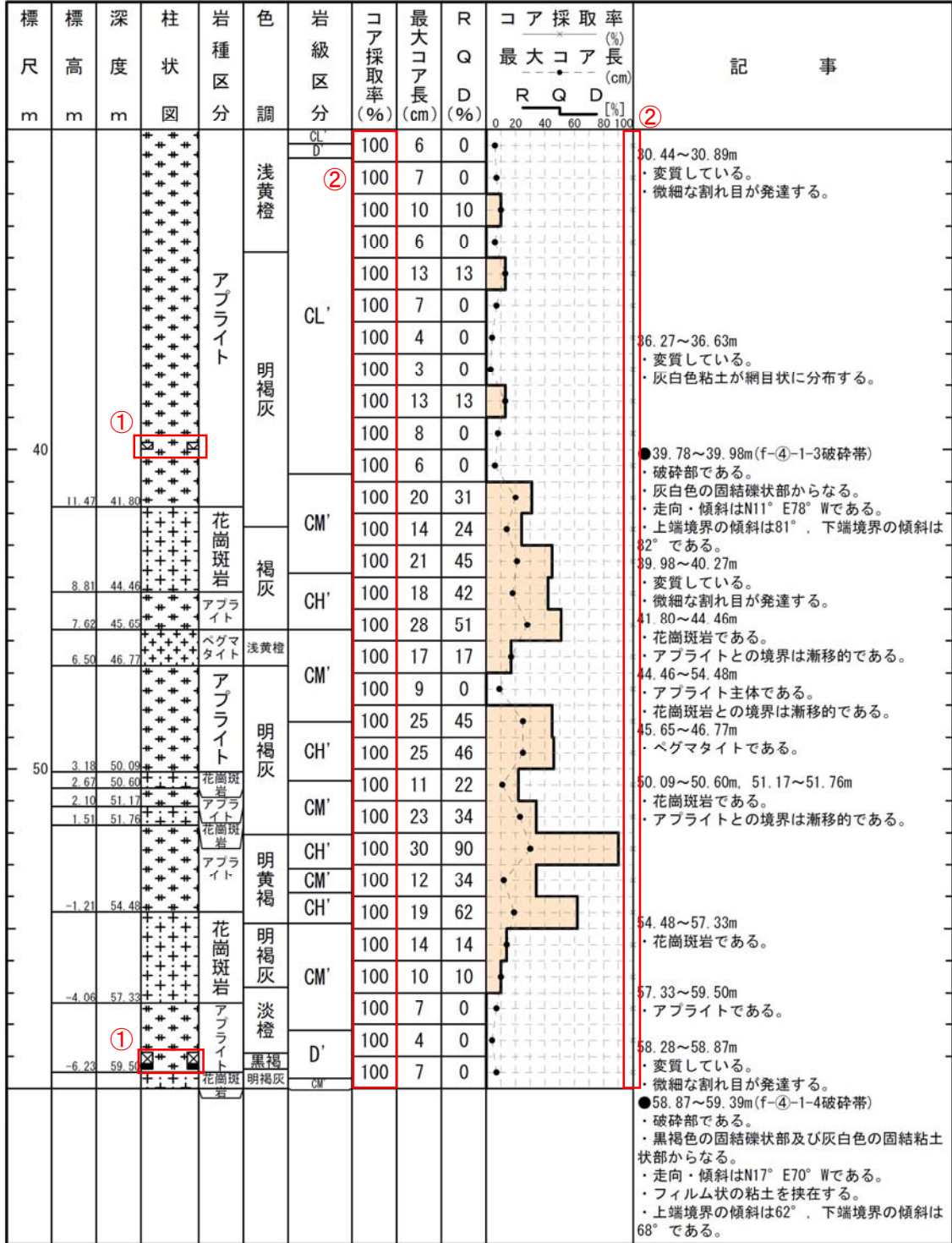
1-184(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。





# H20-④-1

## 柱状図(30.00m~60.00m)

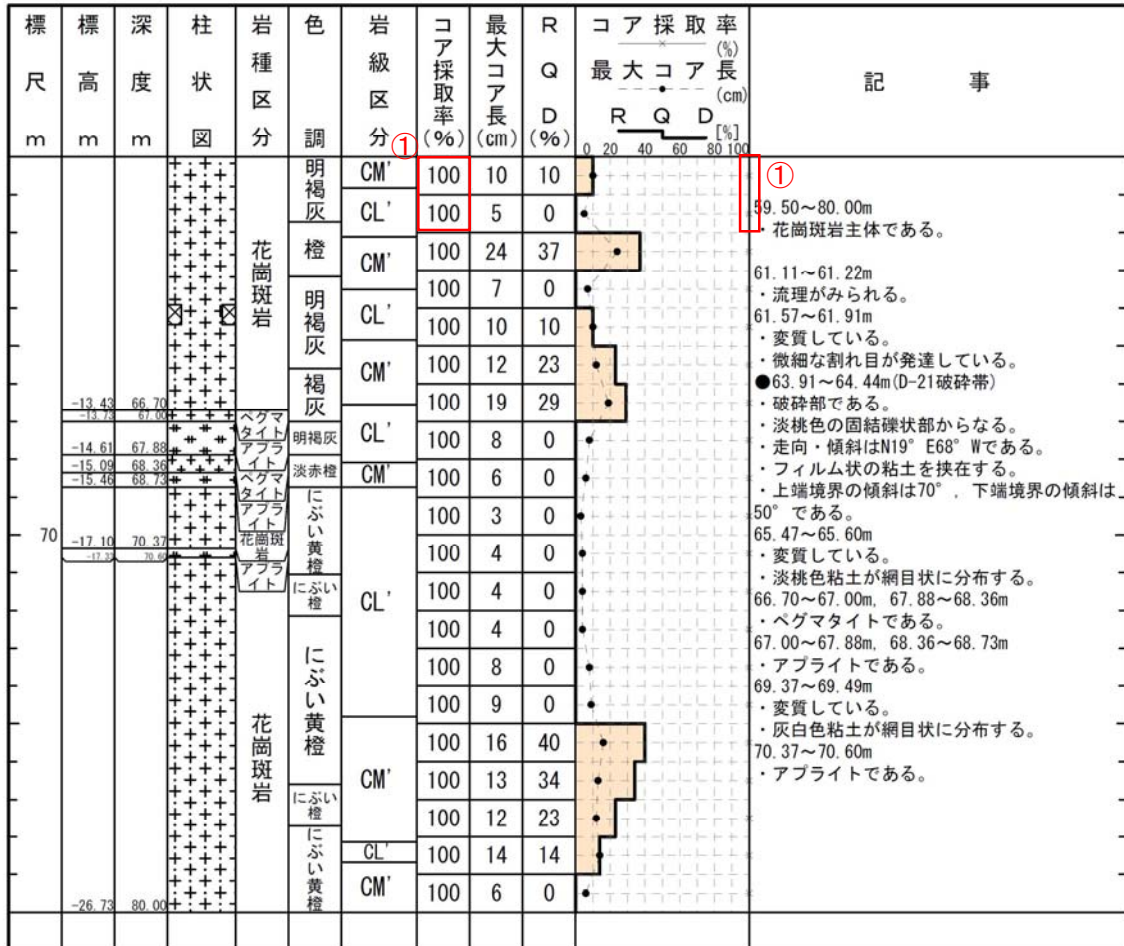


1-186, 1-187(分類d)①  
 記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)  
 1-184(分類b)②  
 報告書の記載漏れを修正したため。



# H20-④-1

## 柱状図(60.00m~80.00m)



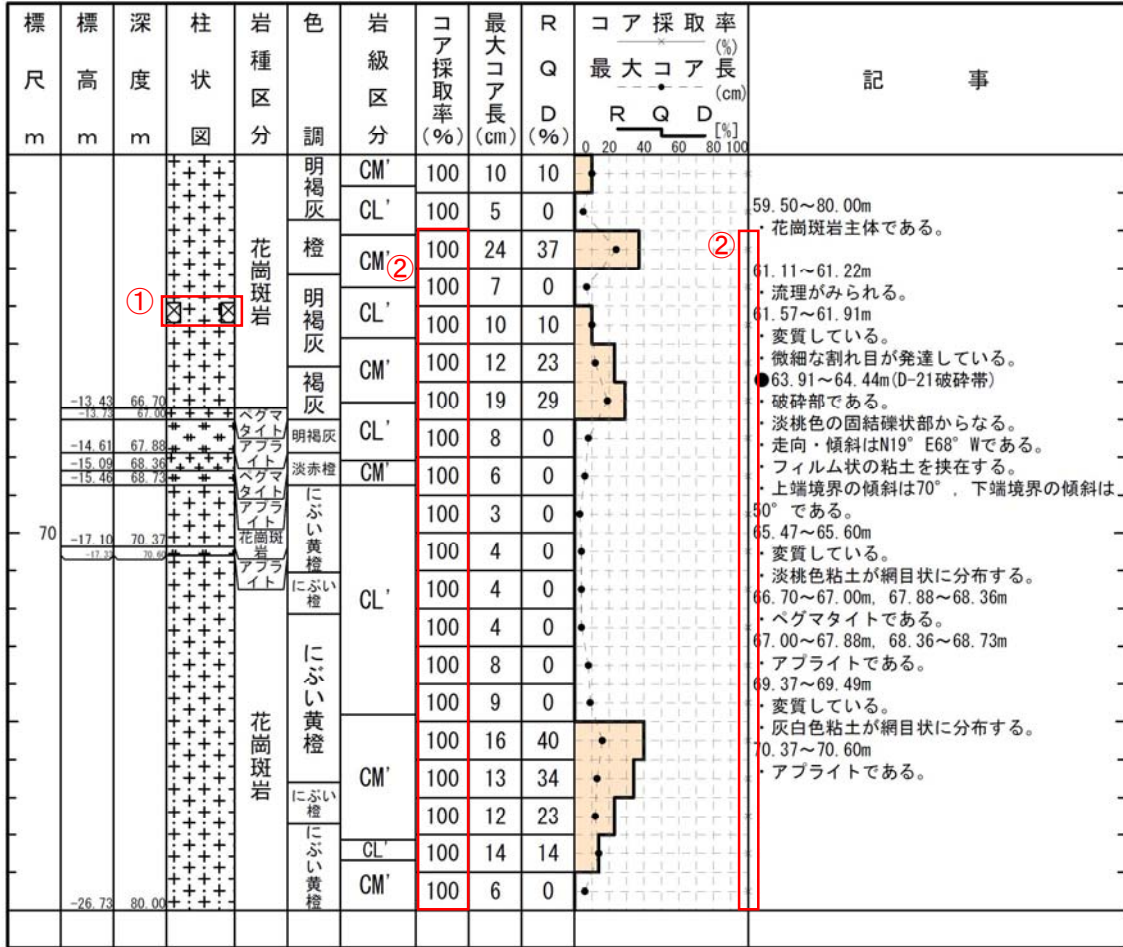
1-184(分類b)①  
 報告書の記載漏れを修正したため。





# H20-④-1

## 柱状図(60.00m~80.00m)



- 1-188(分類d)①  
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
- 1-184(分類b)②  
報告書の記載漏れを修正したため。



# H20-④-5

## 柱状図(0.00m~35.00m)

H20-④-5

孔 口 標 高	T. P.	63.21m	掘 削 長	65.00m
---------	-------	--------	-------	--------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R (%)	Q (%)	D (%)	コ ア 採 取 率 (%) 最 大 コ ア 長 (cm)	R (%)	Q (%)	D (%)	記 事
	62.21	1.00	シルト混じり砂	にぶい黄	②		100	0	0							0.00~1.00m シルト混じり砂である。 マサ土である。
			花崗斑岩	灰白			100	0	0							1.00~65.00m 花崗斑岩が主体である。 原岩組織が不明瞭である。
			花崗斑岩	浅黄			100	0	0							
			花崗斑岩	にぶい黄橙			100	0	0							
			花崗斑岩	橙			100	0	0							
	54.64	8.56	アブライト	灰白			100	0	0							6.61~8.56m 赤色化が著しい。
	53.49	9.71	花崗斑岩	灰白			100	0	0							7.27~7.50m 割れ目沿いにマンガンが濃集する。
	52.73	10.48	アブライト	灰白			100	0	0							7.54~7.97m 幅2~5cmの石英脈を挟む。
	50.82	12.39	アブライト	浅黄橙			100	0	0							●7.85~9.71m(D-20破碎帯) 破碎部である。 主に赤褐色の固結礫状部、淡赤色の固結砂状部及び灰白色の固結粘土状部からなる。 灰白色の未固結粘土状部：累計幅9.0cm 走向・傾斜はN56° W70° Sである。 上端境界の傾斜は61°、下端境界の傾斜は34°である。
	47.47	15.74	アブライト	灰黄			100	17	17							8.75~9.72m, 10.48~12.39m
	47.18	16.02	アブライト	淡橙			100	12	23							15.74~16.02m アブライトである。 花崗斑岩との境界は漸移的である。
			明赤灰	明褐灰			100	9	0							10.30~10.44m 変質している。
			明赤灰	浅黄			100	12	12							10.82m 灰白色粘土が網目状に分布する。
			花崗斑岩	灰白			100	9	0							幅5mmの石英脈を挟む。
			花崗斑岩	灰白			100	8	0							11.92~12.31m 変質している。
			花崗斑岩	灰白			100	10	10							灰白色粘土が網目状に分布している。 上端境界の傾斜は62°、下端境界の傾斜は72°である。
			花崗斑岩	浅黄			100	7	0							15.35~15.52m 変質している。
			明褐灰	明褐灰			100	14	14							15.74~15.84m 変質している。
			明褐灰	明褐灰			100	8	0							灰白色粘土状を呈する。
			明褐灰	明褐灰			100	26	47							17.67~18.00m 変質している。
			明褐灰	明褐灰			100	22	65							濃桃色粘土が網目状に分布する。
			明褐灰	明褐灰			100	12	12							●24.96~25.12m(D-21破碎帯) 破碎部である。
			アブライト	浅黄			100	9	0							明褐灰色の固結礫状部からなる。
			アブライト	浅黄			100	7	0							走向・傾斜はN11° E62° Wである。
			アブライト	浅黄			100	9	0							フィルム状の粘土を挟在する。
			アブライト	浅黄			100	9	0							上端境界の傾斜は71°、下端境界の傾斜は47°である。
			アブライト	浅黄			100	15	15							27.57~27.61m 変質している。
			アブライト	浅黄			100	14	24							軟質化している。
			花崗斑岩	灰白			100	14	14							28.63~28.87m 幅3~5cmの石英脈を挟む。
			花崗斑岩	灰白			100	14	14							28.67~33.74m アブライトである。 花崗斑岩との境界は漸移的である。

- 1-189, 1-190(分類d)①  
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-191(分類b)②  
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 最大コア長 cm R Q D [ % ]	岩盤区分	孔内水位(測定日)	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 孔内水平載荷	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN / MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l / 分)	排水量 (l / 分)																								
															( N 値 ~ 深度 )																																							
30	34.54	28.67	[Pattern]	花崗斑岩	浅黄	IVg	cg	δ	3	25.97~29.13m: 傾斜40° 及び70° 程度の節理がみられる。	26.53~31.14m: コアはやや硬質で、ハンマーでふい金属音を発することが多い。	27.57~27.61m: 実質帯。上盤64°、下盤62°。幅1.8cm程度。濃いピンク色の実質鉱物がみられる。	28.63~28.87m: 幅3~5cm程度の石英脈を樹枝状に挟む。母岩を露状に取り込む。傾斜92~87°程度。	28.67~33.74m: アブライト。斑晶はほとんど含まない。花崗斑岩との境界は漸移的である。	29.13~34.48m: 傾斜50° 及び85° 程度の節理がみられる。節理に沿ってマンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。	31.14~33.86m: コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発することが多い。	CL'	26.53	27.17	27.77	28.95	5/26 29.40	93	100	0.0	泥水2	2																											
																												30	29.47	33.74	花崗斑岩	アブライト	IVg	cg	2	33.07m: シーム。傾斜67°。幅0.2cm程度の灰白色粘土からなる。周辺は同系統の節理が発達している。	33.37~34.80m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	33.74~53.94m: 花崗斑岩。径1~15mm程度の石英、長石、径5mm以下の黒雲母の斑晶を5~25%程度含む。斑晶が密集する箇所とそうでない箇所を繰り返す。	33.86~47.00m: コアはやや硬質で、ハンマーでふい金属音を発することが多い。	34.48~45.92m: 傾斜30° 及び70° 程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴う。	36.76~37.41m: ベグマタイト。径5~20mm程度の石英、長石からなる周辺にも細かいベグマタイト脈を伴う。	38.73m: シーム。傾斜71°。幅0.2cm程度の褐色粘土からなる。上盤側は微細な節理が発達している。	CL'	40.70	41.44	41.64	41.80	5/27 35.40	92	120	10.0	0.1	泥水2	1
50	11.05	52.16	花崗斑岩	浅黄	IVg	cg	2	50.09~52.16m: 傾斜40° 及び70° 程度の節理がみられる。節理に沿って灰白色粘土を伴う。	50.48~55.03m: コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~ふい金属音を発する。	51.86~52.16m: 破砕帯 (Hb)。上盤63°、下盤61°。幅14cm程度。硬湿じり灰白色粘土からなる。上盤、下盤には暗褐色粘土を伴う。	52.16~52.51m: 斑晶の含有量が2~3%程度のアブライトを挟む。	52.16~65.00m: 傾斜15°、45°、及び80° 程度の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。	53.94~56.44m: アブライト。径1~10mm程度の石英、長石の斑晶を2~3%程度含む。花崗斑岩との境界は漸移的である。	55.03~57.65m: コアは硬質で、ハンマーで金属音を発する。	56.44~65.00m: 花崗斑岩。径1~15mm程度の石英、長石、径5mm以下の黒雲母の斑晶を5~20%程度含む。斑晶が密集する箇所とそうでない箇所を繰り返す。	57.65~65.00m: コアの硬軟を細かく繰り返す。	CL'	41.99	42.72	43.00	43.90	5/29 46.50	78	120	15.0	0.1	泥水3	1																										
																													60	10.70	52.51	花崗斑岩	明褐灰	IVg	cg	3	50.09~52.16m: 傾斜40° 及び70° 程度の節理がみられる。節理に沿って灰白色粘土を伴う。	50.48~55.03m: コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~ふい金属音を発する。	51.86~52.16m: 破砕帯 (Hb)。上盤63°、下盤61°。幅14cm程度。硬湿じり灰白色粘土からなる。上盤、下盤には暗褐色粘土を伴う。	52.16~52.51m: 斑晶の含有量が2~3%程度のアブライトを挟む。	52.16~65.00m: 傾斜15°、45°、及び80° 程度の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。	53.94~56.44m: アブライト。径1~10mm程度の石英、長石の斑晶を2~3%程度含む。花崗斑岩との境界は漸移的である。	55.03~57.65m: コアは硬質で、ハンマーで金属音を発する。	56.44~65.00m: 花崗斑岩。径1~15mm程度の石英、長石、径5mm以下の黒雲母の斑晶を5~20%程度含む。斑晶が密集する箇所とそうでない箇所を繰り返す。	57.65~65.00m: コアの硬軟を細かく繰り返す。	CL'	41.99	42.72	43.00	43.90	5/30 53.55	96	15.0	0.1
60	9.27	53.94	花崗斑岩	灰白	IVg	cg	2	50.09~52.16m: 傾斜40° 及び70° 程度の節理がみられる。節理に沿って灰白色粘土を伴う。	50.48~55.03m: コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~ふい金属音を発する。	51.86~52.16m: 破砕帯 (Hb)。上盤63°、下盤61°。幅14cm程度。硬湿じり灰白色粘土からなる。上盤、下盤には暗褐色粘土を伴う。	52.16~52.51m: 斑晶の含有量が2~3%程度のアブライトを挟む。	52.16~65.00m: 傾斜15°、45°、及び80° 程度の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。	53.94~56.44m: アブライト。径1~10mm程度の石英、長石の斑晶を2~3%程度含む。花崗斑岩との境界は漸移的である。	55.03~57.65m: コアは硬質で、ハンマーで金属音を発する。	56.44~65.00m: 花崗斑岩。径1~15mm程度の石英、長石、径5mm以下の黒雲母の斑晶を5~20%程度含む。斑晶が密集する箇所とそうでない箇所を繰り返す。	57.65~65.00m: コアの硬軟を細かく繰り返す。	CL'	41.99	42.72	43.00	43.90	5/31 56.85	90	15.0	0.1	泥水3	1																											



# H20-④-5

## 柱状図(0.00m~35.00m)

H20-④-5

孔 口 標 高	T. P.	63.21m	掘 削 長	65.00m
---------	-------	--------	-------	--------

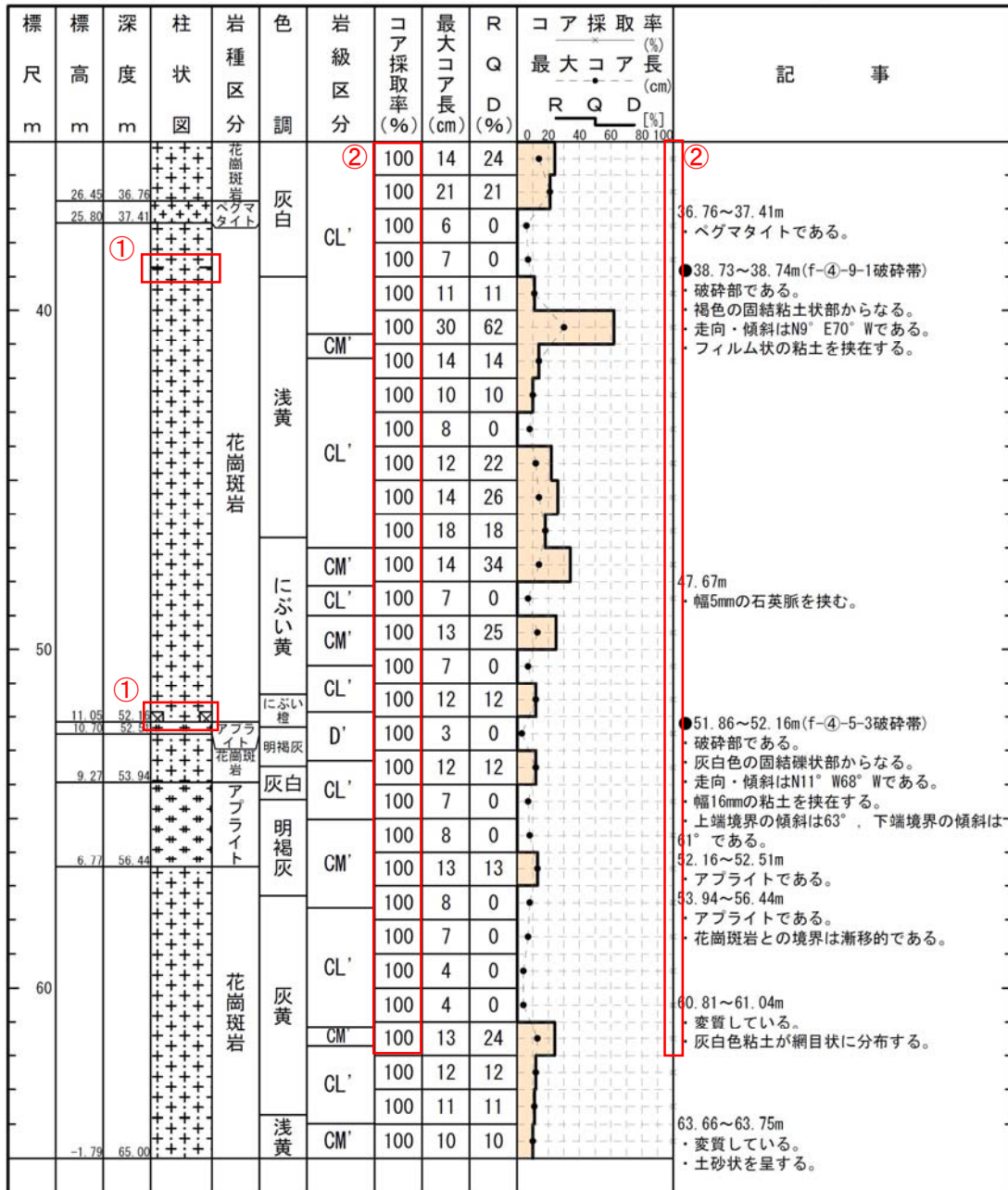
標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R (%)	Q (%)	D (%)	コ ア 採 取 率 (%) 最 大 コ ア 長 (cm)	R (%)	Q (%)	D (%)	記 事		
																	R (%)	Q (%)
	62.21	1.00		シルト混じり砂	にぶい黄		100	0	0							0.00~1.00m ・シルト混じり砂である。 ・マサ土である。		
				花崗斑岩	灰白	D'	100	0	0							1.00~65.00m ・花崗斑岩が主体である。 ・原岩組織が不明瞭である。		
			浅黄		100		0	0										
			にぶい黄橙		100		0	0										
			橙		100		0	0										
	54.64	8.57			アブライト		花崗斑岩	灰白	100	0	0							6.61~8.56m ・赤色化が著しい。 7.27~7.50m ・割れ目沿いにマンガンが濃集する。 7.54~7.97m ・幅2~5cmの石英脈を挟む。 ●7.85~9.71m(D-20破碎帯) ・破碎部である。 ・主に赤褐色の固結礫状部、淡赤色の固結砂状部及び灰白色の固結粘土状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅9.0cm ・走向・傾斜はN56° W70° Sである。 ・上端境界の傾斜は61°、下端境界の傾斜は34°である。
	53.49	9.72			アブライト			灰白	100	0	0							
	52.73	10.48		アブライト	灰白	100		0	0									
	50.82	12.39		浅黄橙	灰白	100		0	0									
				花崗斑岩	灰黄	D'	100	17	17						8.75~9.72m, 10.48~12.39m, 15.74~16.02m ・アブライトである。 ・花崗斑岩との境界は漸移的である。			
	47.47	15.74			淡橙		100	12	23									
					明褐灰		100	10	10									
					明赤灰		100	9	0									
				花崗斑岩	浅黄	CL'	100	12	12						10.30~10.44m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。 10.82m ・幅5mmの石英脈を挟む。 11.92~12.31m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布している。 ・上端境界の傾斜は62°、下端境界の傾斜は72°である。			
					明褐灰		100	7	0									
					浅黄		100	9	0									
					明褐灰		100	8	0									
					浅黄		100	10	10									
					明褐灰		100	7	0									
				アブライト	浅黄	D'	100	14	14						15.35~15.52m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。 15.74~15.84m ・変質している。 ・灰白色粘土状を呈する。			
					明褐灰		100	0	0									
					明褐灰		100	8	0									
					明赤灰		100	26	47									
				アブライト	浅黄	CL'	100	22	65						17.67~18.00m ・変質している。 ・濃桃色粘土が網目状に分布する。 ●24.96~25.12m(D-21破碎帯) ・破碎部である。 ・明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN11° E62° Wである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。 ・上端境界の傾斜は71°、下端境界の傾斜は47°である。			
					浅黄		100	12	12									
					明褐灰		100	9	0									
					明赤灰		100	7	0									
					明赤灰		100	9	0									
					明赤灰		100	15	15									
				花崗斑岩	灰白	D'	100	14	24						27.57~27.61m ・変質している。 ・軟質化している。 28.63~28.87m ・幅3~5cmの石英脈を挟む。 28.67~33.74m ・アブライトである。 ・花崗斑岩との境界は漸移的である。			
					灰白		100	14	14									

1-191(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記号	コア採取率 ← ( % ) 最大コア長 cm R Q D [ % ]	岩盤区分		孔内水位 (m) / 測定月日 ( N ) 値	( 標準貫入試験 ) 試験 ( N 値 ~ 深度 )					原位置試験 孔内水平載荷 ( )	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN / MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l / 分)	排水量 (l / 分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
													岩級	盤分		0	10	20	30	40												50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
30	34.54	28.67	[Pattern]	花崗斑岩	浅黄	Dg	IVg	cg	δ	3	25.97~29.13m: 傾斜40° 及び70° 程度の節理がみられる。	26.53~31.14m: コアはやや硬質で、ハンマーでふい金属音を発することが多い。	27.57~27.61m: 実質帯。上盤64°、下盤62°。幅1.8cm程度。濃いピンク色の実質鉱物がみられる。	28.63~28.87m: 幅3~5cm程度の石英脈を樹枝状に挟む。母岩を露状に取り込む。傾斜92~87°程度。	28.67~33.74m: アブライト。斑晶はほとんど含まない。花崗斑岩との境界は漸移的である。	29.13~34.48m: 傾斜50° 及び85° 程度の節理がみられる。節理に沿ってマンガンや灰白色粘土を伴うことが多い。	31.14~33.86m: コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発することが多い。	CL'	26.53	27.17	27.77	28.95	5/26	29,40	93	100	0.0	泥水2	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
																														30	29.47	33.74	花崗斑岩	アブライト	Dg	IVg	cg	3	33.07m: シーム。傾斜67°。幅0.2cm程度の灰白色粘土からなる。周辺は同系統の節理が発達している。	33.37~34.80m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	33.74~53.94m: 花崗斑岩。径1~15mm程度の石英、長石、径5mm以下の黒雲母の斑晶を5~25%程度含む。斑晶が密集する箇所とそうでない箇所を繰り返す。	33.86~47.00m: コアはやや硬質で、ハンマーでふい金属音を発することが多い。	34.48~45.92m: 傾斜30° 及び70° 程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化し、マンガンや灰白色粘土を伴う。	36.76~37.41m: ベグマタイト。径5~20mm程度の石英、長石からなる周辺にも細かいベグマタイト脈を伴う。	38.73m: シーム。傾斜71°。幅0.2cm程度の褐色粘土からなる。上盤側は微細な節理が発達している。	41.08m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	CL'	41.44	41.64	41.84	42.04	42.24	42.44	42.64	42.84	43.04	43.24	43.44	43.64	43.84	44.04	44.24	44.44	44.64	44.84	45.04	45.24	45.44	45.64	45.84	46.04	46.24	46.44	46.64	46.84	47.04	47.24	47.44	47.64	47.84	48.04	48.24	48.44	48.64	48.84	49.04	49.24	49.44	49.64	49.84	50.04	50.24	50.44	50.64	50.84	51.04	51.24	51.44	51.64	51.84	52.04	52.24	52.44	52.64	52.84	53.04	53.24	53.44	53.64	53.84	54.04	54.24	54.44	54.64	54.84	55.04	55.24	55.44	55.64	55.84	56.04	56.24	56.44	56.64	56.84	57.04	57.24	57.44	57.64	57.84	58.04	58.24	58.44	58.64	58.84	59.04	59.24	59.44	59.64	59.84	60.04	60.24	60.44	60.64	60.84	61.04	61.24	61.44	61.64	61.84	62.04	62.24	62.44	62.64	62.84	63.04	63.24	63.44	63.64	63.84	64.04	64.24	64.44	64.64	64.84	65.04	65.24	65.44	65.64	65.84	66.04	66.24	66.44	66.64	66.84	67.04	67.24	67.44	67.64	67.84	68.04	68.24	68.44	68.64	68.84	69.04	69.24	69.44	69.64	69.84	70.04	70.24	70.44	70.64	70.84	71.04	71.24	71.44	71.64	71.84	72.04	72.24	72.44	72.64	72.84	73.04	73.24	73.44	73.64	73.84	74.04	74.24	74.44	74.64	74.84	75.04	75.24	75.44	75.64	75.84	76.04	76.24	76.44	76.64	76.84	77.04	77.24	77.44	77.64	77.84	78.04	78.24	78.44	78.64	78.84	79.04	79.24	79.44	79.64	79.84	80.04	80.24	80.44	80.64	80.84	81.04	81.24	81.44	81.64	81.84	82.04	82.24	82.44	82.64	82.84	83.04	83.24	83.44	83.64	83.84	84.04	84.24	84.44	84.64	84.84	85.04	85.24	85.44	85.64	85.84	86.04	86.24	86.44	86.64	86.84	87.04	87.24	87.44	87.64	87.84	88.04	88.24	88.44	88.64	88.84	89.04	89.24	89.44	89.64	89.84	90.04	90.24	90.44	90.64	90.84	91.04	91.24	91.44	91.64	91.84	92.04	92.24	92.44	92.64	92.84	93.04	93.24	93.44	93.64	93.84	94.04	94.24	94.44	94.64	94.84	95.04	95.24	95.44	95.64	95.84	96.04	96.24	96.44	96.64	96.84	97.04	97.24	97.44	97.64	97.84	98.04	98.24	98.44	98.64	98.84	99.04	99.24	99.44	99.64	99.84	100.04	100.24	100.44	100.64	100.84	101.04	101.24	101.44	101.64	101.84	102.04	102.24	102.44	102.64	102.84	103.04	103.24	103.44	103.64	103.84	104.04	104.24	104.44	104.64	104.84	105.04	105.24	105.44	105.64	105.84	106.04	106.24	106.44	106.64	106.84	107.04	107.24	107.44	107.64	107.84	108.04	108.24	108.44	108.64	108.84	109.04	109.24	109.44	109.64	109.84	110.04	110.24	110.44	110.64	110.84	111.04	111.24	111.44	111.64	111.84	112.04	112.24	112.44	112.64	112.84	113.04	113.24	113.44	113.64	113.84	114.04	114.24	114.44	114.64	114.84	115.04	115.24	115.44	115.64	115.84	116.04	116.24	116.44	116.64	116.84	117.04	117.24	117.44	117.64	117.84	118.04	118.24	118.44	118.64	118.84	119.04	119.24	119.44	119.64	119.84	120.04	120.24	120.44	120.64	120.84	121.04	121.24	121.44	121.64	121.84	122.04	122.24	122.44	122.64	122.84	123.04	123.24	123.44	123.64	123.84	124.04	124.24	124.44	124.64	124.84	125.04	125.24	125.44	125.64	125.84	126.04	126.24	126.44	126.64	126.84	127.04	127.24	127.44	127.64	127.84	128.04	128.24	128.44	128.64	128.84	129.04	129.24	129.44	129.64	129.84	130.04	130.24	130.44	130.64	130.84	131.04	131.24	131.44	131.64	131.84	132.04	132.24	132.44	132.64	132.84	133.04	133.24	133.44	133.64	133.84	134.04	134.24	134.44	134.64	134.84	135.04	135.24	135.44	135.64	135.84	136.04	136.24	136.44	136.64	136.84	137.04	137.24	137.44	137.64	137.84	138.04	138.24	138.44	138.64	138.84	139.04	139.24	139.44	139.64	139.84	140.04	140.24	140.44	140.64	140.84	141.04	141.24	141.44	141.64	141.84	142.04	142.24	142.44	142.64	142.84	143.04	143.24	143.44	143.64	143.84	144.04	144.24	144.44	144.64	144.84	145.04	145.24	145.44	145.64	145.84	146.04	146.24	146.44	146.64	146.84	147.04	147.24	147.44	147.64	147.84	148.04	148.24	148.44	148.64	148.84	149.04	149.24	149.44	149.64	149.84	150.04	150.24	150.44	150.64	150.84	151.04	151.24	151.44	151.64	151.84	152.04	152.24	152.44	152.64	152.84	153.04	153.24	153.44	153.64	153.84	154.04	154.24	154.44	154.64	154.84	155.04	155.24	155.44	155.64	155.84	156.04	156.24	156.44	156.64	156.84	157.04	157.24	157.44	157.64	157.84	158.04	158.24	158.44	158.64	158.84	159.04	159.24	159.44	159.64	159.84	160.04	160.24	160.44	160.64	160.84	161.04	161.24	161.44	161.64	161.84	162.04	162.24	162.44	162.64	162.84	163.04	163.24	163.44	163.64	163.84	164.04	164.24	164.44	164.64	164.84	165.04	165.24	165.44	165.64	165.84	166.04	166.24	166.44	166.64	166.84	167.04	167.24	167.44	167.64	167.84	168.04	168.24	168.44	168.64	168.84	169.04	169.24	169.44	169.64	169.84	170.04	170.24	170.44	170.64	170.84	171.04	171.24	171.44	171.64	171.84	172.04	172.24	172.44	172.64	172.84	173.04	173.24	173.44	173.64	173.84	174.04	174.24	174.44	174.64	174.84	175.04	175.24	175.44	175.64	175.84	176.04	176.24	176.44	176.64	176.84	177.04	177.24	177.44	177.64	177.84

# H20-④-5

## 柱状図(35.00m~65.00m)



- 1-192, 1-193(分類d)①  
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-191(分類b)②  
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 ← ( % ) 最大コア長 → cm R Q D □ [ % ]	岩級区分	岩盤分類	孔内水位 (m) / 測定日	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 ( 孔内水平載荷 )	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN · MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l / 分)	排水量 (l / 分)		
																N 値 ~ 深度																	
	-1.79	65.00	+++++	花崗斑岩	灰黄	IVg	cg	γ	2		63.66~63.75m: 変質帯。上盤67°、下盤37°。幅7.2cm程度。土砂状を呈する。上盤と下盤の傾斜方向が異なり、不規則な形状を示す。	0 50 100	CL'	[CL]		0 10 20 30 40 50								90	6 / 2 63.66	76	6 / 3 65.00	マルチコアチューブ / インダイヤレント	15.0	120	0.1	泥水3	1







# H19—No. 7

## 柱状図(0.00m~35.00m)

H19-No. 7

孔口標高	T.P.	3.29m	掘削長	165.00m
------	------	-------	-----	---------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)		記 事
										最大 コア 長 (cm)	最大 コア 長 (cm)	
				埋土	にぶい黄橙	③	100				0.00~2.74m ・埋土である。 ・花崗岩片、まさ等を含む。	
		0.81		明黄褐	明黄褐		100					
		0.07		有機質土混じりシルト	黒褐		100				2.74~3.55m ・有機質土混じりシルトである。 ・植物片や木片を含む。	
		-0.43		有機質土	褐灰		100				3.55~3.72m ・有機質土である。	
		-1.39		砂質シルト	褐灰		100				3.72~4.10m ・砂質シルトである。 ・泥炭状の有機質土である。	
				有機質土混じり粗砂	にぶい黄橙		100				4.10~4.31m ・有機質土である。	
				有機質土混じり粗砂	にぶい黄橙		100				4.31~4.52m ・砂混じり有機質土である。	
				有機質土混じり粗砂	にぶい黄橙		100				4.52~5.13m ・有機質土混じり粗砂である。	
				砂	にぶい黄橙		100				5.13~12.86m ・砂である。	
		-8.37		有機質土混じり砂	灰色		100				2.86~13.85m ・有機質土混じり砂である。	
		-9.26		砂	にぶい黄橙		100				3.85~16.92m ・砂である。 ・粗粒砂。 ・所々に炭化物を挟む。	
				シルト質砂	暗緑灰		100				6.92~21.47m ・シルト質砂である。 ・貝殻片や木片を含む。	
				砂	浅黄		100				8.20m ・幅0.1~0.5cmの炭化物層を挟む。	
		-16.17		砂	灰色		100				21.47~21.95m ・砂である。	
		-16.60		砂礫	灰黄		100				21.95~23.22m ・砂~砂質礫である。 ・礫は径5cm程度、基質はシルト質砂。	
		-17.47		砂質シルト	にぶい黄橙		100				23.22~23.93m ・砂である。	
		-18.40		砂質シルト	にぶい黄橙		100				23.93~24.25m ・炭化物を含む。	
		-18.63		砂質シルト	灰白		100				24.25~24.50m ・砂質シルトである。	
		-19.26		砂	灰黄		100				24.50~24.60m ・砂質シルトである。	
		-20.98		礫混じり砂	にぶい黄橙		100				24.60~24.90m ・砂である。	
		-23.39		砂	にぶい黄橙		100				24.90~26.78m ・砂である。	
		-23.94		玉石混じり砂	明緑灰		100				26.78~29.44m ・礫混じり砂である。 ・径3cm程度の礫を含む砂層。砂は粗粒砂。	
		-26.13		砂	明緑灰		100				27.65~27.88m ・炭化物を含む砂質シルトを挟む。	
		-26.72		砂	灰白		100				29.44~30.05m ・砂である。	
		-27.19		礫混じり砂	灰白		100				30.05~32.46m ・玉石混じり砂である。 ・平均径3~10cm、最大径30cmの礫を含む。	
							100				32.46~33.11m ・砂である。	
							100				33.11~33.63m ・砂である。	
							100				33.63~36.58m ・礫混じり砂である。 ・径2~5cm程度の礫を含む砂層。 ・風化礫を多く含む。 ・基質は粗粒砂。	

1-194~1-198(分類c)①  
審査資料作成の際に模様を見直したため。  
1-199~1-202(分類c)②  
表現を統一したため。  
1-203(分類b)③  
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩盤区分	岩内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入試験 ) 試験		原位置試験 孔内水平載荷 (N 値)	室内試験 日	掘進速度 (cm/時)	掘進月	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアラチューブ/ビット	給圧 (kN/MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)	
														N 値	深度												
				礫混り砂	灰黄					径3cm程度の礫を含む砂層。砂は粗粒砂。深度27.65~27.88m:炭化物を含む砂質シルトを挟む。				0	50	100				155		60	0.0	泥水13	13		
		-23.39	29.44	砂	にぶい黄橙					炭化物を含む粗粒砂。										120		130	0.0	泥水2	2		
		-23.94	30.05	玉石混り砂	明緑灰					径3~10cm,最大径30cmの礫を含む砂礫。基質は中~粗粒砂。礫の混入率は60%。										104		60	0.0	泥水13	13		
		-26.13	32.46	砂	明緑灰					中粒砂でシルトを挟む。										130		30.0	0.0	泥水2	2		
		-26.72	33.11	砂	明緑灰					径1~5cmの礫を含む砂礫。										104		60	0.0	泥水13	13		
		-27.19	33.63	礫混り砂	灰白					径2~5cm程度の礫を含む砂層。風化礫を多く含む。基質は粗粒砂。										130		30.0	0.0	泥水2	2		
		-29.86	36.58	砂	明緑灰					細~粗粒砂とシルトの互層。細粒砂及びシルトに炭化物を含む。										130		30.0	0.0	泥水13	13		
		-30.95	37.78	砂	明緑灰					径3~5cm,最大径8cmの礫を含む砂礫。基質は粗粒砂。										74		35.0	0.0	泥水2	2		
		-33.87	41.00	砂	明緑灰					細粒砂,粗粒砂,砂礫の互層。										104		30.0	0.0	泥水13	13		
		-34.45	41.63	玉石混り砂	灰白					径3~5cm,最大径10cmの礫を含む砂礫。礫の風化は弱い。										76		35.0	0.0	泥水4	4		
		-39.00	46.66	砂	黄橙					深度43.84~43.12m:シルト~細粒砂を挟む。										82		35.0	0.0	泥水3	3		
		-39.72	47.46	砂	黄橙					深度45.09~45.15m:シルトを挟む。深度45.25~45.37m:細粒砂を挟む。										115		30.0	0.0	泥水13	13		
		-41.88	49.84	玉石混り砂	灰白					炭化物を含む中~粗粒砂。										129		35.0	130	0.0	泥水2	2	
		-43.22	51.32	砂	明黄褐					径3~5cm,最大径19cmの礫を含む砂礫。基質は粗粒砂。くさり礫の割合が多い。										115		30.0	0.0	泥水3	3		
		-45.19	53.46	砂礫	浅黄橙					中~粗粒砂。傾斜14~37度の構造あり。										115		30.0	0.0	泥水13	13		
		-47.01	55.50	花崗斑岩	灰白					最大径40cmの巨礫を含む砂礫。基質は砂。固結度は高い。										129		35.0	130	0.0	泥水2	2	
				花崗斑岩	明黄褐					深度53.49~66.10m:アブライト。石基は径0.2~0.5mm程度で、径3~7mm程度の石英、長石及び径0.5~1mmの黒雲母の斑晶が点在する(0.5%以下)。										115		30.0	0.0	泥水13	13		
				花崗斑岩	明黄褐					深度55.10~56.10m:全体に風化し、軟質で黄褐色を呈する。										115		30.0	0.0	泥水13	13		
				花崗斑岩	明黄褐					深度56.31~61.50m:全体に風化し、軟質化している。節理に沿って黒褐色を帯びる。										129		35.0	130	0.0	泥水2	2	
				花崗斑岩	明黄褐					深度61.50~62.70m:コア流出。										129		35.0	130	0.0	泥水2	2	

# H19—No. 7

## 柱状図(0.00m~35.00m)

H19-No. 7

孔 口 標 高	T.P.	3.29m	掘 削 長	165.00m
---------	------	-------	-------	---------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)		記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	採 取 率 (%)	
				埋土	にぶい黄橙		100					0.00~2.74m ・埋土である。 ・花崗岩片、まさ等を含む。
		0.81			明黄褐		100					
		0.07		有機質土	明黄褐		100					
		3.55		有機質シルト	黒褐		100					2.74~3.55m ・有機質土混じりシルトである。
		4.10		有機質土	褐灰		100					・植物片や木片を含む。
		5.13		有機質シルト	褐灰		100					3.55~3.72m ・有機質土である。
				有機質シルト	にぶい黄橙		100					3.72~4.10m ・砂質シルトである。
				有機質土	にぶい黄橙		100					・泥炭状の有機質土である。
				砂質シルト	にぶい黄橙		100					4.10~4.31m ・有機質土である。
				有機質土	にぶい黄橙		100					4.31~4.52m ・砂混じり有機質土である。
				有機質土	にぶい黄橙		100					4.52~5.13m ・有機質土混じり粗砂である。
				有機質土	にぶい黄橙		100					5.13~12.86m ・砂である。
				有機質土	にぶい黄橙		100					12.86~13.85m ・有機質土混じり砂である。
				有機質土	にぶい黄橙		100					13.85~16.92m ・砂である。 ・粗粒砂。 ・所々に炭化物を挟む。
				砂	にぶい黄橙		100					16.92~21.47m ・シルト質砂である。 ・貝殻片や木片を含む。
				シルト質砂	暗緑灰		100					18.20m ・幅0.1~0.5cmの炭化物層を挟む。
				砂	浅黄		100					21.47~21.95m ・砂である。
				砂	灰色		100					21.95~23.22m ・砂~砂質礫である。
				砂礫	灰黄		100					・礫は径5cm程度、基質はシルト質砂。
				砂質シルト	にぶい黄橙		100					23.22~23.93m ・砂である。
				砂質シルト	にぶい黄橙		100					・炭化物を含む。
				砂質シルト	灰白		100					23.93~24.25m ・砂質シルトである。
				砂	灰黄		100					24.25~24.50m ・砂礫である。
				礫混じり砂	にぶい黄橙		100					24.50~24.60m ・砂質シルトである。
				砂	にぶい黄橙		100					24.60~24.90m ・砂である。
				砂	にぶい黄橙		100					24.90~26.78m ・砂礫である。
				砂	にぶい黄橙		100					・平均径3~5cm、最大径15cmの礫を含む。
				砂	明緑灰		100					26.78~29.44m ・礫混じり砂である。
				砂	明緑灰		100					・径3cm程度の礫を含む砂層。砂は粗粒砂。
				砂	明緑灰		100					27.65~27.88m ・炭化物を含む砂質シルトを挟む。
				砂	灰白		100					29.44~30.05m ・砂である。
				砂	灰白		100					・炭化物を含む。
				砂	灰白		100					30.05~32.46m ・玉石混じり砂礫である。
				砂	灰白		100					・平均径3~10cm、最大径30cmの礫を含む。
				砂	灰白		100					32.46~33.11m ・砂である。
				砂	灰白		100					33.11~33.63m ・砂礫である。
				砂	灰白		100					・径1~5cmの礫を含む。
				砂	灰白		100					33.63~36.58m ・礫混じり砂である。
				砂	灰白		100					・径2~5cm程度の礫を含む砂層。
				砂	灰白		100					・風化礫を多く含む。
				砂	灰白		100					・基質は粗粒砂。

1-198, 1-204 (分類c) ①  
 審査資料作成の際に模様を見直したため。  
 1-202, 1-205, 1-206 (分類c) ②  
 表現を統一したため。  
 1-203 (分類b) ③  
 報告書の記載漏れを修正したため。









柱状図(35.00m～70.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R	Q	
				灰白 明緑灰 砂	明緑灰		100						
	-29.86	36.58		灰赤	明緑灰		100						
	-30.95	37.78		灰オリーブ 灰黄褐	明緑灰		100						
40				玉石混じり砂礫	明緑灰		100						
				砂	明緑灰		100						
				玉石混じり砂礫	明緑灰		100						
				砂	明緑灰		100						
	-33.87	41.00		砂	明緑灰		100						
	-34.45	41.64		玉石混じり砂礫	黄褐 灰白		100						
				玉石混じり砂礫	黄褐 灰白		100						
				砂	黄褐 灰白		100						
				玉石混じり砂礫	黄褐 灰白		100						
	-39.00	46.66		有機質混じり砂	黄褐 灰白		100						
	-39.72	47.46		玉石混じり砂礫	明黄褐		100						
50				砂	明黄褐		100						
				砂	明黄褐		100						
				砂礫	明黄褐		100						
				砂	明黄褐		100						
	-41.88	49.84		砂	明黄褐		100						
	-43.22	51.32		砂	明黄褐		100						
	-45.19	53.49		砂礫	明黄褐		100	16	16				
	-47.01	55.50		花崗斑岩	明黄褐	CL'	100	36	90				
60				花崗斑岩	明黄褐	D'	100	56	79				
				アプライト	明黄褐	D'	100	24	36				
				アプライト	明黄褐	D'	100	44	67				
				アプライト	明黄褐	D'	100	53	93				
				アプライト	明黄褐	D'	100	26	82				
				アプライト	明黄褐	D'	100	26	82				
				アプライト	明黄褐	D'	100	59	73				
				アプライト	明黄褐	D'	100	70	32	32			
				花崗斑岩	明黄褐	CL' ①	100	17	17				
				花崗斑岩	明黄褐	CL'	100	30	86				
				花崗斑岩	明黄褐	CL'	100	27	67				
				花崗斑岩	明黄褐	CL'	100	27	67				
	-56.62	66.10		花崗斑岩	明黄褐	CM'	100	27	53				
				花崗斑岩	明黄褐	CM'	100	10	10				
				アプライト	明黄褐	CL'	100	27	89				
	-59.97	69.80		アプライト	明黄褐	CL'	100	26	67				

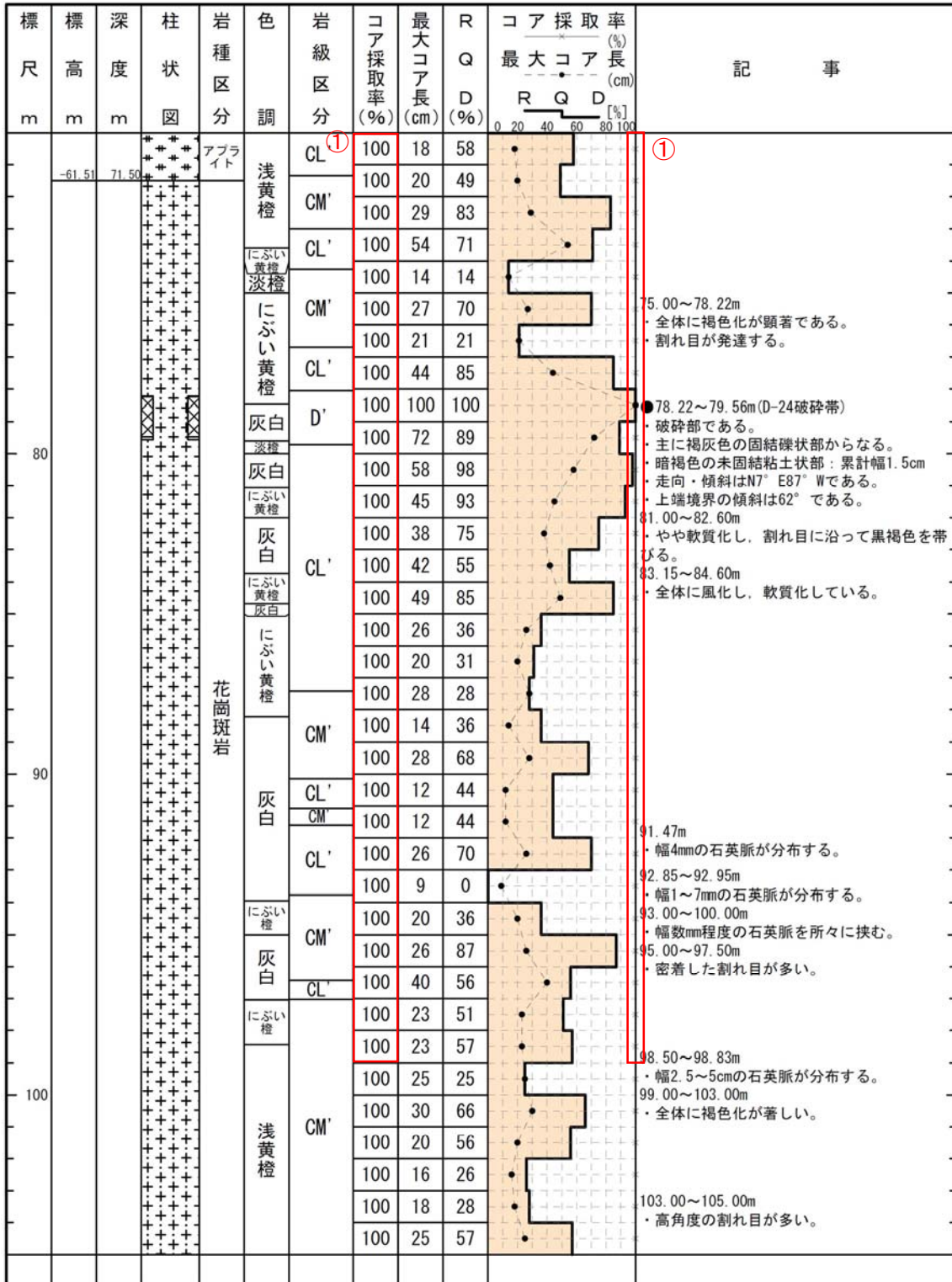
1-203(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。





# H19—No. 7

## 柱状図(70.00m～105.00m)

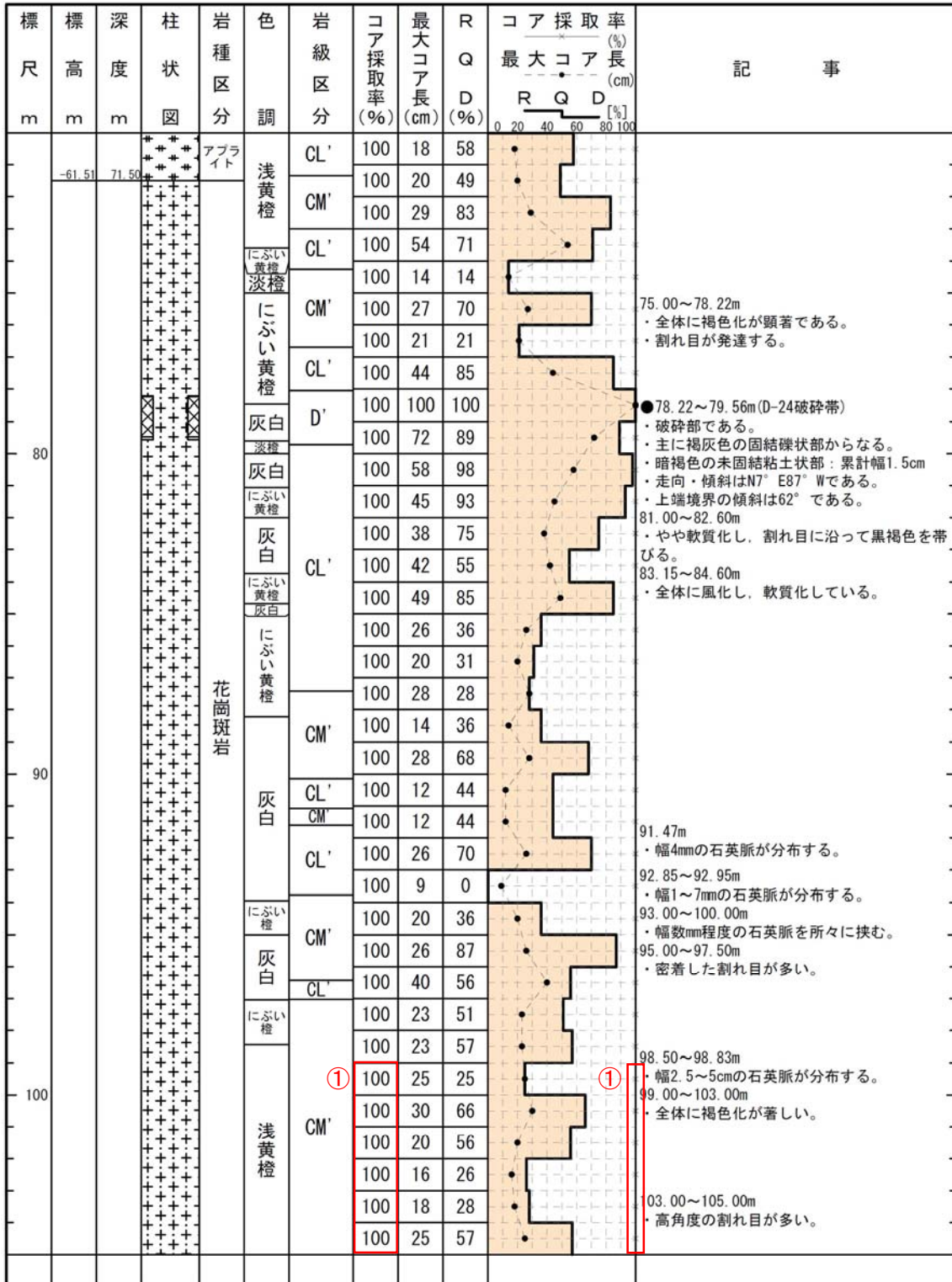


1-203(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩盤区分	岩級分類	孔内水位 (m) / 測定月日	( 標準貫入試験 ) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ピット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)								
																( N 値 ~ 深度 )																							
100				花崗斑岩	浅黄橙	IVg, IIg, IVg, IIg, IIIg, IVg, IIIg, IIg, I g, IIg, IIIg, IIg, I g, IIg, IIIg, IIg, IVg, IIIg, IIg	γ				深度99.00~103.00m: 全体に褐色化し、傾斜30~50度の節理が多い。 深度103.00~105.00m: 傾斜60~70度の高角度な節理が多い。 深度105.00~112.00m: 密着した節理は少ない。節理に沿って黒褐色、黄褐色を帯びる。	0, 50, 100					11/27 02.71							149			35.0												
				花崗斑岩	浅黄橙	IVg, IIIg, IVg, IIg, I g, IIg, IIIg, IIg, IVg, IIIg, IIg	β			2	深度109.50~115.00m: 高角度な節理が多い。 深度110.40~111.35m: 斑晶少ない。 深度112.00~115.20m: 全体に褐色を帯びる。						11/28 06.85							115			50.0	0.0	泥水3	1									
				花崗斑岩	浅黄橙	IVg, IIIg, IVg, IIg, I g, IIg, IIIg, IIg, IVg, IIIg, IIg	γ			3	深度115.80~117.00m: 変質帯、上盤77度。全体に軟質。節理に沿って淡緑色粘土を挟む。						11/20 13.00									80			70.0	0.0	泥水4	0							
				花崗斑岩	浅黄橙	IVg, IIIg, IVg, IIg, I g, IIg, IIIg, IIg, IVg, IIIg, IIg	γ			3	深度112.00~115.20m: 全体に褐色を帯びる。						11/20 13.00												0.0	泥水4	2								
				花崗斑岩	浅黄橙	IVg, IIIg, IVg, IIg, I g, IIg, IIIg, IIg, IVg, IIIg, IIg	γ			3	深度115.80~117.00m: 変質帯、上盤77度。全体に軟質。節理に沿って淡緑色粘土を挟む。						12/1 16.96												50.0	0.0	泥水3	3							
				花崗斑岩	浅黄橙	IVg, IIIg, IVg, IIg, I g, IIg, IIIg, IIg, IVg, IIIg, IIg	γ			3	深度118.30m: シーム。傾斜50度。幅1~10mm、灰白色粘土状。						12/4 20.04													20.0	0.0	泥水2	0						
				花崗斑岩	淡緑褐	IVg, IIIg, IVg, IIg, I g, IIg, IIIg, IIg, IVg, IIIg, IIg	δ			4	深度119.74m: シーム。傾斜52度。幅1~3mm、灰白色粘土状。 深度119.74~120.58m: 変質帯。黄褐色粘土状。石英粒子残る。 深度120.58m: シーム。傾斜65度。幅1~10mm、灰白色粘土状。 深度120.58m以深、傾斜20~50度程度の低角度な節理が多くなる。全体に浅黄褐色を呈する。							12/4 20.04														35.0	0.0	泥水3	0				
				花崗斑岩	浅黄橙	IVg, IIIg, IVg, IIg, I g, IIg, IIIg, IIg, IVg, IIIg, IIg	γ			2	深度122.50~124.80m: やや褐色を帯びる。						12/5 26.07													0.0	泥水3	0							
				花崗斑岩	浅黄橙	IVg, IIIg, IVg, IIg, I g, IIg, IIIg, IIg, IVg, IIIg, IIg	γ			2	深度127.00~129.40m: 全体に傾斜30~50度の密着した節理が多い。						12/6 28.87													140									
				花崗斑岩	浅黄橙	IVg, IIIg, IVg, IIg, I g, IIg, IIIg, IIg, IVg, IIIg, IIg	γ			2	深度129.40m: 節理に沿って幅2mmの褐色、灰白色粘土を挟む。						12/7 31.57													160									
				花崗斑岩	浅黄橙	IVg, IIIg, IVg, IIg, I g, IIg, IIIg, IIg, IVg, IIIg, IIg	γ			2	深度132.00~133.00m: 傾斜70~90度の高角度節理あり。																		70.0	0.0	泥水3	2							
				花崗斑岩	浅黄橙	IVg, IIIg, IVg, IIg, I g, IIg, IIIg, IIg, IVg, IIIg, IIg	γ			2	深度127.00~129.40m: 全体に傾斜30~50度の密着した節理が多い。																		160										
				花崗斑岩	浅黄橙	IVg, IIIg, IVg, IIg, I g, IIg, IIIg, IIg, IVg, IIIg, IIg	γ			2	深度129.40m: 節理に沿って幅2mmの褐色、灰白色粘土を挟む。																		45.0										
				花崗斑岩	浅黄橙	IVg, IIIg, IVg, IIg, I g, IIg, IIIg, IIg, IVg, IIIg, IIg	γ			2	深度132.00~133.00m: 傾斜70~90度の高角度節理あり。																		90.0										
				花崗斑岩	浅黄橙	IVg, IIIg, IVg, IIg, I g, IIg, IIIg, IIg, IVg, IIIg, IIg	γ			2	深度127.00~129.40m: 全体に傾斜30~50度の密着した節理が多い。																		165										
				花崗斑岩	浅黄橙	IVg, IIIg, IVg, IIg, I g, IIg, IIIg, IIg, IVg, IIIg, IIg	γ			2	深度129.40m: 節理に沿って幅2mmの褐色、灰白色粘土を挟む。																		35.0										

# H19—No. 7

## 柱状図(70.00m～105.00m)

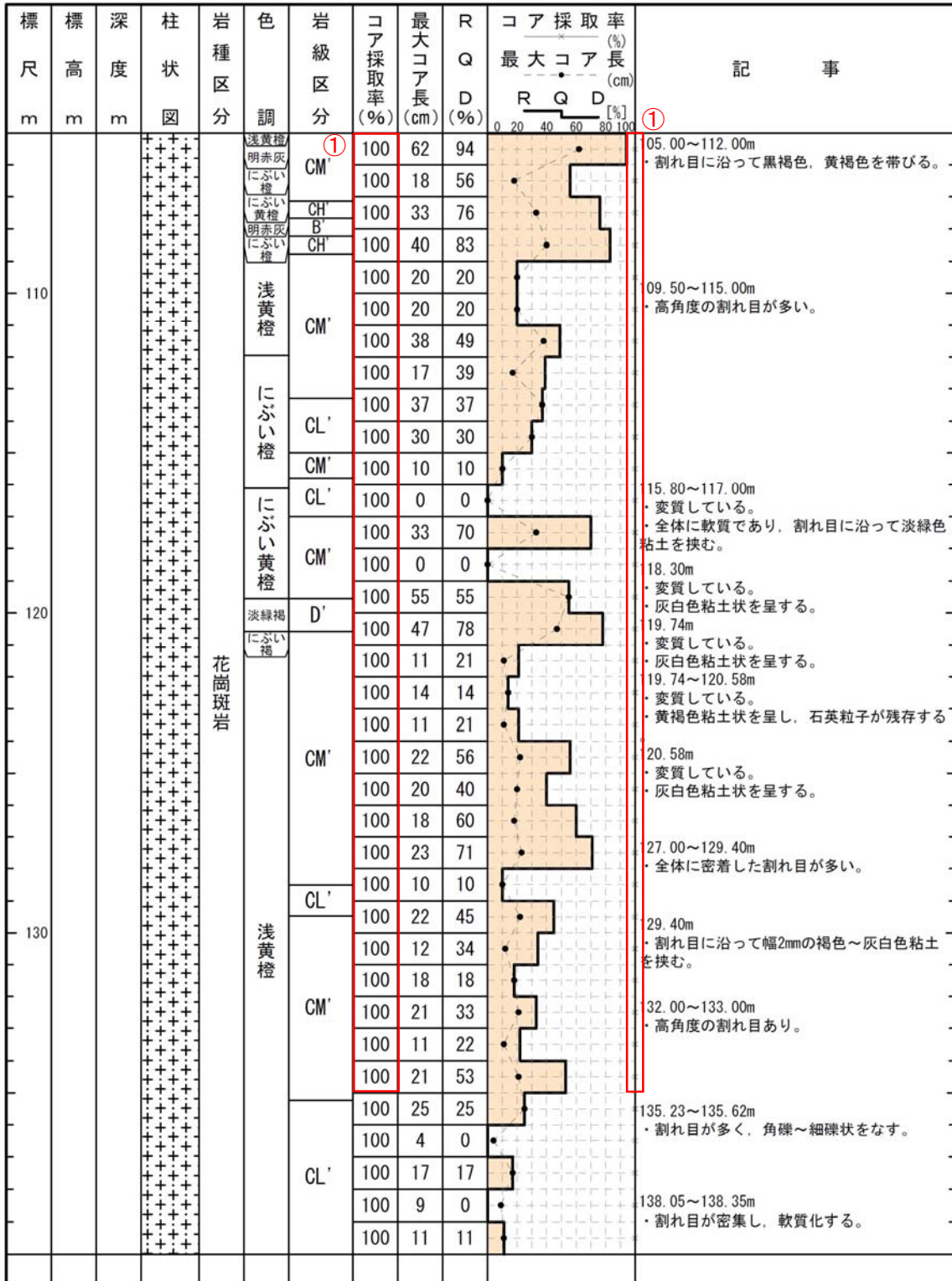


1-203(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。



# H19—No. 7

## 柱状図(105.00m～140.00m)



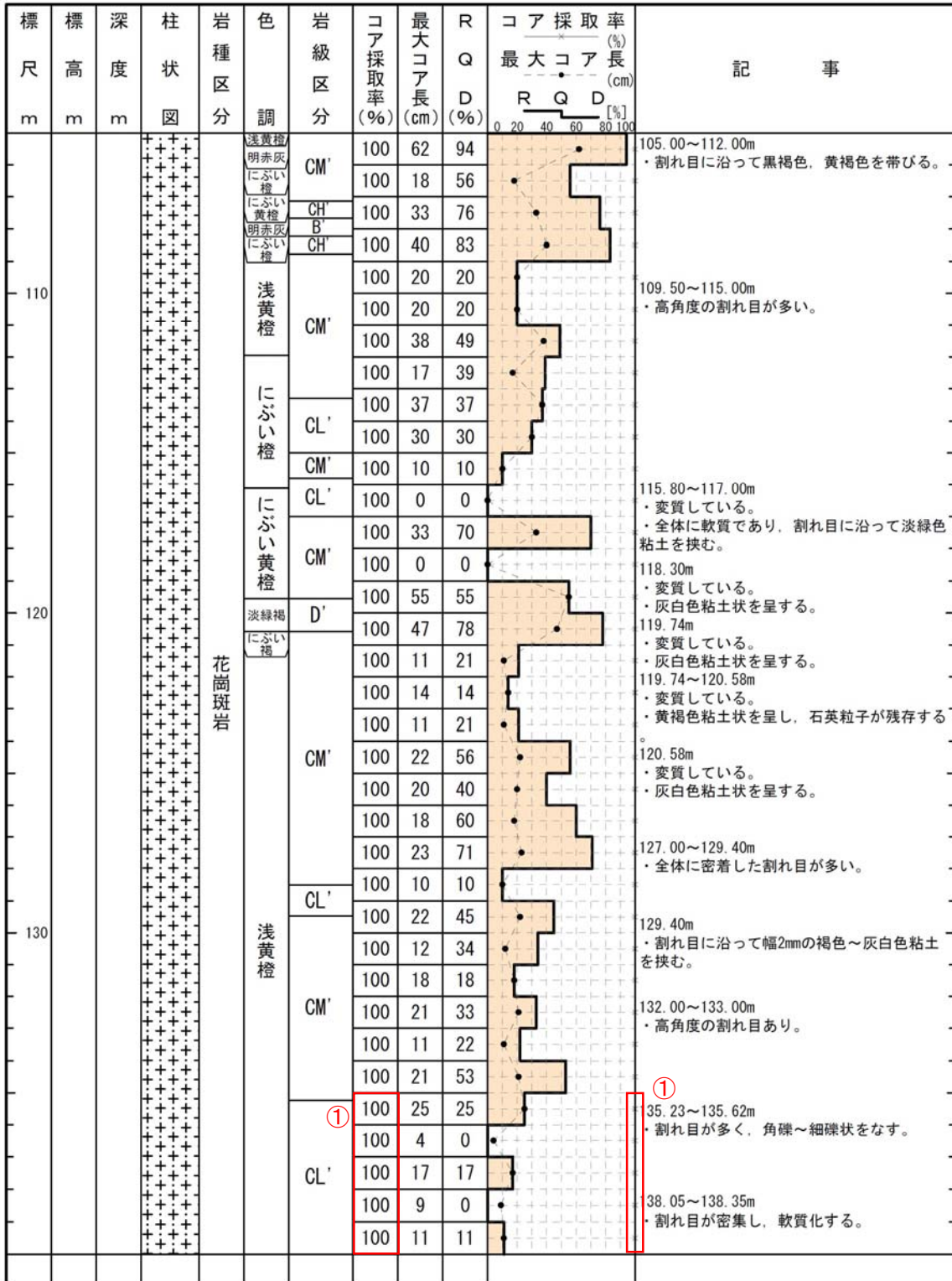
1-203(分類b)①  
報告書の記載漏れを修正したため。





# H19—No. 7

## 柱状図(105.00m～140.00m)



1-203(分類b)①  
 報告書の記載漏れを修正したため。



柱状図(140.00m～165.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	R Q D [%]	記事
					浅黄橙	CL	100	15	38			② 43.00～144.00m ・高角度の割れ目に沿って褐色粘土を挟む。  48.07～148.35m ・黒褐色の酸化マンガン汚染がみられる。  ●151.35～151.38m (f-8-11破碎帯) ・破碎部である。 ・褐色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN15° E86° Eである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。  54.45～155.60m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。 55.60～160.00m ・全体に密着した割れ目が多く、一部角礫状を呈する。  63.82m ・変質している。 ・黒褐色粘土状及び砂状を呈する。
					明赤灰	CM'	100	14	14			
						CM'	100	9	0			
						CM'	100	5	0			
						CM'	100	7	0			
						CM'	100	9	0			
						CM'	100	17	27			
						CM'	100	19	34			
						CL'	100	5	0			
					浅黄橙	CM'	100	17	28			
						CL'	100	13	13			
						CL'	100	0	0			
						CM'	100	9	0			
					明赤灰	CM'	100	19	19			
						CM'	100	9	0			
						CL'	100	23	23			
						CM'	100	5	0			
						CM'	100	7	0			
						CM'	100	15	37			
					明赤灰	CL'	100	30	86			
						CL'	100	14	14			
						CM'	100	4	0			
						CM'	100	9	0			
					明赤灰	CL'	100	15	15			
						CM'	100	22	37			

- 1-213(分類d) ①  
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-203(分類b) ②  
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 (N値~深度) 試験		原位置試験 (孔内水平距離)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)							
														N	値																		
		8.91	17.87	砂礫	浅黄					17.87~23.09m: 砂礫である。径10~100mmの花崗斑岩垂直稜で、殆どがクサリ礫化する。基質は石英・長石の細礫を含むシルト混じり砂からなる。花崗斑岩礫・基質は同質で、境界が不明瞭な部分がある。21.78m以深: 礫は小型化し、径10~50mmで垂直稜も分布する。19.20~21.78m: 礫混じり粗粒砂からなる。										200													
		13.64	23.09	砂礫	灰黄					22.22m以深: 風化で褐色化が進む。									85						2.5	1							
		14.37	23.90	砂礫	灰黄					23.09~23.90m: スライムである。									90														
		15.84	25.52	花崗斑岩	明黄褐	Eg	VIg	dg	ε	2	23.90~38.00m: 花崗斑岩である。斑晶は径2~6mmの石英、2~10mmの白濁した長石と径1mm以下で点在する黒雲母からなる。23.90~25.09m: 岩組織・割れ目は残留するが軟化が著しい。																						
		15.91	25.60	花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2	25.52~25.60m: スライムである。																						
		27.15	38.00	花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2	26.10m以深: 風化が弱くなる。																						
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2	27.40m: 傾斜55~60°, 幅4~5mmの石英脈である。																						
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	3	●29.99~30.16m: 破砕帯(D-36)破砕幅は13.0cmである。29.99~30.01m: 暗灰色の角礫混じり粘土状を呈する。未固結の粘土状部からなり、幅は1.5cmである。上端境界の傾斜は85°, 下端境界の傾斜は35°である。30.01~30.16m: にぶい黄橙色の固結した礫状部からなる。下端境界の傾斜は18°である。灰色~白色の粘土が網状に分布する。30.67m: 傾斜35°, 幅5mmの赤褐色の粘土脈である。																						
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2	●30.87~31.32m: 破砕部破砕幅は25.3cmである。30.87~30.89m: 褐灰色の粘土混じり角礫状を呈する。未固結の粘土状部からなり、幅は2.5cmである。上端境界の傾斜は31°, 下端境界の傾斜は90°である。30.89~31.04m: 角礫質粘土状を呈し、褐灰色の固結した礫状部からなる。下端境界の傾斜は80°である。31.04~31.32m: 褐灰色の割れ目の密集部からなる。下端境界の傾斜は70°である。32.22m: 傾斜60°, 幅15mmの石英脈である。幅6~10mmの黄褐色の粘土を作す。33.08m以深: 一部で風化で褐色化し軟化が進行する。35.30m: 傾斜60°, 幅10~15mmの石英脈である。36.04m: 傾斜50°, 幅6~10mmの石英脈である。																						
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	3																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩	にぶい黄橙	Dg	VIg	cg	δ	2																							
				花崗斑岩																													



# H24-B8-23

## 柱状図(0.00m~38.00m)

H24-B8-23

孔 口 標 高	T. P.	7.29m	掘 削 長	38.00m
---------	-------	-------	-------	--------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	R	Q	
		0.00		埋土	黒 にぶい 黄橙		100						0.00~1.88m ・埋土である。
	5.59	1.88		盛土	明黄橙		100						1.88~4.45m ・盛土である。
	3.26	4.45		盛土	黄褐 褐灰 明黄橙		100						
	1.87	5.98		礫混じり砂	にぶい 黄橙		100						4.45~5.98m ・礫混じり砂である。
				灰	灰白 黒褐		100						・中粒砂を主体とする。 ・径2~5mm石英を含む。
				砂礫	褐灰		100						5.98~10.11m ・砂礫である。
				砂礫	明褐灰 褐灰		100						・径2~5mmの石英と径10~30mmの花崗斑岩垂円~垂角礫を含む。
10	-1.87	10.11		砂混じり粘土	灰黄橙		100						10.11~10.79m ・砂混じり粘土である。
	-2.49	10.79		砂	にぶい 黄橙		100						10.79~11.81m ・砂である。
	-3.41	11.81		粘土	にぶい 黄橙		100						・シルトの混じる中粒砂が主体である。
	-4.04	12.50		砂	黄褐		100						11.81~11.93m ・粘土である。
				砂礫	にぶい 黄橙		100						11.93~12.50m ・砂である。
	-6.29	14.98		シルト質砂	灰黄		100						12.50~14.98m ・砂礫である。
	-6.69	15.43		礫	灰白		100						14.98~15.43m ・シルト質砂である。
	-7.54	16.36		礫	浅黄		100						・細~中粒砂が主体である。
	-8.91	17.87		礫混じり砂	黄		100						15.43~16.36m ・礫である。
20				砂礫	灰黄		100						16.36~17.87m ・礫混じり砂である。
				砂礫	明褐灰 灰黄		100						・シルトの混じる不均質な砂が主体である。 ・径2~5mmの石英細礫及び花崗斑岩礫を含む。
	-13.64	23.09		スライム			9	0	0				17.87~23.09m ・砂礫である。
	-14.37	23.90		スライム	明黄橙	D'	100	3	0				・径10~100mmの花崗斑岩垂角礫を含む。
①				スライム	にぶい 黄橙	D'	92	3	0				23.09~23.90m ・スライム。
				スライム	にぶい 黄橙	CL'	100	4	0				23.90~38.00m ・花崗斑岩である。
				スライム	にぶい 黄橙	CL'	100	3	0				25.52~25.60m ・スライム。
30				花崗斑岩	にぶい 橙	D'	100	1	0				●29.99~30.16m(D-36破碎帯) ・破碎部である。
				花崗斑岩	にぶい 橙	D'	100	1	0				・主ににぶい黄橙色の固結礫状部からなる。
				花崗斑岩	にぶい 黄橙	D'	100	1	0				・暗灰色の未固結粘土状部：累計幅1.5cm
				花崗斑岩	にぶい 黄橙	D'	100	1	0				・走向・傾斜はN3° E72° Eである。
				花崗斑岩	にぶい 黄橙	D'	100	4	0				・上端境界の傾斜は85°、下端境界の傾斜は18°である。
				花崗斑岩	にぶい 黄橙	CL'	100	5	0				●30.87~31.32m ・破碎部である。
				花崗斑岩	にぶい 黄橙	CL'	100	7	0				・主に褐灰色の固結礫状部からなる。
				花崗斑岩	にぶい 黄橙	CL'	100	4	0				・褐灰色の未固結粘土状部：累計幅2.5cm
				花崗斑岩	にぶい 黄橙	CL'	100	4	0				・走向傾斜はN4° W81° Wである。
				花崗斑岩	にぶい 黄橙	CL'	100	4	0				・上端境界の傾斜は31°、下端境界の傾斜は70°である。
				花崗斑岩	灰褐 にぶい 橙	D'	100	3	0				33.68~38.00m ・風化部である。

1-214~1-219(分類c)①

岩種区分の”スライム”を消去したため。

(当該のスライムの幅が狭く、審査資料のサイズの場合だと岩種区分に反映させると見にくいことから、記事のみに表現を留めたため)





